

第8期東海村高齢者福祉計画・
介護保険事業計画に係るアンケート調査

調査結果報告書

令和2年3月
東海村福祉部 高齢福祉課

目 次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的	3
2 調査の対象	3
3 調査の方法	3
4 調査の実施時期.....	3
5 配布・回収の結果.....	4
6 報告書の表記及び注意点について.....	4
II 調査結果①	
【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】	5
調査票記入者、ご本人の情報について.....	7
（1）調査票記入者.....	7
（2）年齢	7
（3）性別	8
（4）要介護認定状況.....	8
1 あなたのご家族や生活状況について.....	9
（1）家族構成.....	9
（2）介護・介助の必要性	9
（3）介護・介助が必要になった主な原因.....	10
（4）主な介護・介助者	11
（5）現在の暮らしの経済的状況	11
（6）住居の形態.....	12
2 からだを動かすことについて.....	13
（1）階段昇行.....	13
（2）起立	13
（3）継続的な歩行.....	14
（4）転倒した経験.....	14
（5）転倒に対する不安.....	15
（6）外出しているか	15
（7）外出頻度の減少.....	16
（8）外出を控えているか	16
（9）外出を控える理由.....	17
（10）外出する際の移動手段.....	17
3 食べることについて	18
（1）本人の身長・体重.....	18
（2）固いものが食べにくくなったか	19
（3）お茶や汁物等でむせることがあるか.....	19
（4）口の渇き.....	19
（5）歯磨きの習慣.....	20
（6）歯の数と入れ歯の利用状況	20
（7）噛み合わせ.....	21
（8）入れ歯の手入れ.....	21
（9）体重の減少.....	22
（10）誰かと食事をする機会.....	22
4 毎日の生活について	23
（1）物忘れがあるか	23
（2）電話をかけているか	23

(3) 日にちがわからないことがあるか.....	24
(4) 一人での外出.....	25
(5) 食品・日用品の買い物.....	25
(6) 食事の用意.....	25
(7) 請求書の支払い.....	26
(8) 預貯金の出し入れ.....	26
(9) 年金などの書類が書けるか.....	26
(10) 新聞を読んでいるか.....	27
(11) 本や雑誌を読んでいるか.....	27
(12) 健康についての記事や番組への関心.....	27
(13) 友人宅への訪問.....	28
(14) 相談にのっているか.....	28
(15) 病人の見舞いができるか.....	28
(16) 若い人への話しかけ.....	29
(17) 趣味はあるか.....	29
(18) 生きがいはあるか.....	29
5 地域での活動について.....	30
(1) 会・グループへの参加状況.....	30
(2) 地域活動への参加者としての参加希望.....	33
(3) 地域活動への企画・運営者としての参加希望.....	33
6 たすけあいについて.....	34
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人.....	34
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人.....	34
(3) 看病や世話をしてくれる人.....	35
(4) 看病や世話をしてあげる人.....	35
(5) 家族や友人・知人以外の相談相手.....	36
(6) 友人・知人と会う頻度.....	36
(7) 1 か月間に会った友人・知人の数.....	37
(8) よく会う友人・知人との関係.....	37
7 健康について.....	38
(1) 主観的健康感.....	38
(2) 主観的幸福感.....	38
(3) 最近1 か月間の気分の状態.....	39
(4) 最近1 か月間の物事に対する心の状態.....	39
(5) 飲酒の状況.....	40
(6) 喫煙の状況.....	40
(7) 治療中の病気.....	41
8 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	42
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか.....	42
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度.....	42
9 生きがいづくり・介護予防について.....	43
(1) 充実や生きがいを感じる.....	43
(2) 介護予防教室や講座の利用希望.....	44
(3) 予防介護に対するイメージ.....	44
(4) 介護予防事業に参加する上で妨げになること.....	45
(5) 地域包括支援センターの認知度.....	45
(6) 地域包括支援センターにおける業務内容の認知度.....	46
10 あなた自身の認知症予防について.....	48
(1) 認知症予防のための取り組み.....	48
(2) 認知症予防のために実践していること.....	48
(3) 認知症に関する取り組みについて.....	49
(4) 認知症に関する取り組みへの参加の有無.....	49
11 成年後見制度について.....	50
(1) 成年後見制度の認知度.....	50
(2) 成年後見人ができること.....	50
(3) 成年後見制度の効果的な周知方法.....	52

(4) 成年後見制度の利用希望	53
1 2 今後の暮らしや将来の介護について	54
(1) 日常生活における不安や悩みごと	54
(2) 近隣とのつながり	54
(3) 自立した生活のために必要な支援やサービス	55
(4) 近隣の方にしてあげたい手助け	56
(5) 介護が必要になったとき不安なこと	56
(6) 介護が必要になったとき生活したい場所	57
(7) 在宅で暮らし続けるために重要なこと	57
(8) 在宅医療の認知度	58
(9) 医師、看護師等との連携について	58
(10) 在宅医療、終活、看取りに対する関心	59
(11) 人生の最期を過ごしたい場所	59
(12) 力をいれてほしい保健福祉施策	60
1 3 リスク分析	61
(1) 運動器機能の低下	61
(2) 転倒リスク	62
(3) 閉じこもり傾向	63
(4) 低栄養傾向	64
(5) 口腔機能の低下	65
(6) 認知機能の低下	66
(7) IADL（手段的自立度）の低下	67
(8) うつ傾向	68
(9) 知的能動性の低下	69
(10) 社会的役割の低下	70

Ⅲ 調査結果②

【在宅介護実態調査】	71
A票 調査対象者ご本人について	73
(1) 調査票の回答者	73
(2) 世帯類型	73
(3) 性別	73
(4) 年齢	74
(5) 要介護認定状況	74
(6) 施設への入所・入居検討状況	75
(7) 現在抱えている傷病	75
(8) 介護保険サービスの利用の有無	76
(9) 介護保険サービスの利用状況	76
(10) 介護保険サービスを利用していない理由	81
(11) 介護保険サービス以外の支援・サービス利用状況	81
(12) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス	82
(13) 訪問診療の利用状況	82
(14) 家族・親族からの介護の状況	83
B票 主な介護者の方について	84
(1) 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族	84
(2) 主な介護者	84
(3) 主な介護者の性別	85
(4) 主な介護者の年齢	85
(5) 主な介護者が行っている介護	86
(6) 主な介護者が不安に感じる介護	87
(7) 主な介護者の勤務形態	88
(8) 働き方の調整について	88
(9) 仕事と介護の両立のための支援	89
(10) 主な介護者の仕事と介護の継続	89

C票 今後の暮らしや将来の介護について	90
(1) 日常生活における不安や悩みごと	90
(2) 地域包括支援センターの認知度	90
(3) 地域包括支援センターにおける業務内容の認知度	91
(4) 成年後見制度の認知度	92
(5) 成年後見人ができること	93
(6) 成年後見制度の効果的な周知方法	95
(7) 成年後見制度の利用希望	95
(8) 特別養護老人ホームへの入所希望	96
(9) 特別養護老人ホームに入所したくない理由	96
(10) 特別養護老人ホームに入所したい理由	97
(11) 力を入れてほしい保健福祉施策	98
 IV 自由記述	99
1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	101
(1) 「生きがいづくり・集いの場」に関すること	101
(2) 「介護予防・健康づくり」に関すること	101
(3) 「地域支え合い・見守り・生活支援」に関すること	102
(4) 「交通・移動支援」に関すること	104
(5) 「医療・通院」に関すること	106
(6) 「介護保険サービス（居宅介護・施設）」に関すること	106
(7) 「介護保険制度」に関すること	108
(8) 「経済的な問題」に関すること	110
(9) 「情報提供・相談窓口」に関すること	111
(10) 「まちづくり・村への要望等」に関すること	112
(11) その他	114
2 在宅介護実態調査	116
(1) 「家族介護の支援」に関すること	116
(2) 「地域支え合い・見守り・生活支援」に関すること	117
(3) 「介護保険サービス」に関すること	118
(4) 「介護保険制度」に関すること	120
(5) 「経済的な問題」に関すること	120
(6) 「情報提供・相談窓口」に関すること	121
(7) 「まちづくり・村への要望等」に関すること	121
(8) その他	121
 V 資料編	123
1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査票	125
2 在宅介護実態調査 調査票	141

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和3年度から令和5年度を計画期間とする「東海村高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定するにあたり、本村の高齢者の日常生活の状況、心身の状態、介護予防に対する意識、在宅介護の状況、福祉・介護保険事業に関する意見などをうかがい、計画づくりの参考資料とし活用するために実施した。

2 調査の対象

調査対象は以下のとおり。

区分	調査対象
①介護予防・ 日常生活圏域ニーズ調査	本村の住民で、65歳以上の方 (要介護1～5の認定を受けている方を除く)
②在宅介護実態調査	本村の住民で、要支援・要介護の認定を受け、 在宅で生活している方

3 調査の方法

郵送による配布・回収

4 調査の実施時期

令和2年2月～3月

5 配布・回収の結果

調査対象は以下のとおり。

区分	①調査票配布数	②有効回答数【率】
①介護予防・ 日常生活圏域ニーズ調査	1,500件	986件【65.7%】
②在宅介護実態調査	600件	312件【52.0%】

6 報告書の表記及び注意点について

1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（%）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表している。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記し、その数を表している。

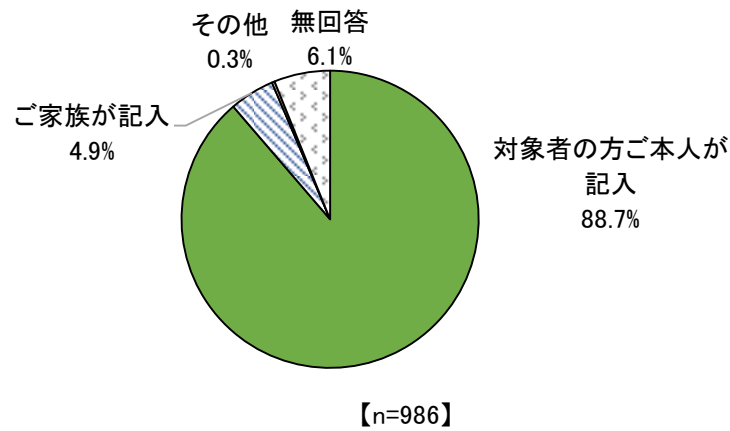
Ⅱ 調査結果①

【介護予防・日常生活圏域二一ズ調査】

調査票記入者、ご本人の情報について

（１）調査票記入者

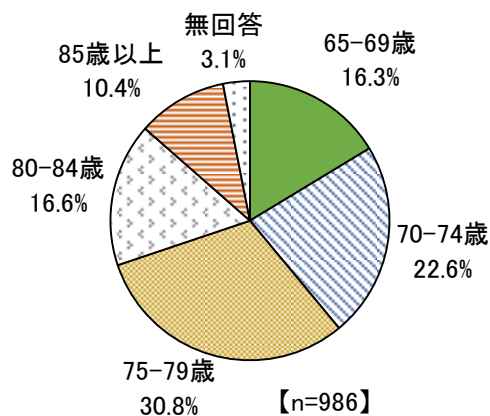
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。



調査票の記入者は、「対象者の方ご本人が記入」が88.7%で大半を占めている。

（２）年齢

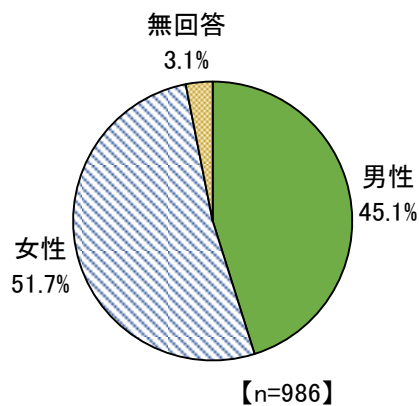
あて名のご本人の情報を記入して該当項目に○をつけてください。（必ずご記入ください）



年齢については、「75～79歳」が30.8%で最も多く、以下、「70～74歳」が22.6%、「80～84歳」が16.6%、「65～69歳」が16.3%、「85歳以上」が10.4%となっている。

(3) 性別

あて名のご本人の情報を記入して該当項目に○をつけてください。(必ずご記入ください)

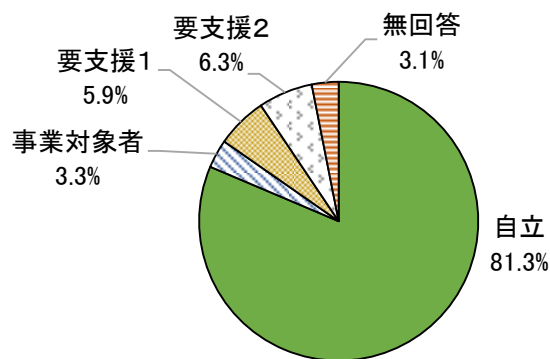


【n=986】

性別については、「女性」が51.7%、「男性」が45.1%と女性の比率が高くなっている。

(4) 要介護認定状況

あて名のご本人の情報を記入して該当項目に○をつけてください。(必ずご記入ください)

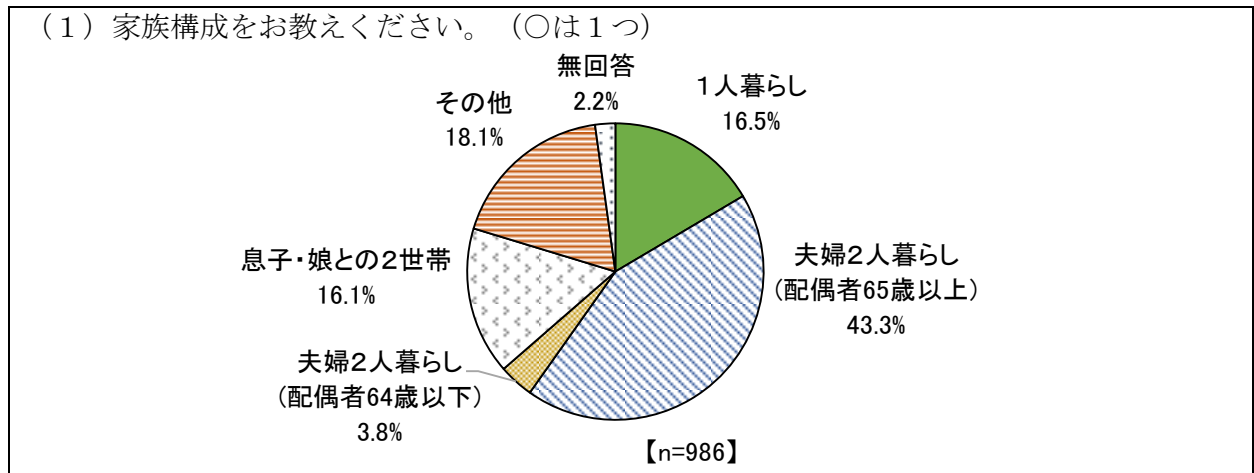


【n=986】

要介護認定状況については、「自立」が81.3%、「事業対象者」が3.3%、「要支援1」が5.9%、「要支援2」が6.3%となっている。

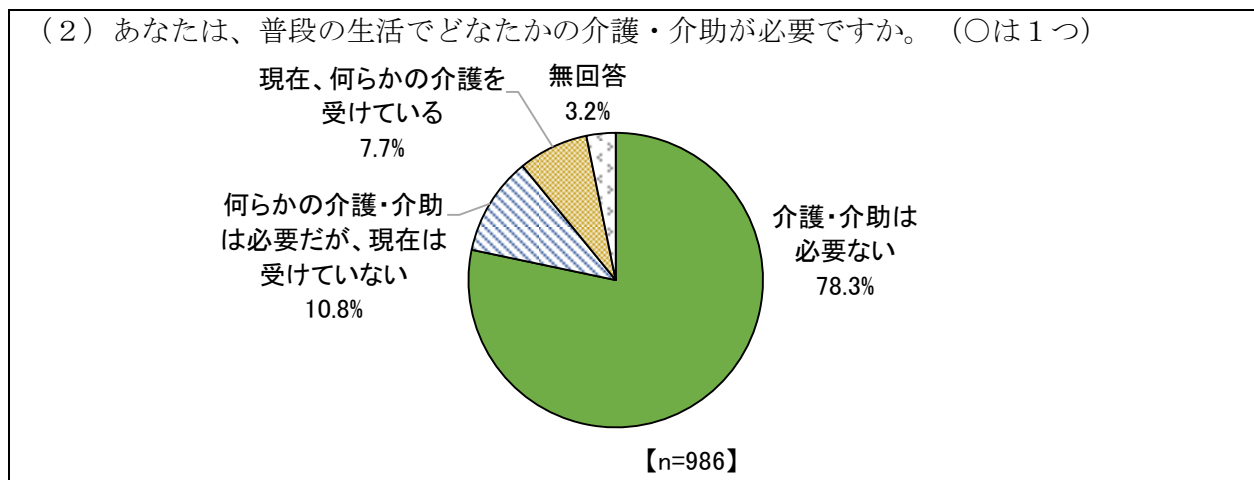
1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成



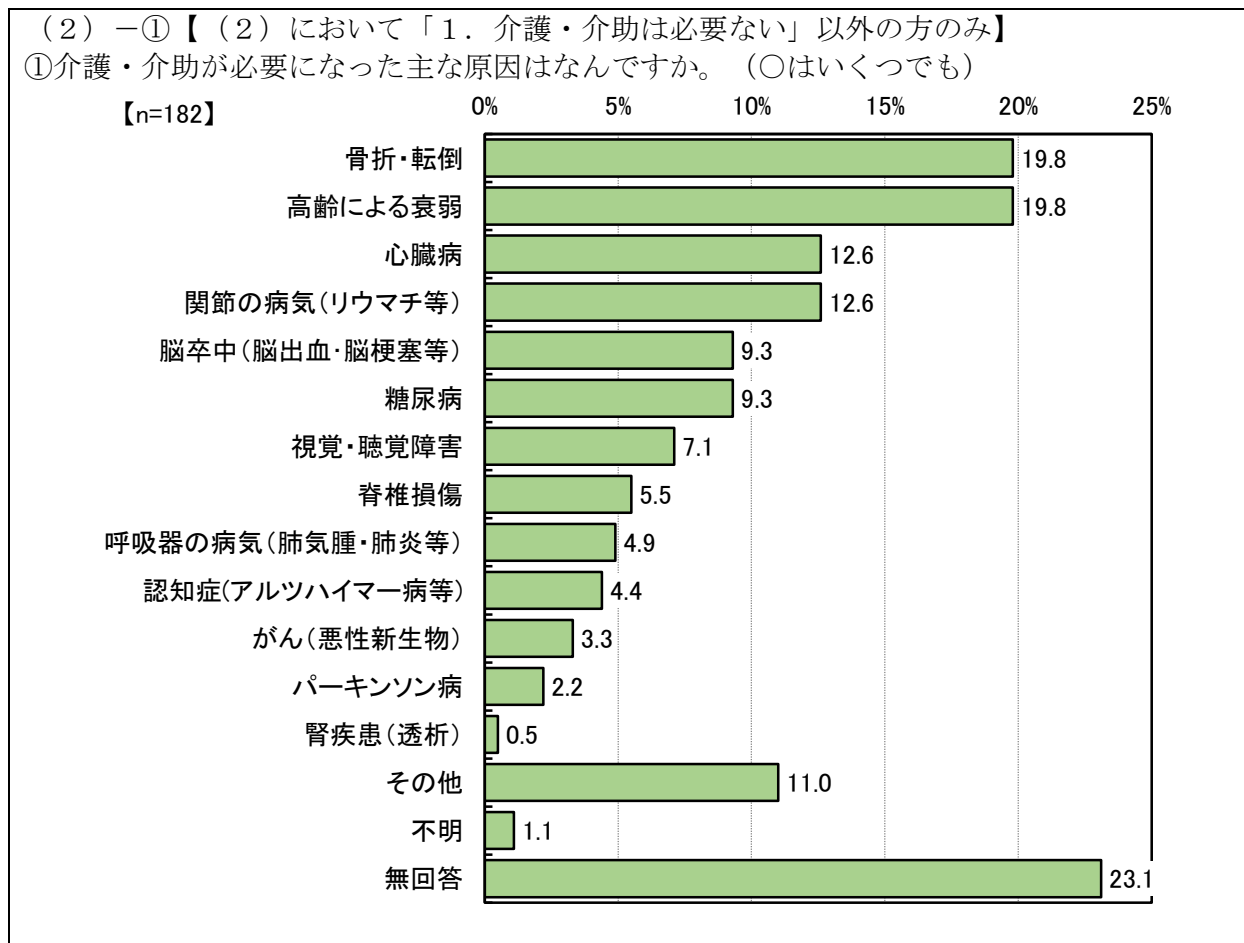
家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が43.3%で最も多く、以下、「1人暮らし」が16.5%、「息子・娘との2世帯」が16.1%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が3.8%などとなっている。

(2) 介護・介助の必要性



普段の生活で介護・介助が必要とするかについては、「介護・介助は必要ない」が78.3%で最も多く、以下、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が10.8%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が7.7%となっている。

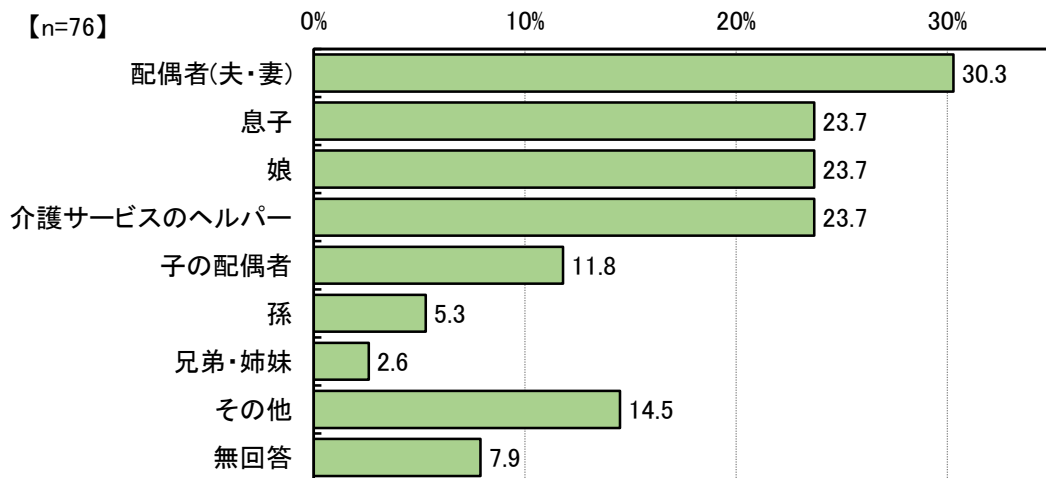
(3) 介護・介助が必要になった主な原因



介護・介助が必要と回答した人に、「骨折・転倒」、「高齢による衰弱」がともに19.8%で最も多く、次いで「心臓病」、「関節の病気(リウマチ等)」がともに12.6%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞)」、「糖尿病」が同率の9.3%などとなっている。

(4) 主な介護・介助者

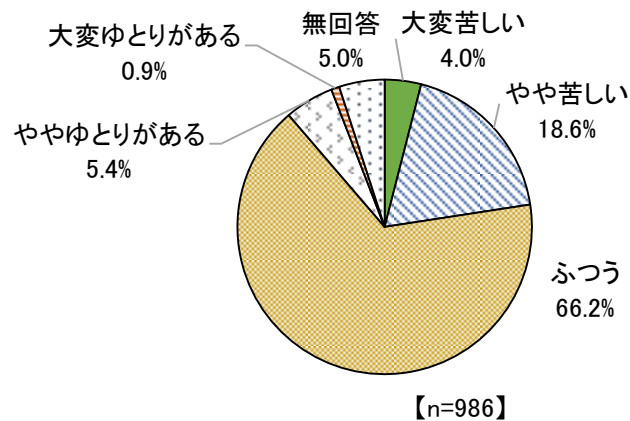
(2) -②【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】
②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)



介護・介助を受けていると回答した人に、主な介護者・介助者を尋ねたところ、「配偶者(夫・妻)」が30.3%で最も多く、以下、「息子」、「娘」、「介護サービスのヘルパー」がいずれも23.7%、「子の配偶者」が11.8%などと続いている。

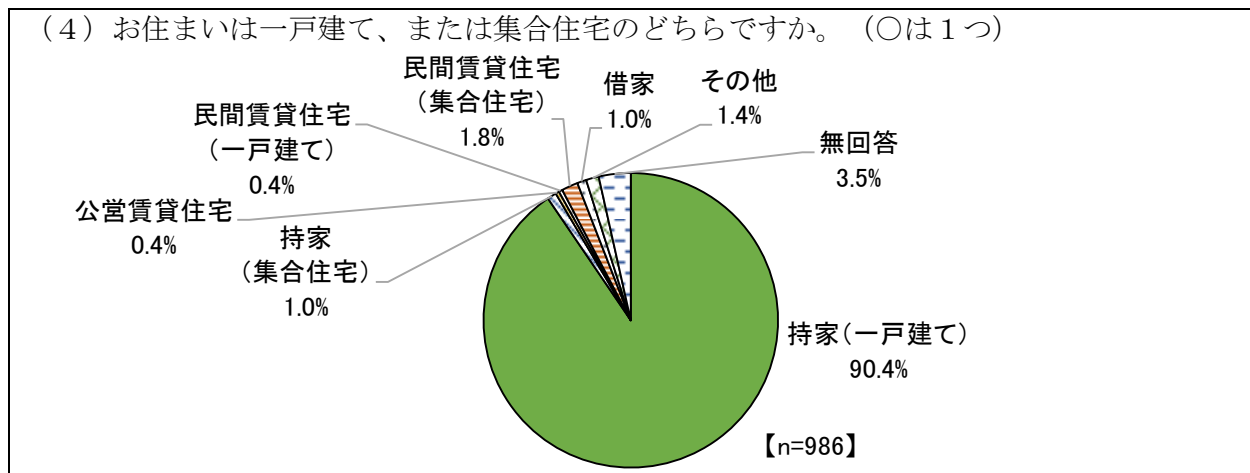
(5) 現在の暮らしの経済的状況

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)



現在の暮らしの状況では、「ふつう」が66.2%で最も多く、以下、「やや苦しい」が18.6%、「ややゆとりがある」が5.4%、「大変苦しい」が4.0%、「大変ゆとりがある」が0.9%などとなっている。大別して、『生活が苦しいと感じる割合』（「やや苦しい」及び「大変苦しい」の合計）は22.6%を占めている。

(6) 住居の形態

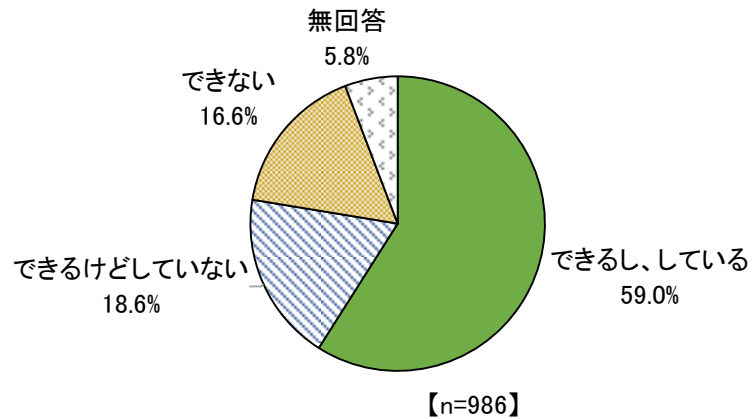


一戸建てか集合住宅かについては、「持家(一戸建て)」が90.4%と大半を占め、次いで「民間賃貸住宅(集合住宅)」が1.8%が続いている。

2 からだを動かすことについて

(1) 階段昇行

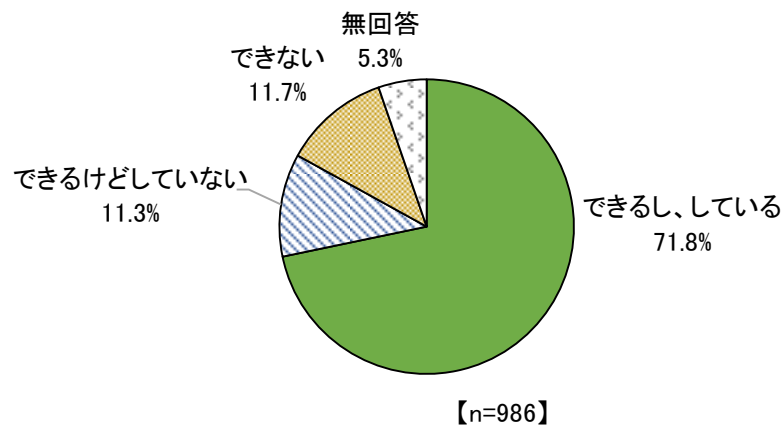
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)



階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は16.6%となっている。

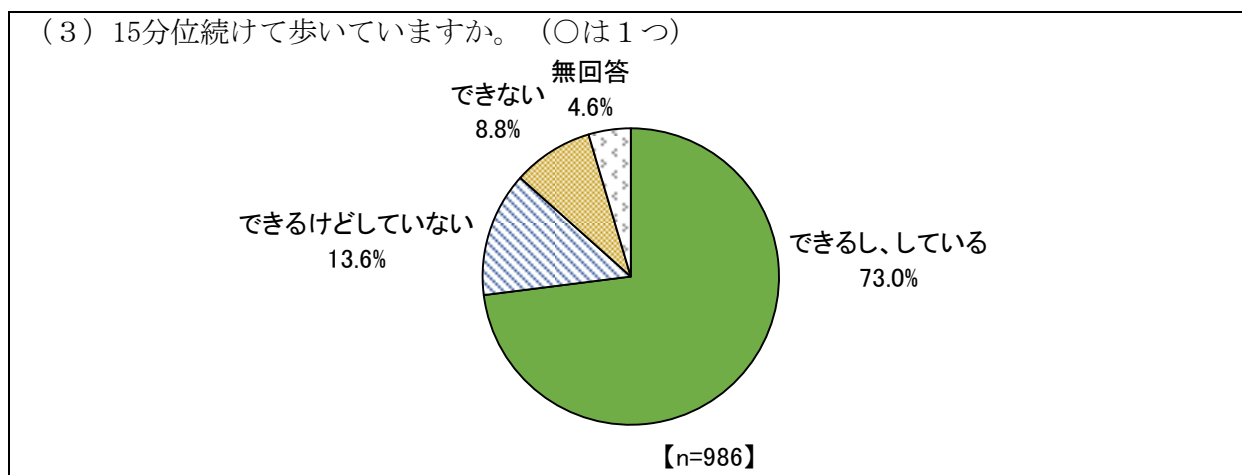
(2) 起立

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)



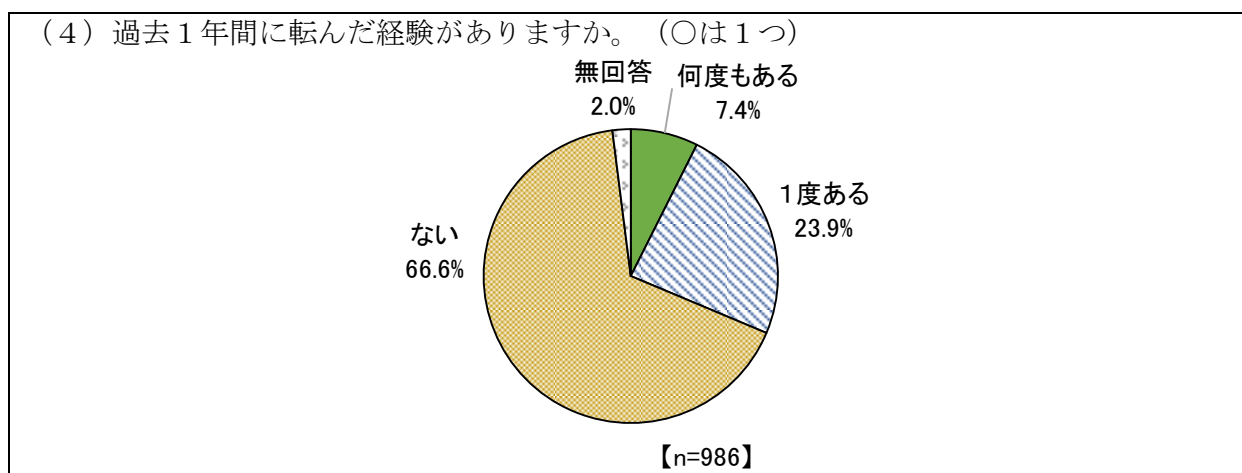
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は11.7%となっている。

(3) 継続的な歩行



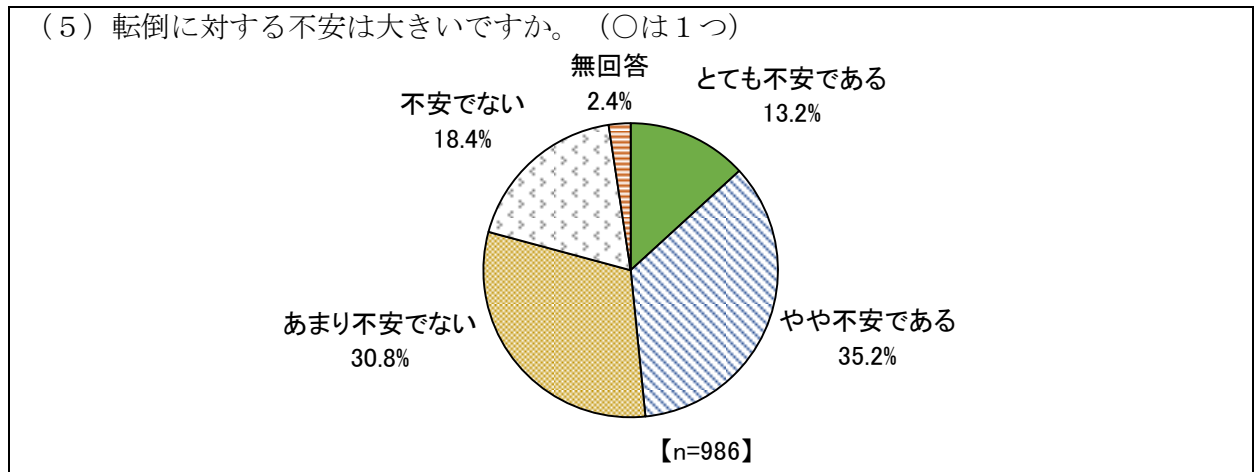
15分位続けて歩いているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は8.8%となっている。

(4) 転倒した経験



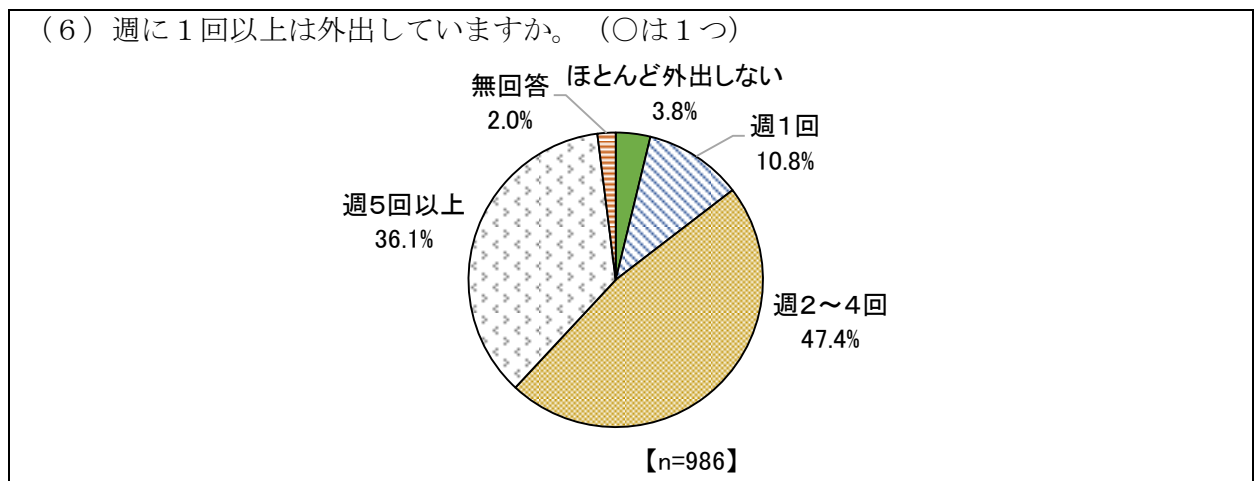
この1年間に転んだことがあるか尋ねたところ、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『ある割合』（「何度もある」と「1度ある」の合計）は31.3%となっている。

(5) 転倒に対する不安



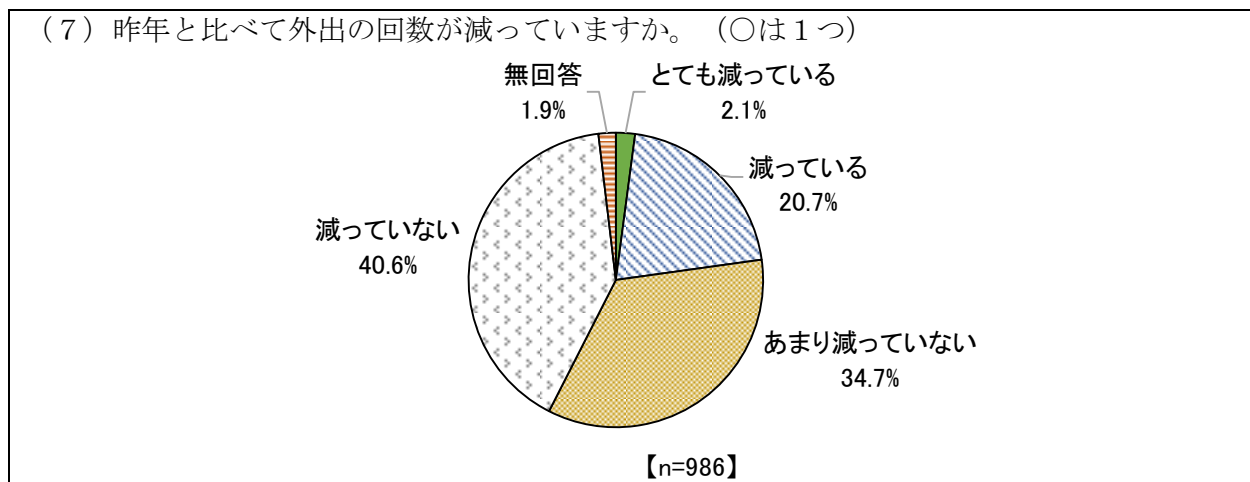
転倒に対する不安について尋ねたところ、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『不安である割合』（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）は48.4%となっている。

(6) 外出しているか



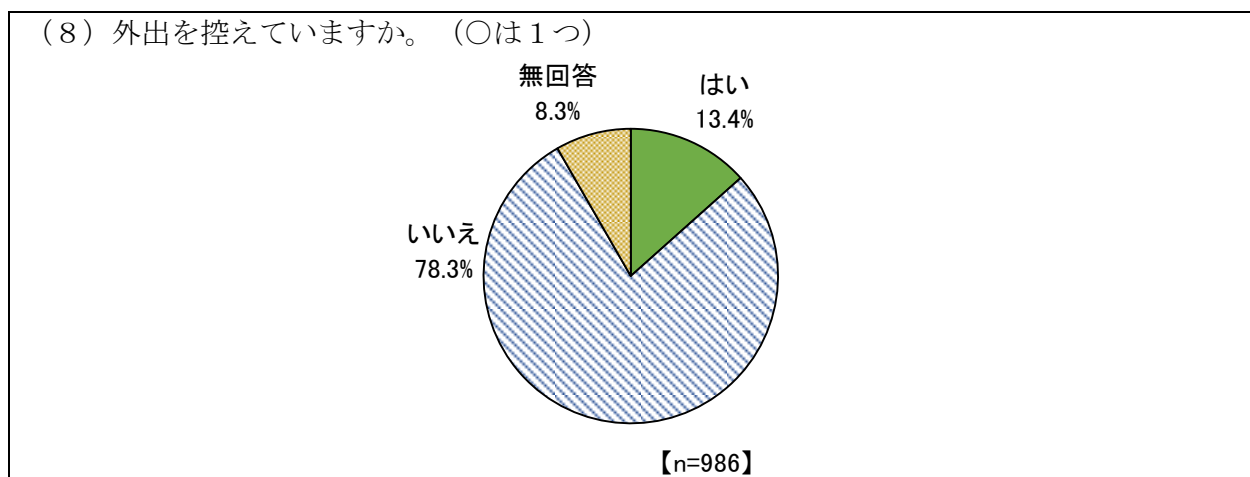
週に1回以上は外出しているか尋ねたところ、閉じこもり傾向のチェック該当となる『外出が少ない割合』（「ほとんど外出しない」と「週1回」の合計）は14.6%となっている。

(7) 外出頻度の減少



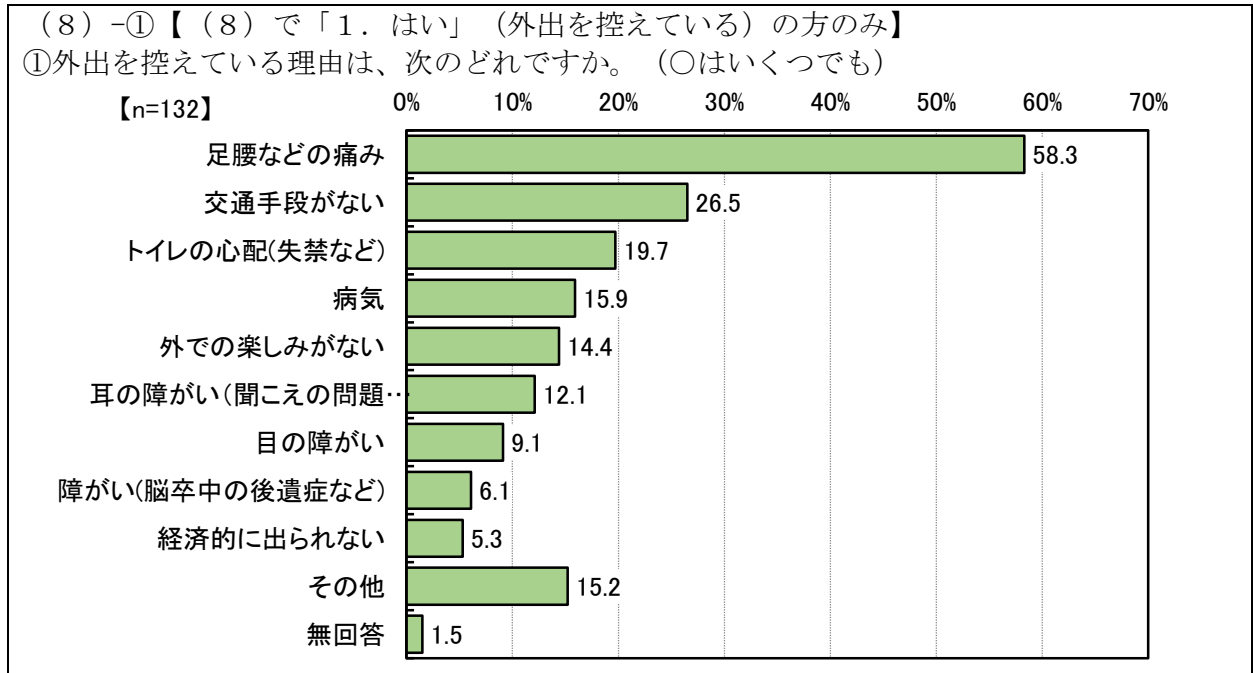
昨年と比べて外出の回数が減っているか尋ねたところ、「減っていない」が40.6%で最も多く、以下、「あまり減っていない」が34.7%、「減っている」が20.7%、「とても減っている」が2.1%となっている。

(8) 外出を控えているか



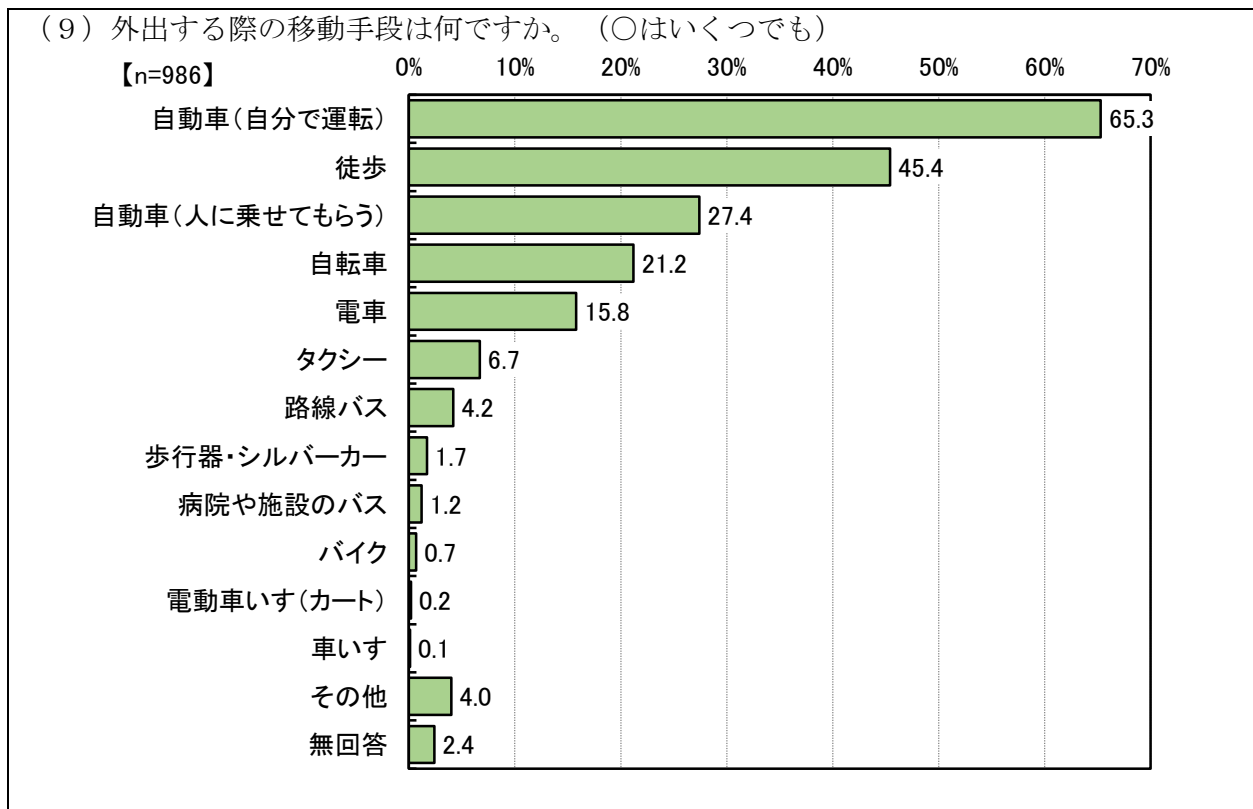
外出を控えているか尋ねたところ、13.4%が「はい」と回答している。

(9) 外出を控える理由



外出を控えている人に、その理由について尋ねたところ、「足腰などの痛み」が58.3%で最も多く、以下、「交通手段がない」が26.5%、「トイレの心配(失禁など)」が19.7%、「病気」が15.9%などとなっている。

(10) 外出する際の移動手段



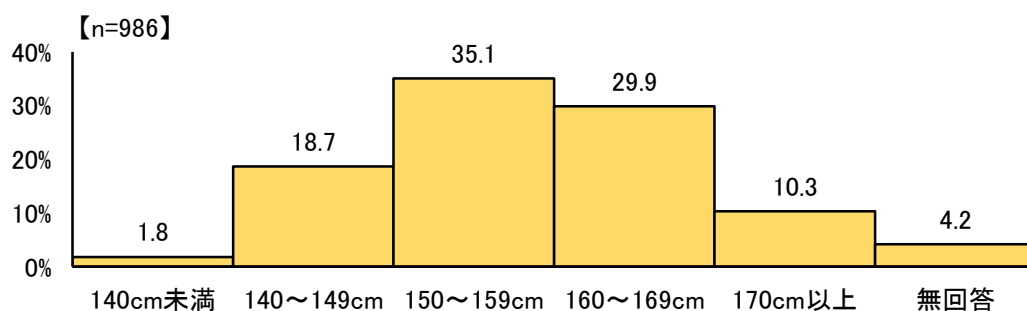
外出する際の移動手段については、「自動車(自分で運転)」が65.3%で最も多く、以下、「徒歩」が45.4%、「自動車(人に乗せてもらう)」が27.4%、「自転車」が21.2%、「電車」が15.8%などとなっている。

3 食べることについて

(1) 本人の身長・体重

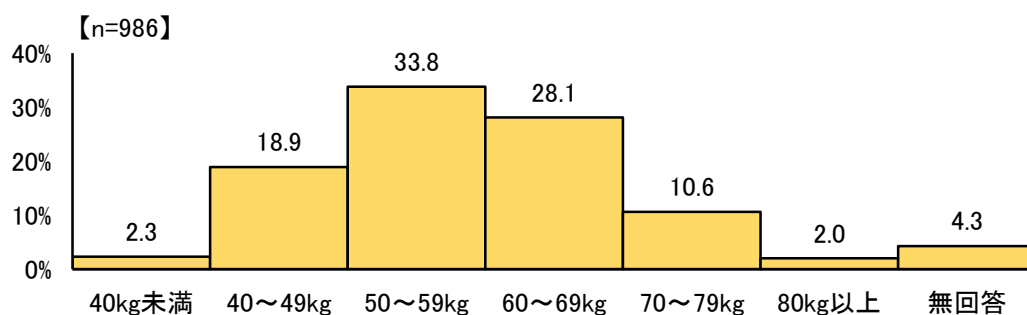
(1) あて名のご本人の身長・体重をお答えください。(それぞれ数字を記入)

<身長>



身長は、「150～159cm」が35.1%で最も多く、以下、「160～169cm」が29.9%、「140～149cm」が18.7%、「170cm以上」が10.3%、「140cm未満」が1.8%となっている。

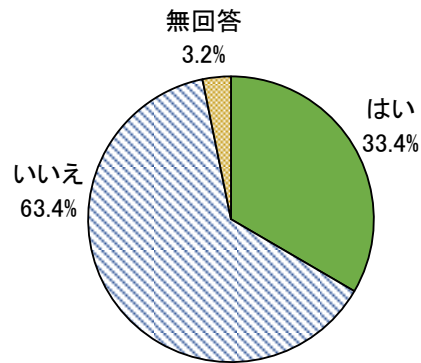
<体重>



体重は、「50～59kg」が33.8%で最も多く、以下、「60～69kg」が28.1%、「40～49kg」が18.9%、「70～79kg」が10.6%、「40kg未満」が2.3%となっている。

(2) 固いものが食べにくくなったか

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

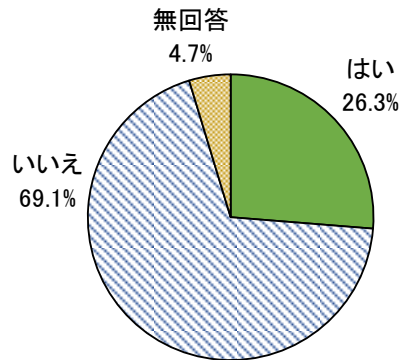


【n=986】

半年前に比べて固いものが食べにくくなったか尋ねたところ、口腔機能の低下リスクのチェック該当となる「はい」の割合は33.4%となっている。

(3) お茶や汁物等でむせることがあるか

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

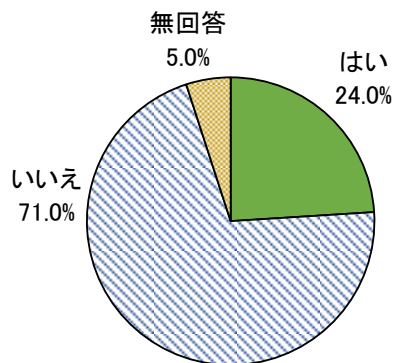


【n=986】

お茶や汁物等でむせることがあるか尋ねたところ、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は26.3%となっている。

(4) 口の渇き

(4) 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

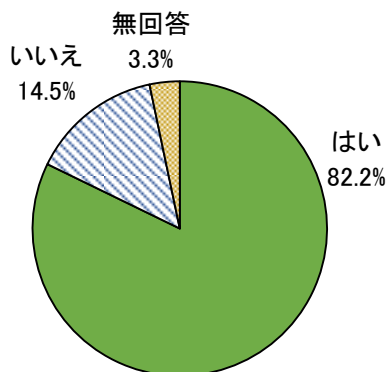


【n=986】

口の渇きが気になるか尋ねたところ、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は24.0%となっている。

(5) 歯磨きの習慣

(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか。 (○は1つ)

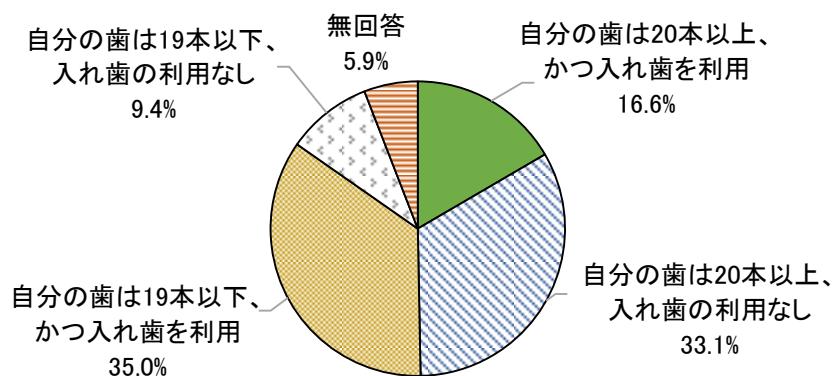


【n=986】

歯磨きを毎日しているか尋ねたところ、「はい」が82.2%、「いいえ」が14.5%となっている。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)。 (○は1つ)



【n=986】

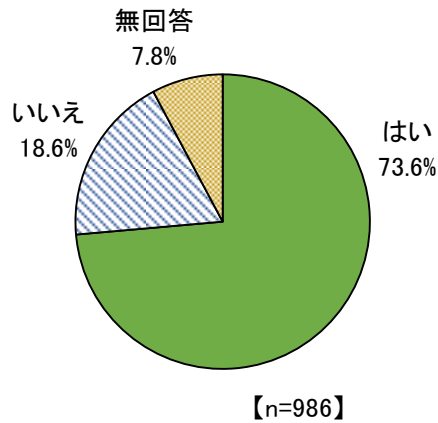
歯の数と入れ歯の利用状況を尋ねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が35.0%で最も多く、以下、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が33.1%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.6%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が9.4%となっている。

したがって、『自分の歯は20本以上の人』は49.7%、『入れ歯を利用している人』は51.6%となっている。

(7) 噛み合わせ

(6) -①【すべての方】

①噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

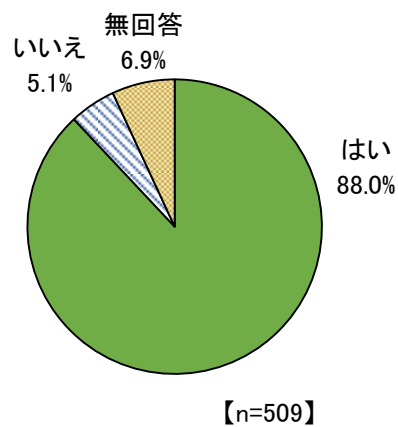


噛み合わせは良いか尋ねたところ、「はい」が73.6%、「いいえ」が18.6%となっている。

(8) 入れ歯の手入れ

(6) -②【入れ歯を利用している方のみ】

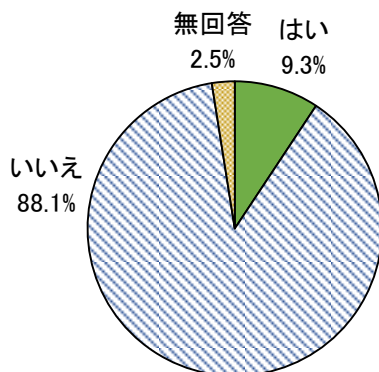
②毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)



入れ歯をしていると回答した人に、毎日入れ歯の手入れをしているか尋ねたところ、「はい」が88.0%、「いいえ」が5.1%となっている。

(9) 体重の減少

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

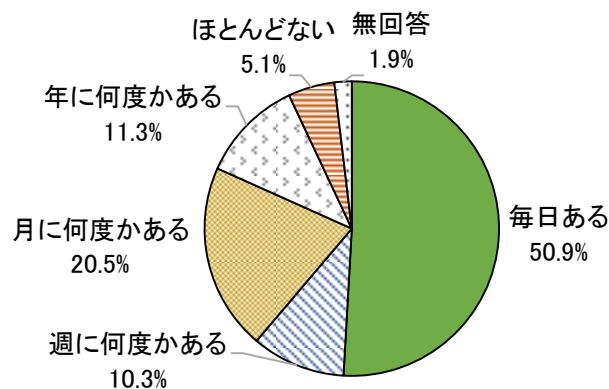


【n=986】

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか尋ねたところ、低栄養傾向のチェック該当となるの「はい」の割合は9.3%となっている。

(10) 誰かと食事をする機会

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

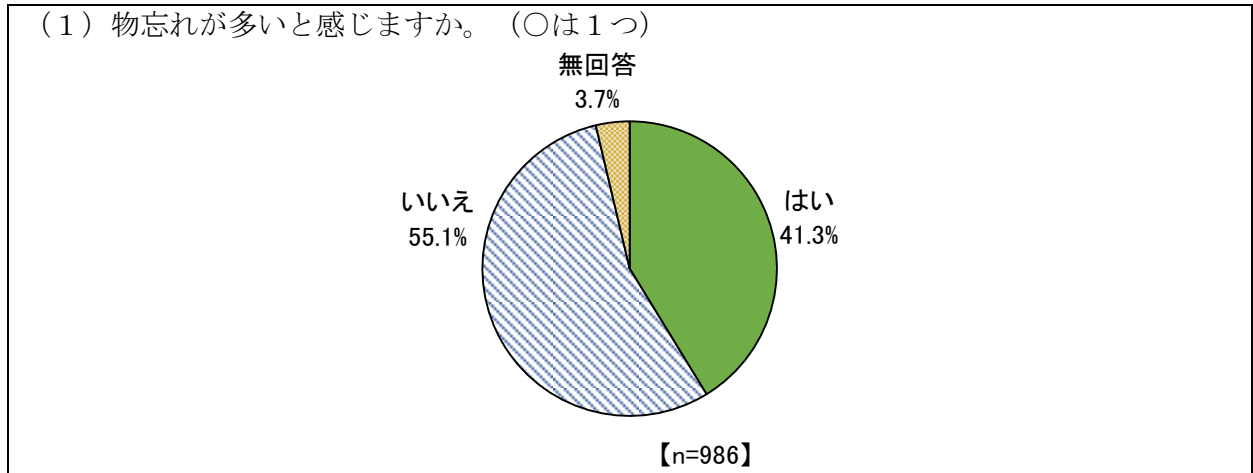


【n=986】

自分一人ではなく誰かと食事をとにもする機会があるか尋ねたところ、「毎日ある」が50.9%で最も多く、以下、「月に何度かある」が20.5%、「年に何度かある」が11.3%、「週に何度かある」が10.3%が続いている。

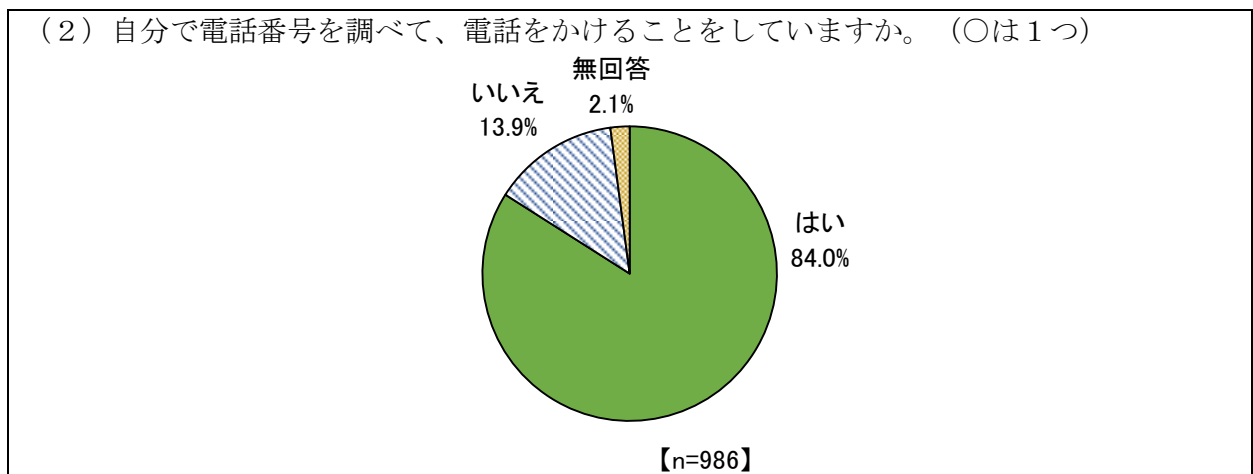
4 毎日の生活について

（１）物忘れがあるか



物忘れが多いと感じるか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は41.3%となっている。

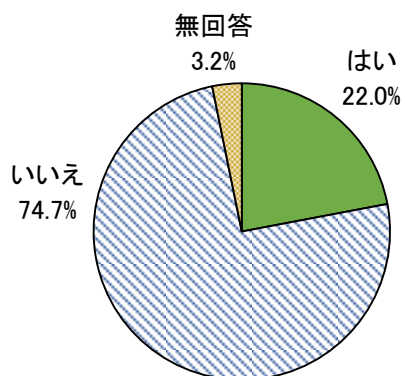
（２）電話をかけているか



自分で電話番号を調べて電話をかけているか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は13.9%となっている。

(3) 日にちがわからないことがあるか

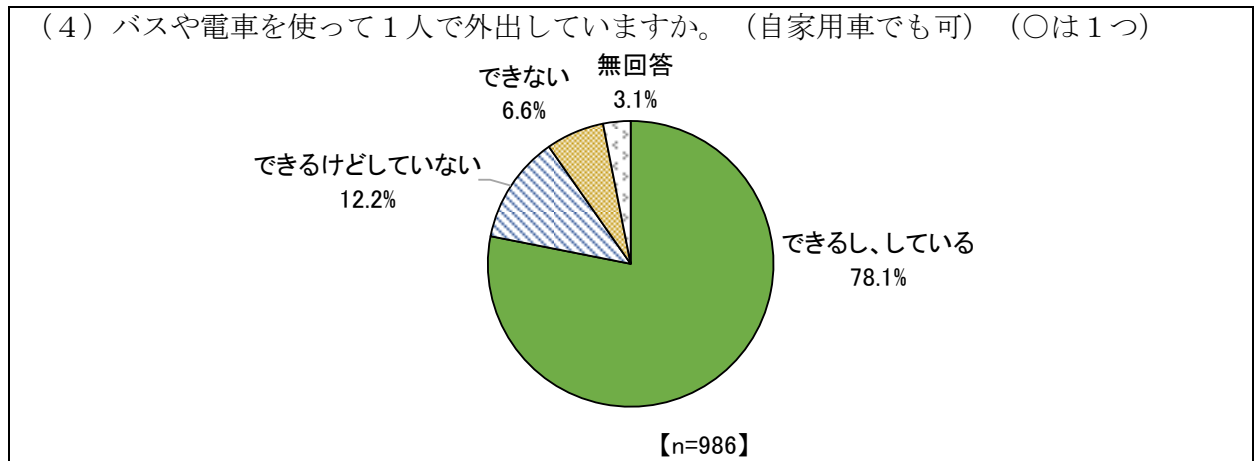
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)



【n=986】

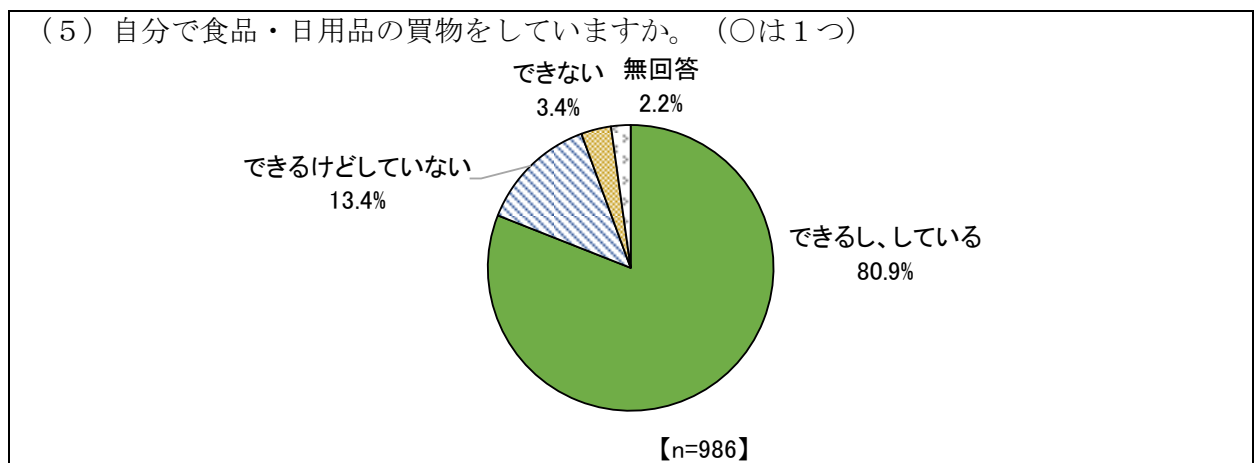
日にちがわからないことがあるか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は22.0%となっている。

(4) 一人での外出



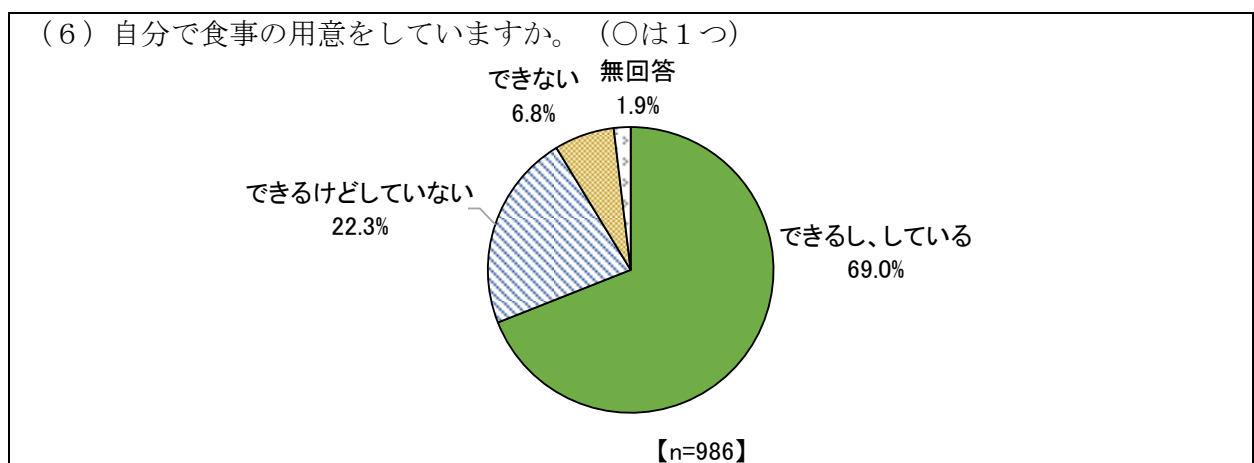
バスや電車を使って一人で外出しているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は6.6%となっている。

(5) 食品・日用品の買い物



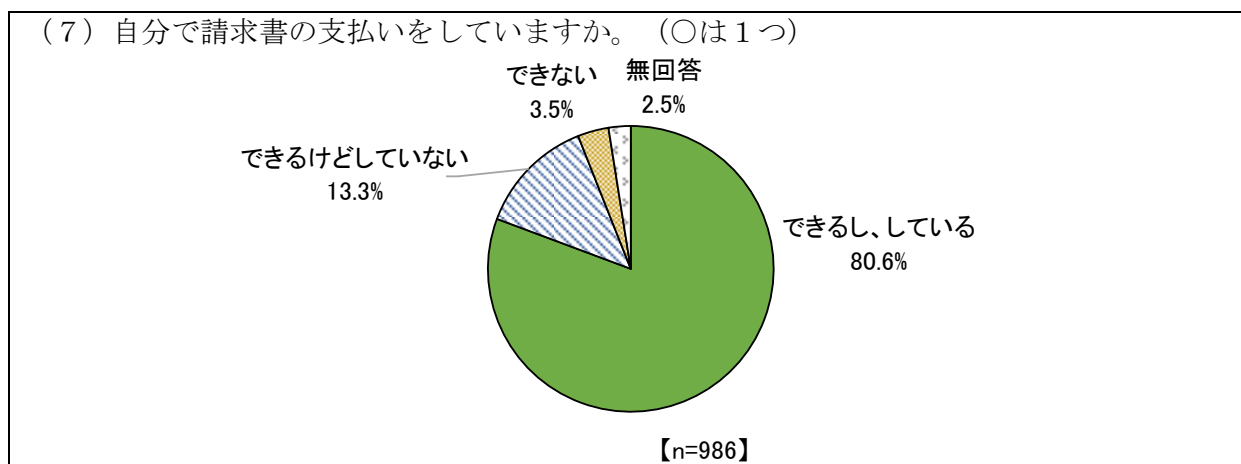
自分で食品・日用品の買物をしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は3.4%となっている。

(6) 食事の用意



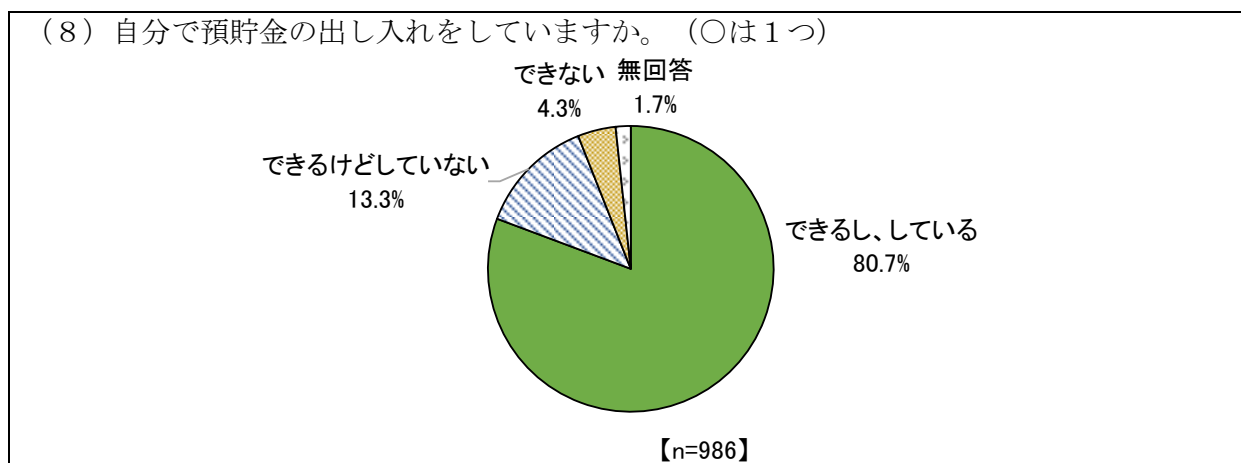
自分で食事の用意をしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は6.8%となっている。

(7) 請求書の支払い



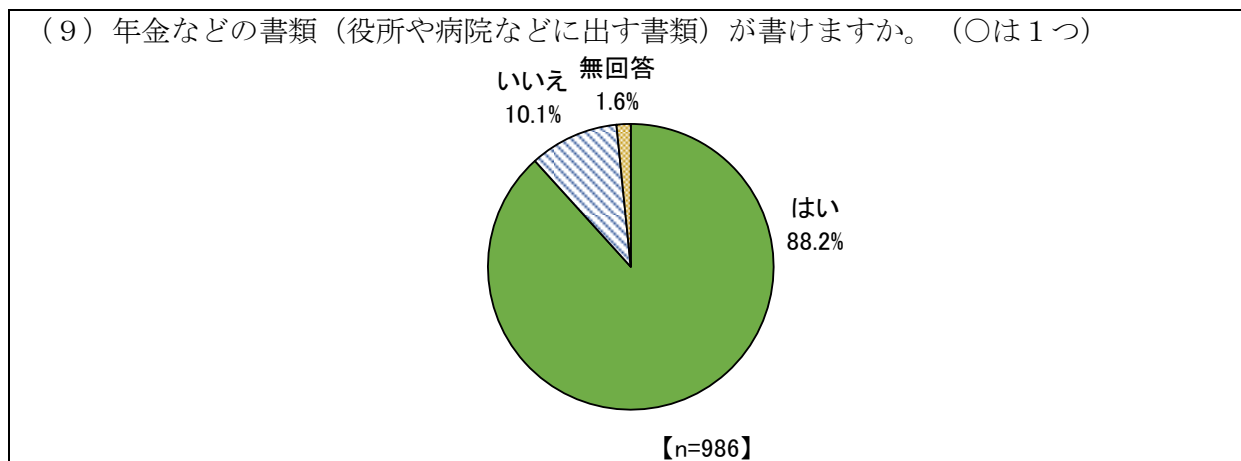
自分で請求書の支払いをしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は3.5%となっている。

(8) 預貯金の出し入れ



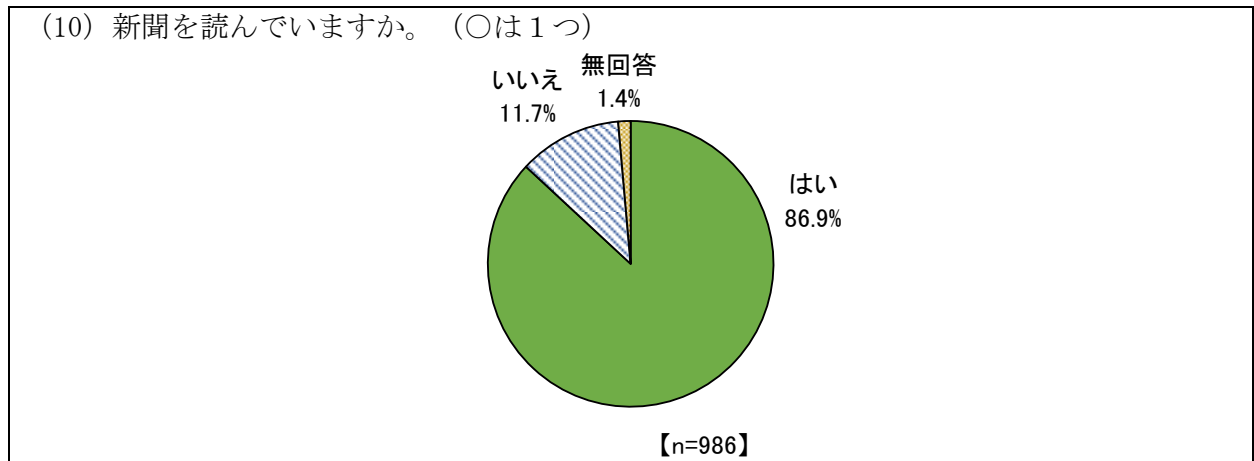
自分で預貯金の出し入れをしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は4.3%となっている。

(9) 年金などの書類が書けるか



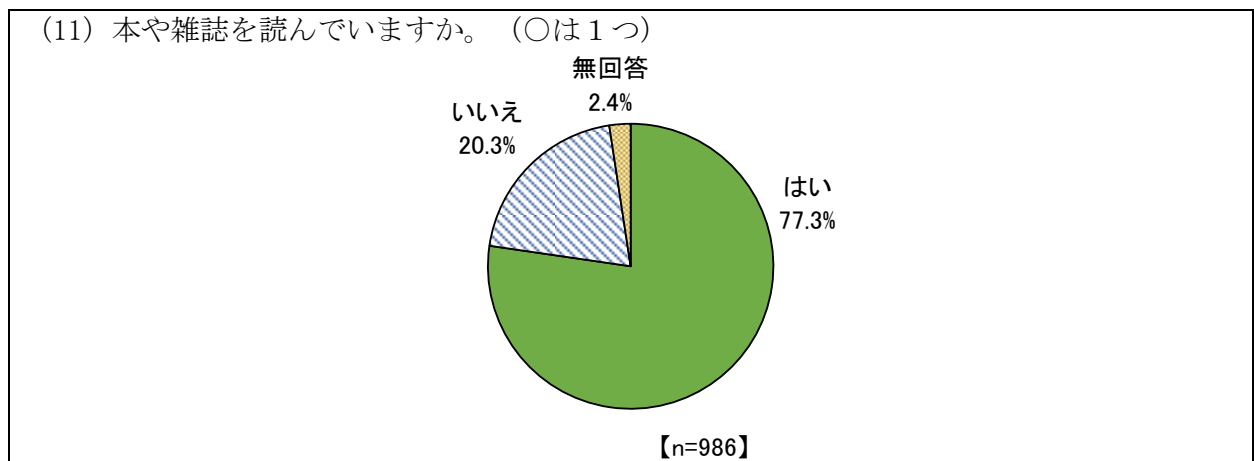
年金などの書類が書けるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は10.1%となっている。

(10) 新聞を読んでいるか



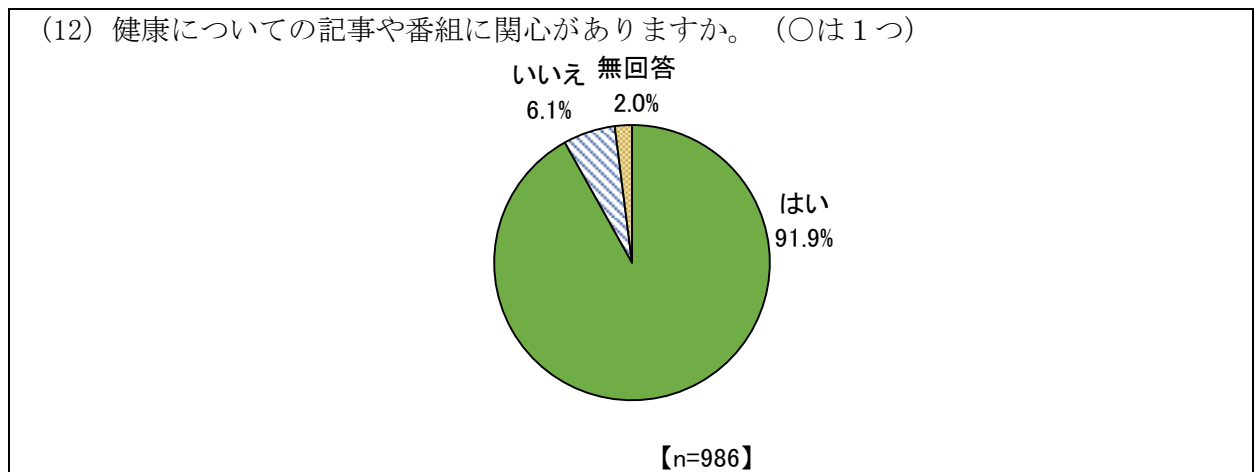
新聞を読んでいるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は11.7%となっている。

(11) 本や雑誌を読んでいるか



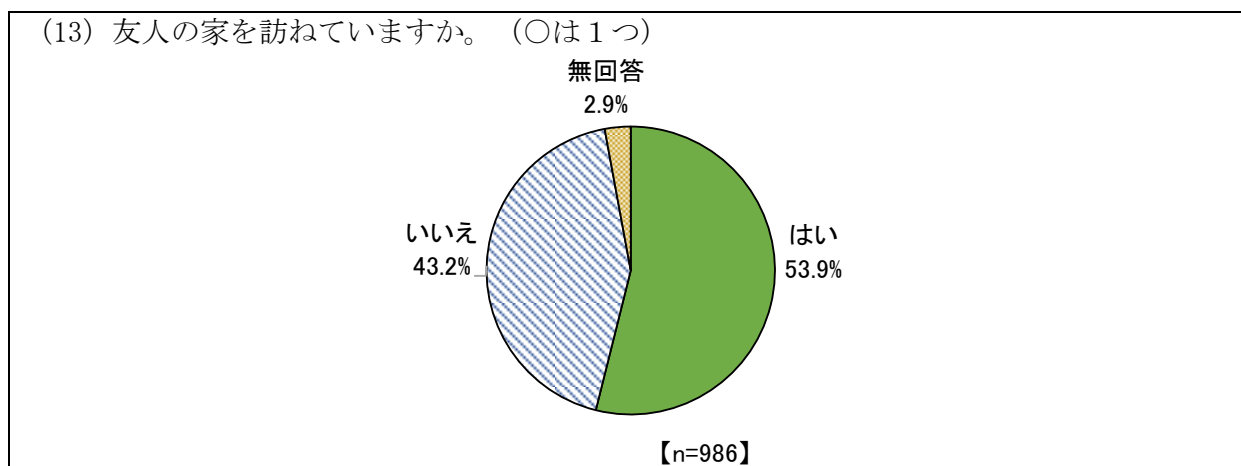
本や雑誌を読んでいるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は20.3%となっている。

(12) 健康についての記事や番組への関心



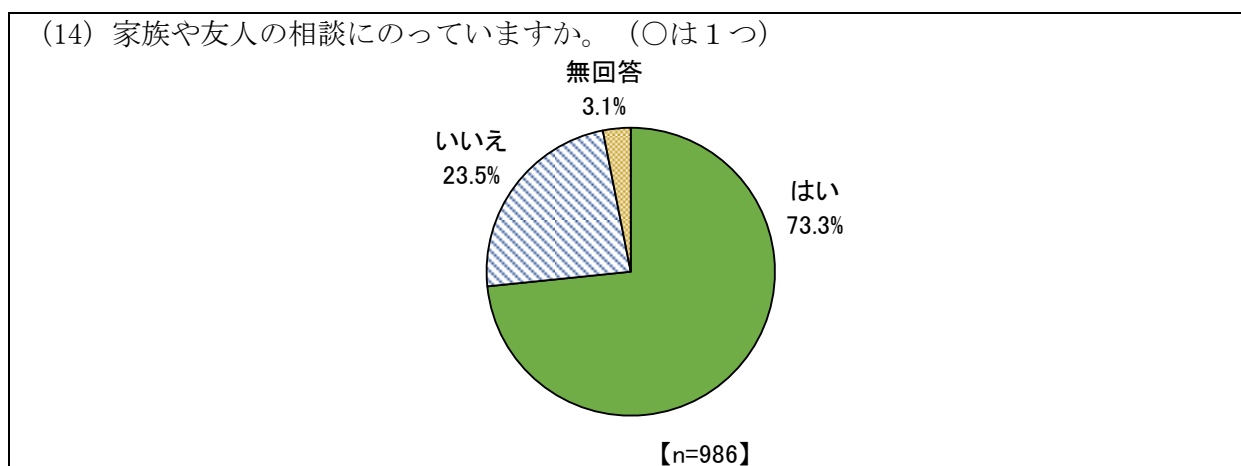
健康についての記事や番組に関心があるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は6.1%となっている。

(13) 友人宅への訪問



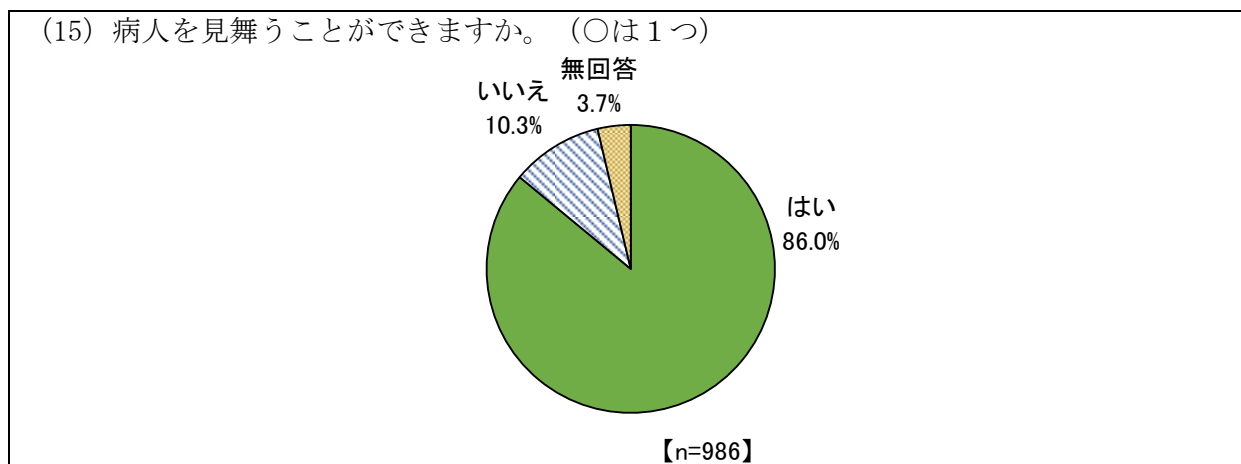
友人宅を訪ねているか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は43.2%となっている。

(14) 相談にのっているか



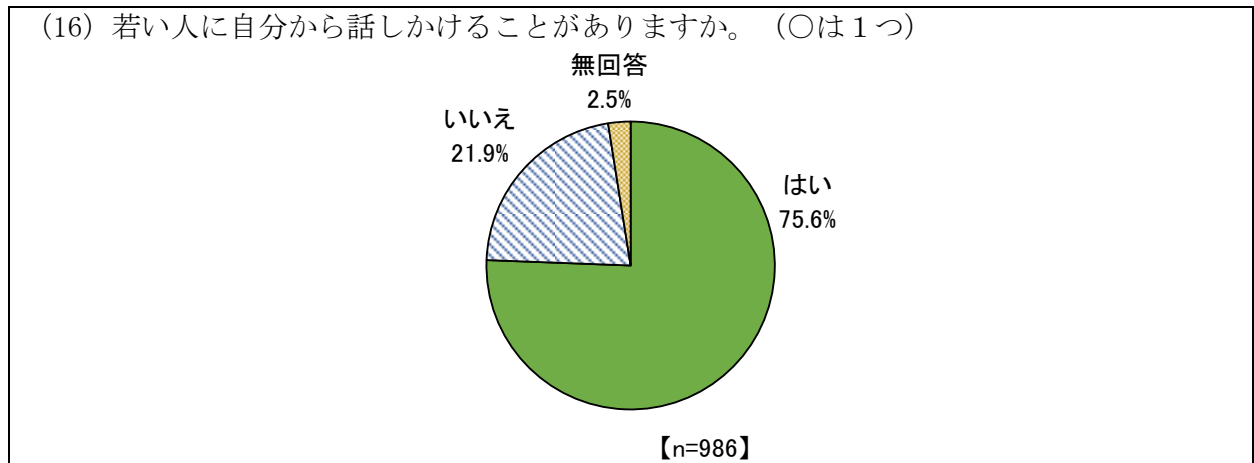
家族や友人の相談にのっているか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は23.5%となっている。

(15) 病人の見舞いができるか



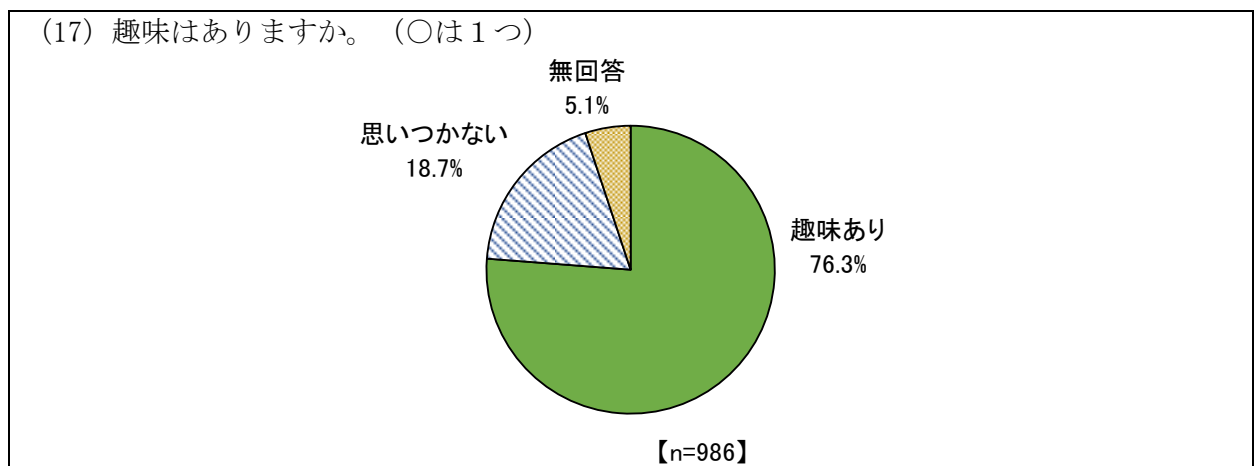
病人の見舞いができるか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は10.3%となっている。

(16) 若い人への話しかけ



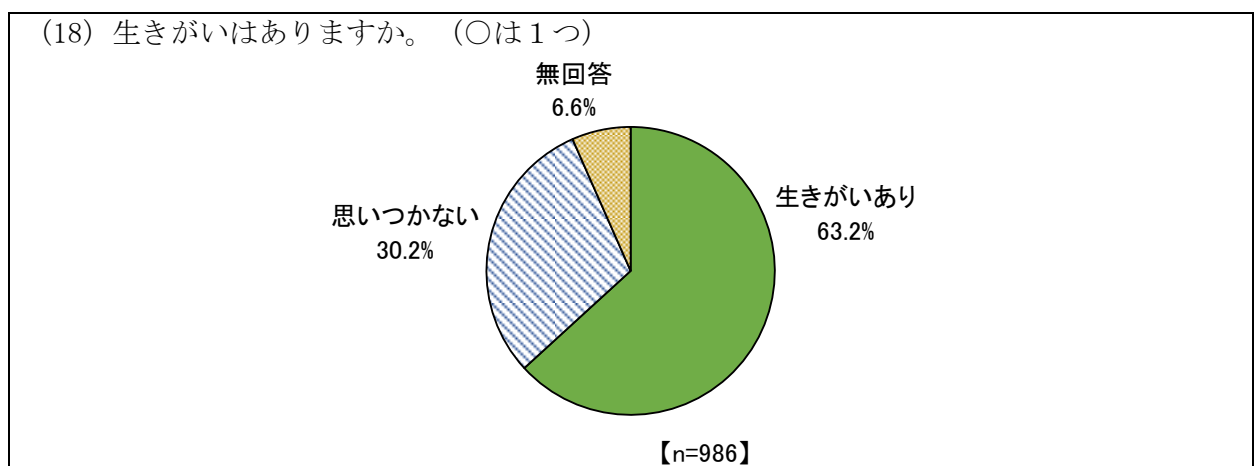
若い人に話しかけることがあるか尋ねたところ、社会的役割低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は21.9%となっている。

(17) 趣味はあるか



趣味はあるか尋ねたところ、「趣味あり」が76.3%、「思いつかない」が18.7%となっている。

(18) 生きがいはあるか



生きがいはあるか尋ねたところ、「生きがいあり」が63.2%、「思いつかない」が30.2%となっている。

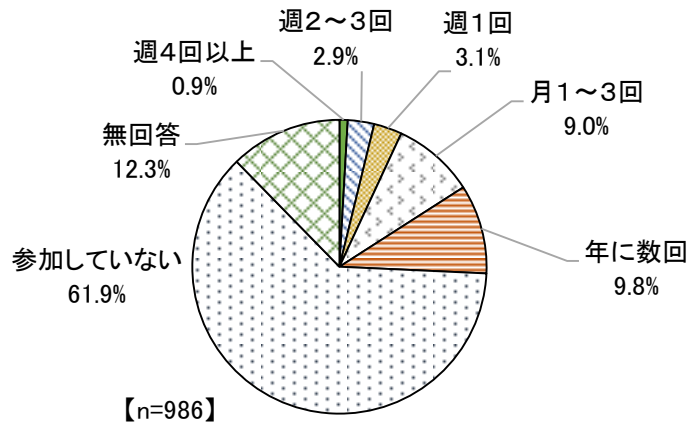
5 地域での活動について

(1) 会・グループへの参加状況

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①～⑧それぞれについて、1つずつ○)

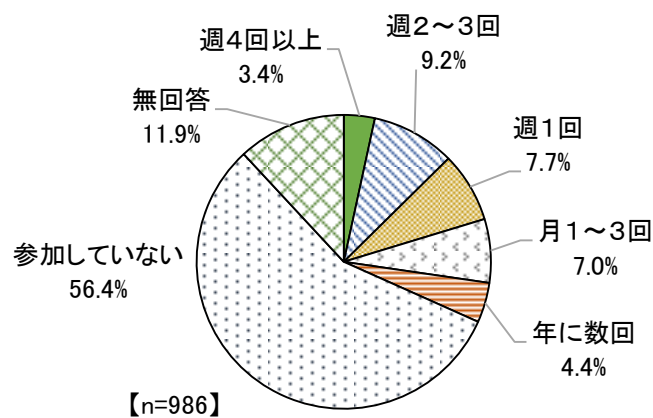
①ボランティアのグループ



ボランティアのグループについては、全体の25.7%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が9.8%で最も多くなっている。

一方、61.9%は「参加していない」と回答している。

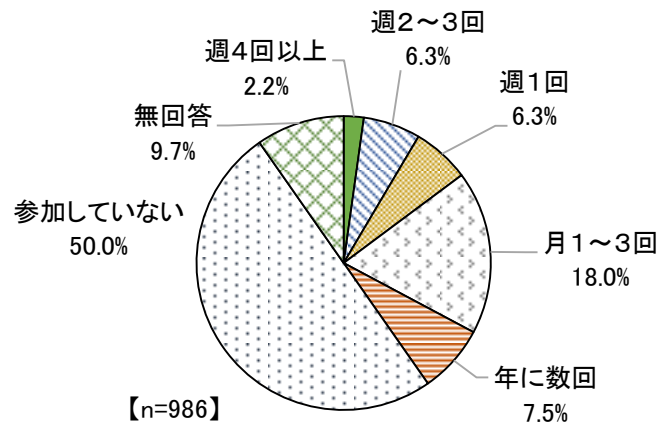
②スポーツ関係のグループやクラブ



スポーツ関係のグループやクラブについては、全体の31.7%が活動に参加しており、参加頻度としては「週2～3回」が9.2%で最も多くなっている。

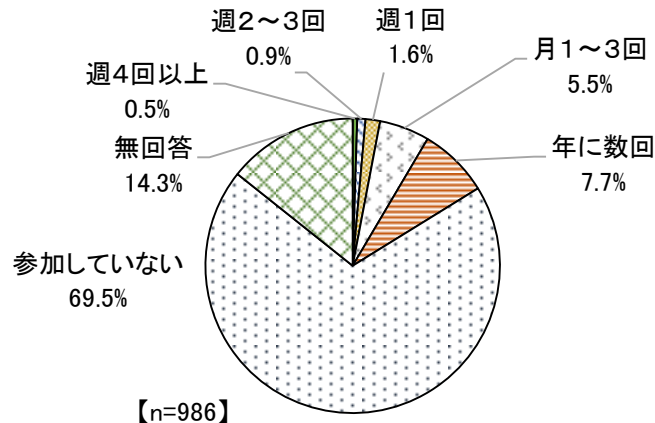
一方、56.4%は「参加していない」と回答している。

③趣味関係のグループ



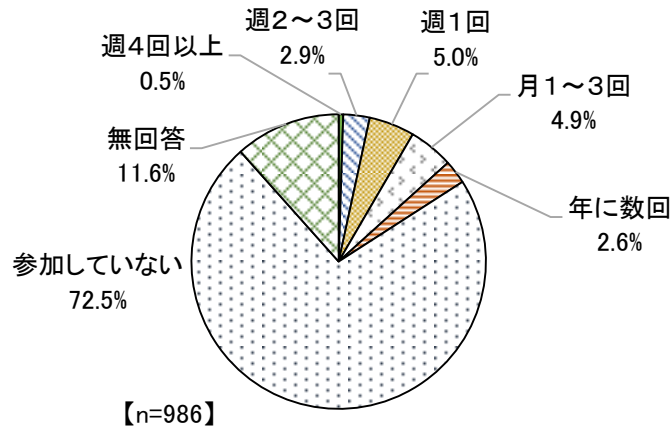
趣味関係のグループについては、全体の40.3%が活動に参加しており、参加頻度としては「月1～3回」が18.0%で最も多くなっている。
一方、50.0%は「参加していない」と回答している。

④学習・教養サークル



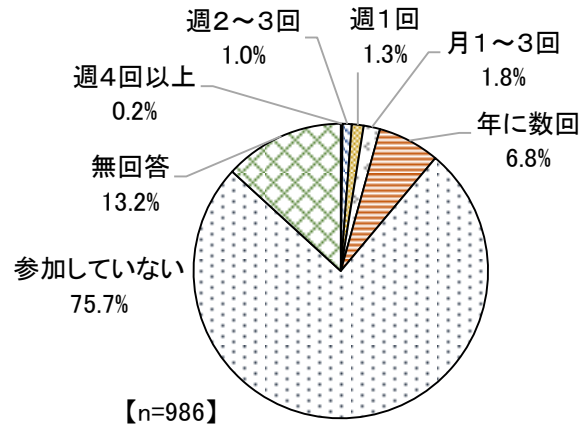
学習・教養サークルについては、全体の16.2%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が7.7%で最も多くなっている。
一方、69.5%は「参加していない」と回答している。

⑤介護予防のための通いの場（シルバーリハビリ体操）



介護予防のための通いの場については、全体の15.9%が活動に参加しており、参加頻度としては「週1回」が5.0%で最も多くなっている。
一方、72.5%は「参加していない」と回答している。

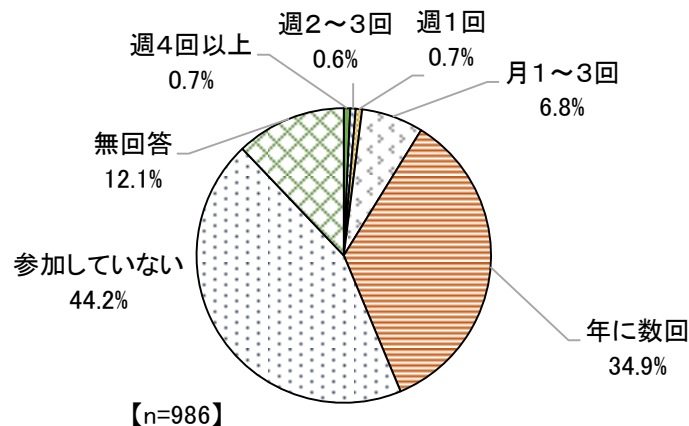
⑥老人クラブ



老人クラブについては、全体の11.1%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が6.8%で最も多くなっている。

一方、75.7%は「参加していない」と回答している。

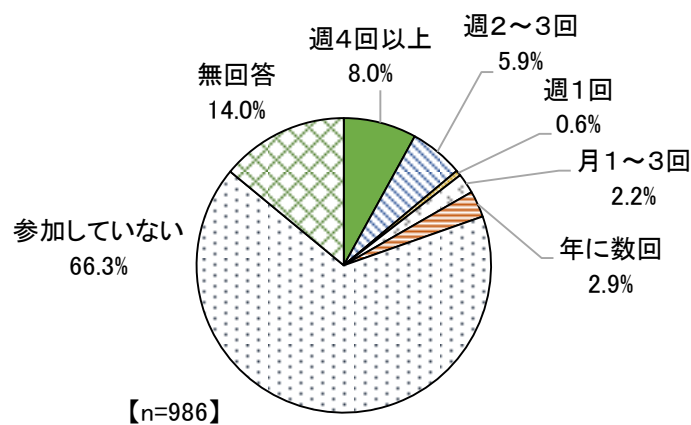
⑦町内会・自治会



町内会・自治会については、全体の43.7%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が34.9%で最も多くなっている。

一方、44.2%は「参加していない」と回答している。

⑧収入のある仕事

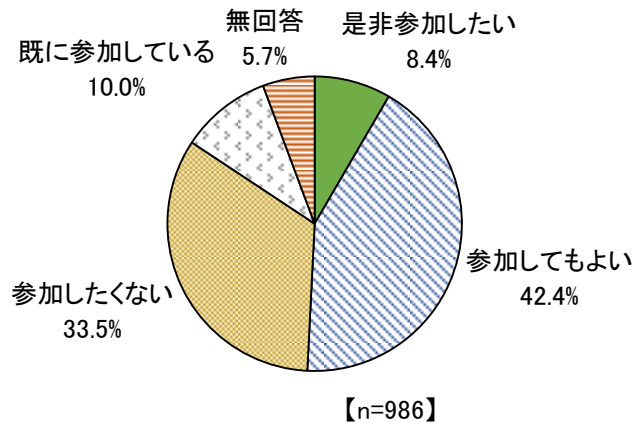


収入のある仕事については、全体の19.6%が活動に参加しており、参加頻度としては「週4回以上」が8.0%で最も多くなっている。

一方、66.3%は「参加していない」と回答している。

(2) 地域活動への参加者としての参加希望

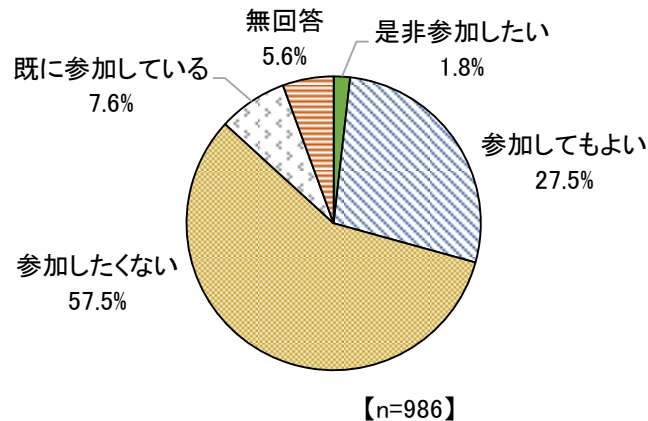
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)



地域住民による活動に参加者として参加してみたいかをたずねたところ、「参加してもよい」が42.4%で最も多く、以下、「参加したくない」が33.5%、「既に参加している」が10.0%、「是非参加したい」が8.4%となっている。

(3) 地域活動への企画・運営者としての参加希望

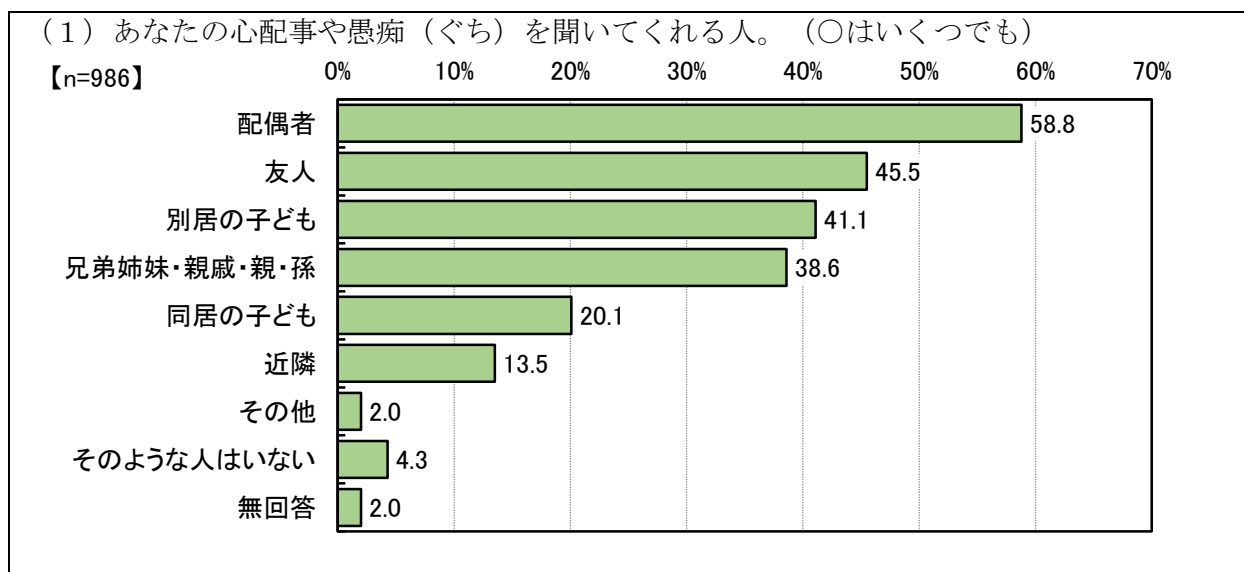
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)



地域住民による活動に企画・運営者として参加してみたいかをたずねたところ、「参加したくない」が57.5%で最も多く、以下、「参加してもよい」が27.5%、「既に参加している」が7.6%、「是非参加したい」が1.8%となっている。

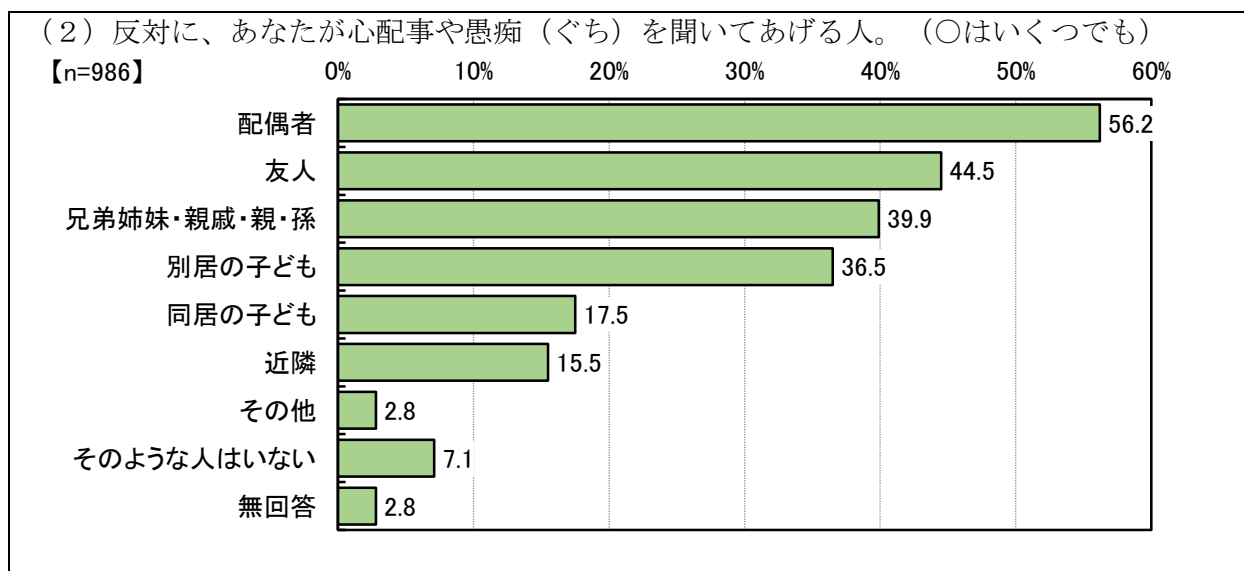
6 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人



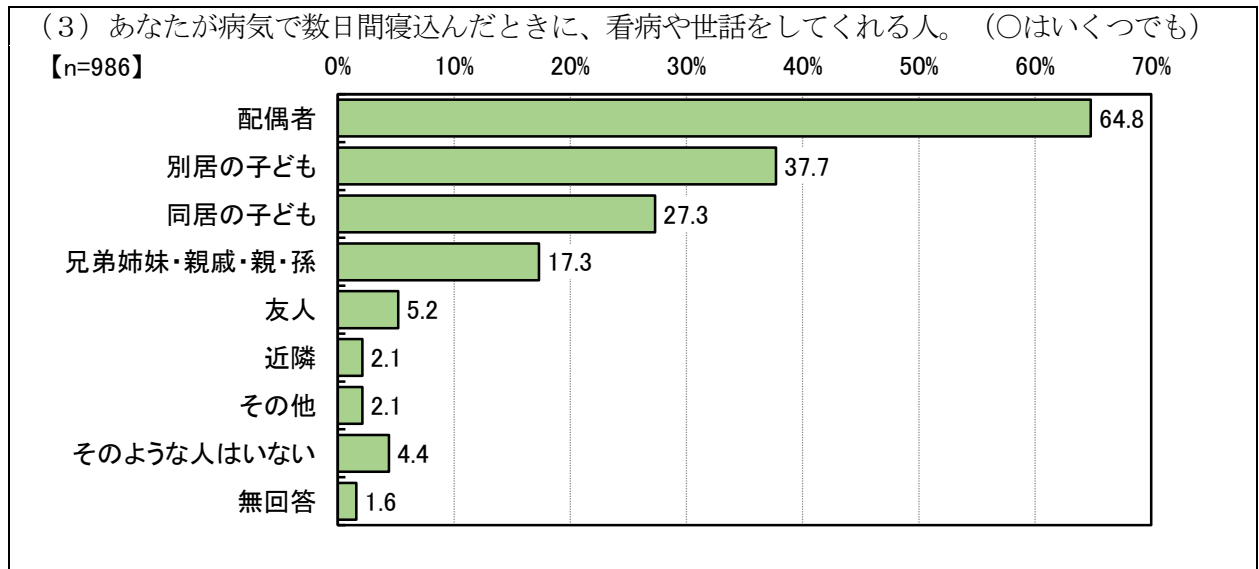
心配事や愚痴を聞いてくれる人を尋ねたところ、「配偶者」が58.8%で最も多く、以下、「友人」が45.5%、「別居の子ども」が41.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が38.6%、「同居の子ども」が20.1%などの順となっている。

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人



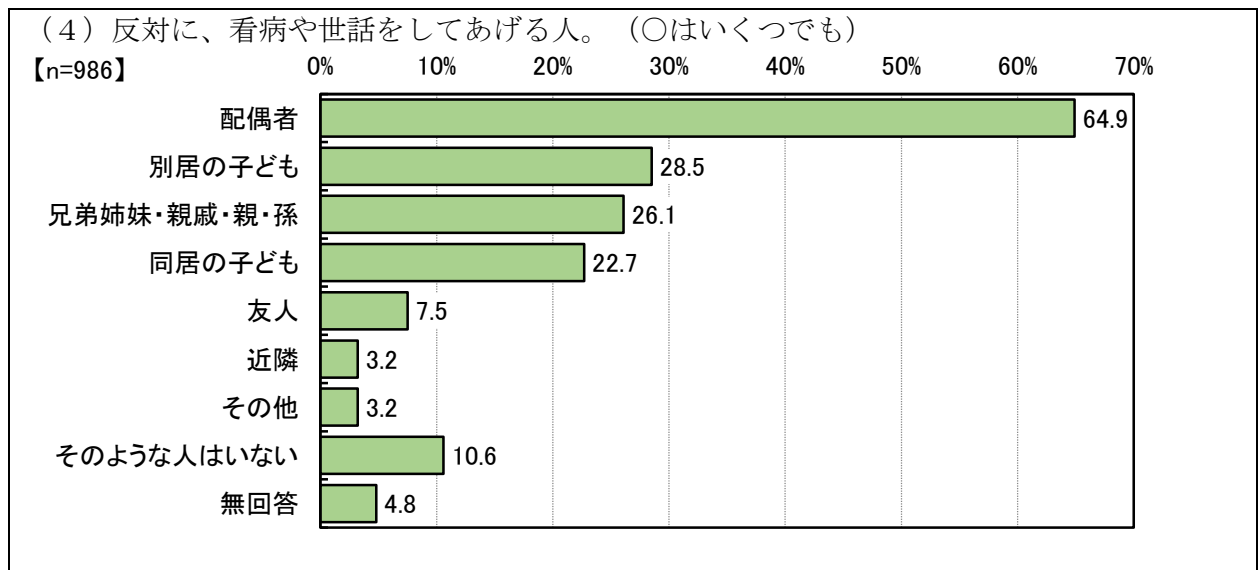
反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人を尋ねたところ、「配偶者」が56.2%で最も多く、以下、「友人」が44.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が39.9%、「別居の子ども」が36.5%、「同居の子ども」が17.5%などとなっている。

(3) 看病や世話をしてくれる人



病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を尋ねたところ、「配偶者」が64.8%で最も多く、以下、「別居の子ども」が37.7%、「同居の子ども」が27.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が17.3%、「友人」が5.2%などとなっている。

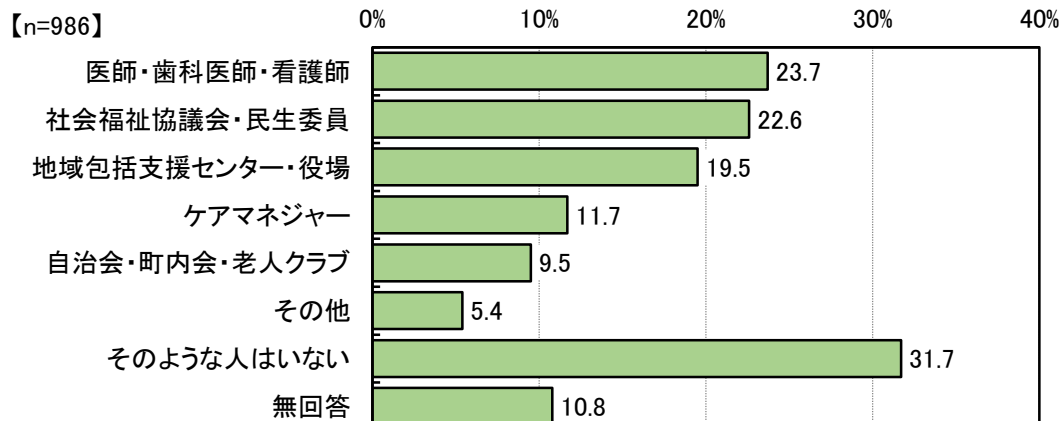
(4) 看病や世話をしてあげる人



反対に、看病や世話をしてあげる人を尋ねたところ、「配偶者」が64.9%で最も多く、以下、「別居の子ども」が28.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が26.1%、「同居の子ども」が22.7%、「そのような人はいない」が10.6%などとなっている。

(5) 家族や友人・知人以外の相談相手

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(○はいくつでも)

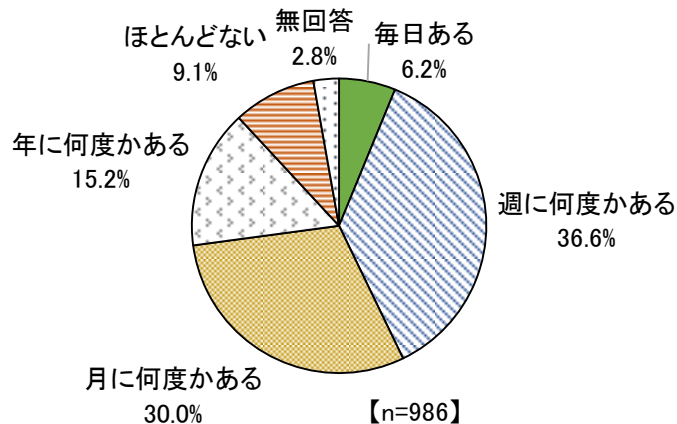


家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手を尋ねたところ、「医師・歯科医師・看護師」が23.7%、以下、「社会福祉協議会・民生委員」が22.6%、「地域包括支援センター・役場」が19.5%、「ケアマネジャー」が11.7%などとなっている。

一方、31.7%は「そのような人はいない」と回答している。

(6) 友人・知人と会う頻度

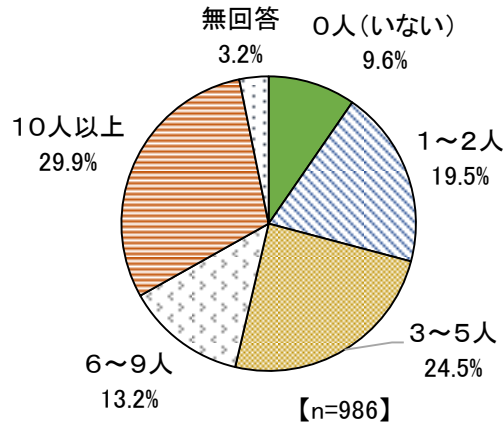
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)



友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」が36.6%で最も多く、以下、「月に何度かある」が30.0%、「年に何度かある」が15.2%、「ほとんどない」が9.1%、「毎日ある」が6.2%となっている。

(7) 1か月間に会った友人・知人の数

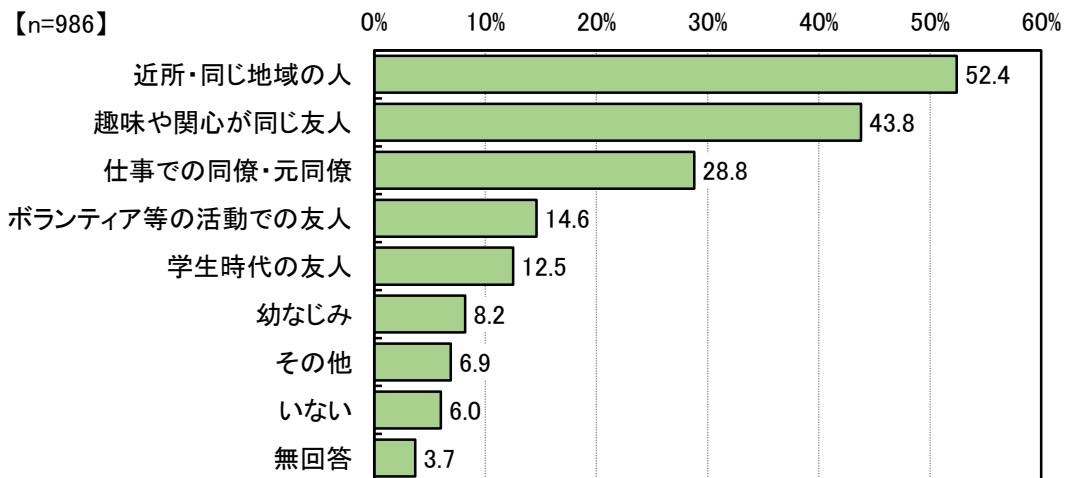
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(○は1つ)
同じ人には何度会っても1人と数えることとします。



この1か月間、何人の友人・知人と会ったか尋ねたところ、「10人以上」が29.9%で最も多く、以下、「3～5人」が24.5%、「1～2人」が19.5%、「6～9人」が13.2%、「0人(いない)」が9.6%となっている。

(8) よく会う友人・知人との関係

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)



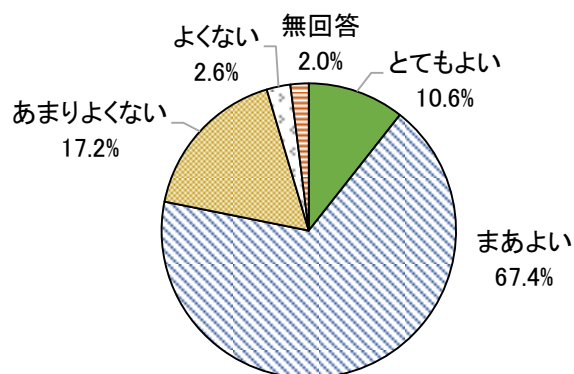
よく会う友人・知人はどのような関係の人か尋ねたところ、「近所・同じ地域の人」が52.4%で最も多く、以下、「趣味や関心が同じ友人」が43.8%、「仕事での同僚・元同僚」が28.8%、「ボランティア等の活動での友人」が14.6%、「学生時代の友人」が12.5%などとなっている。

一方、6.0%は「いない」と回答している。

7 健康について

(1) 主観的健康感

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

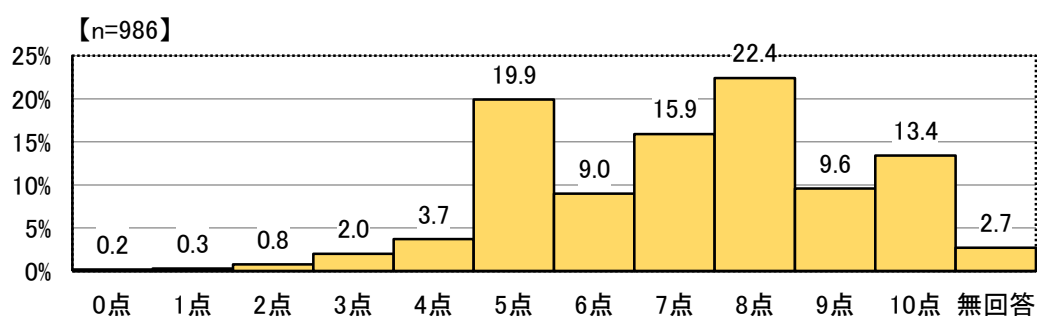


【n=986】

現在の健康状態を尋ねたところ、「まあよい」が67.4%で最も多く、以下、「あまりよくない」が17.2%、「とてもよい」が10.6%、「よくない」が2.6%となっている。

(2) 主観的幸福感

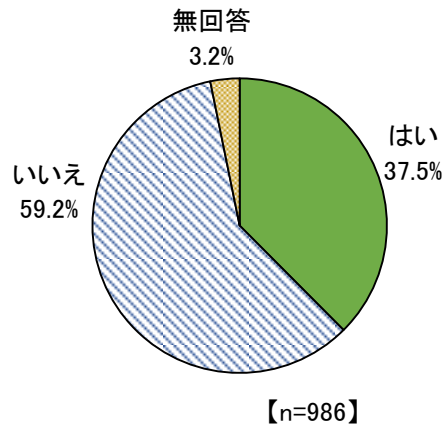
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)



現在、どの程度幸せかを点数で尋ねたところ、「8点」が22.4%で最も多く、以下、「5点」が19.9%、「7点」が15.9%、「10点」が13.4%、「9点」が9.6%などとなっています。

(3) 最近1か月の気分の状態

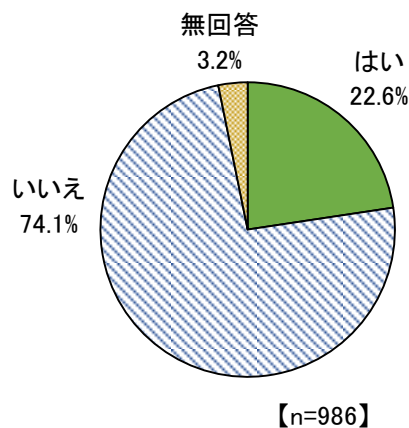
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)



気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか尋ねたところ、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は37.5%となっている。

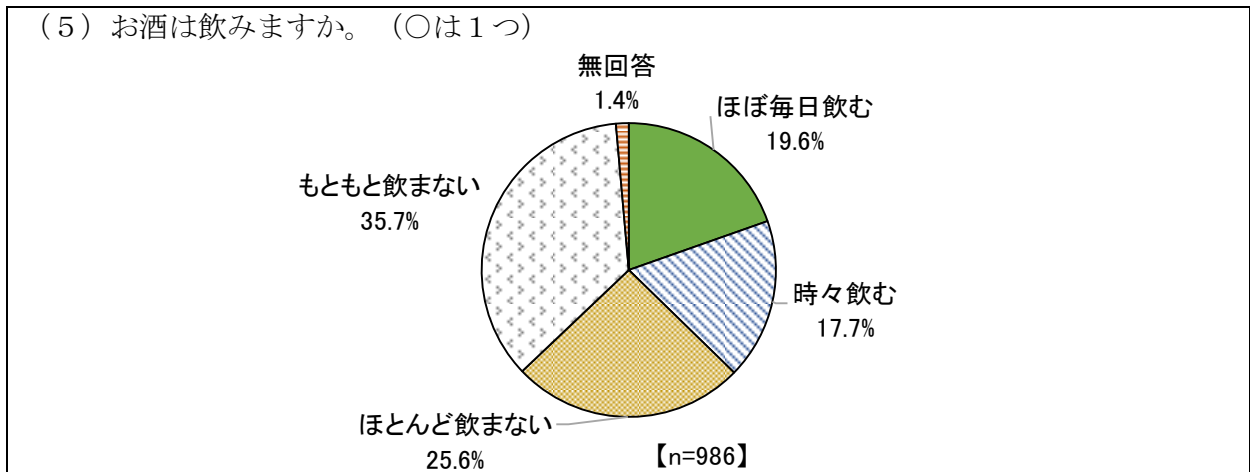
(4) 最近1か月の物事に対する心の状態

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)



物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがあったか尋ねたところ、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は22.6%となっている。

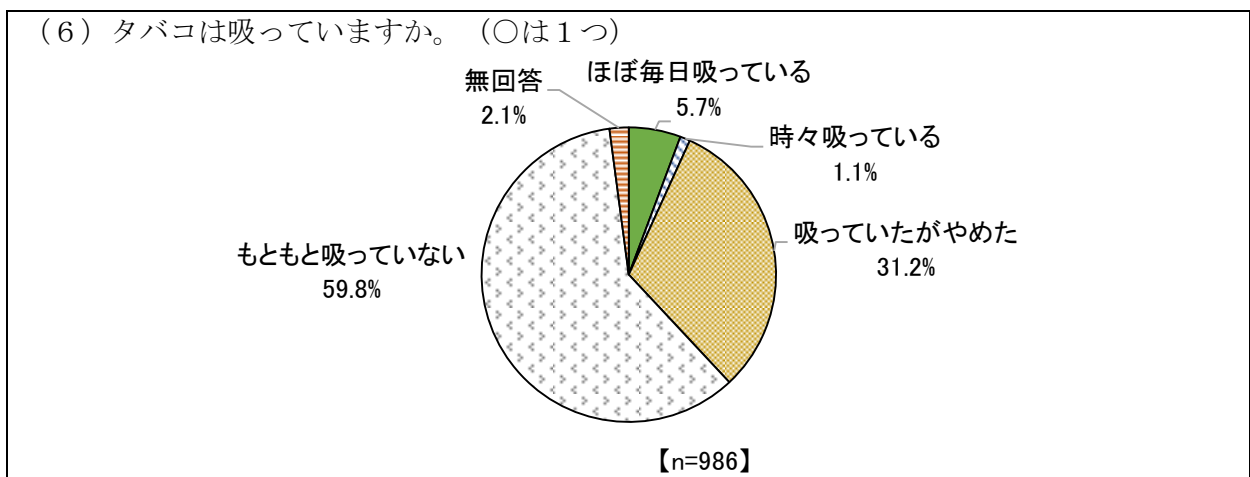
(5) 飲酒の状況



飲酒については、「もともと飲まない」が35.7%で最も多く、以下、「ほとんど飲まない」が25.6%、「ほぼ毎日飲む」が19.6%、「時々飲む」が17.7%となっている。

したがって、『飲酒する人の割合』（「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の合計）は37.3%であることが分かる。

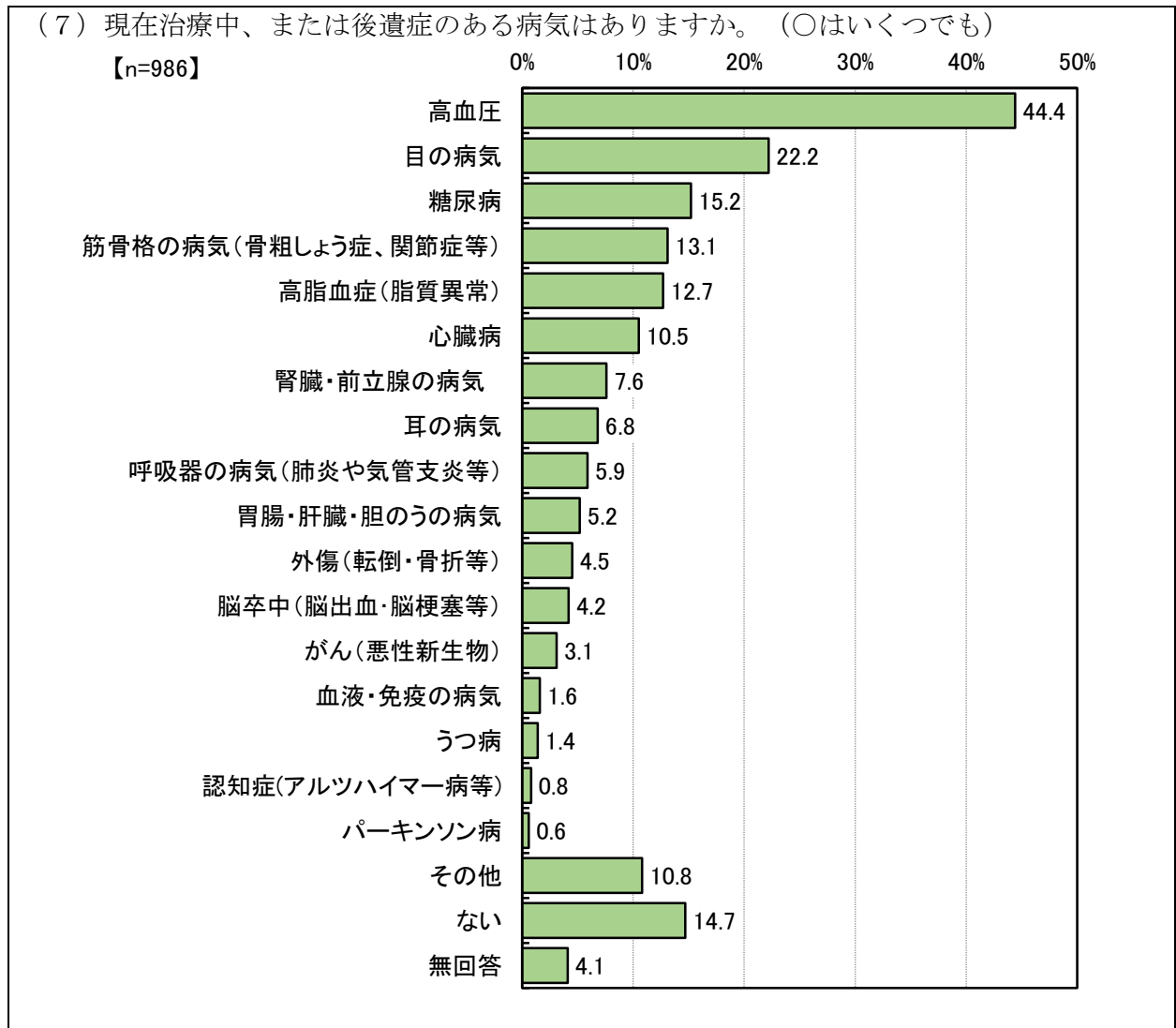
(6) 喫煙の状況



喫煙については、「もともと吸っていない」が59.8%で最も多く、以下、「吸っていたがやめた」が31.2%、「ほぼ毎日吸っている」が5.7%、「時々吸っている」が1.1%となっている。

したがって、『喫煙者の割合』（「ほぼ毎日吸っている」及び「時々吸っている」の合計）は6.8%であることが分かる。

(7) 治療中の病気



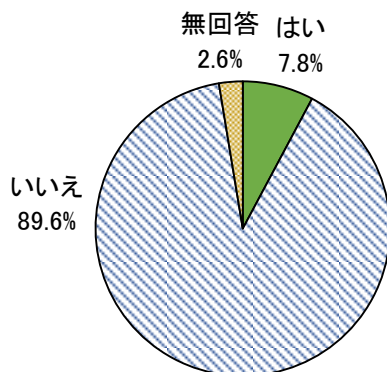
現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が44.4%で最も多く、以下、「目の病気」が22.2%、「糖尿病」が15.2%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が13.1%などとなっている。

なお、14.7%は「ない」と回答している。

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

（１）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

（１）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は１つ）

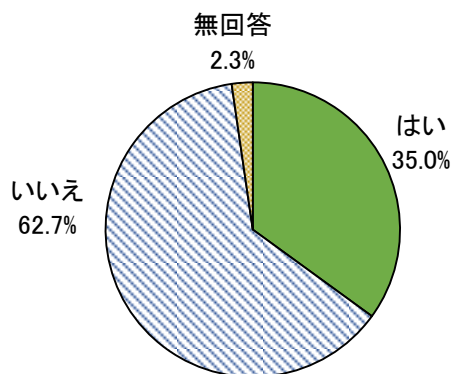


【n=986】

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかを尋ねたところ、「はい」が7.8%となっている。

（２）認知症に関する相談窓口の認知度

（２）認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は１つ）



【n=986】

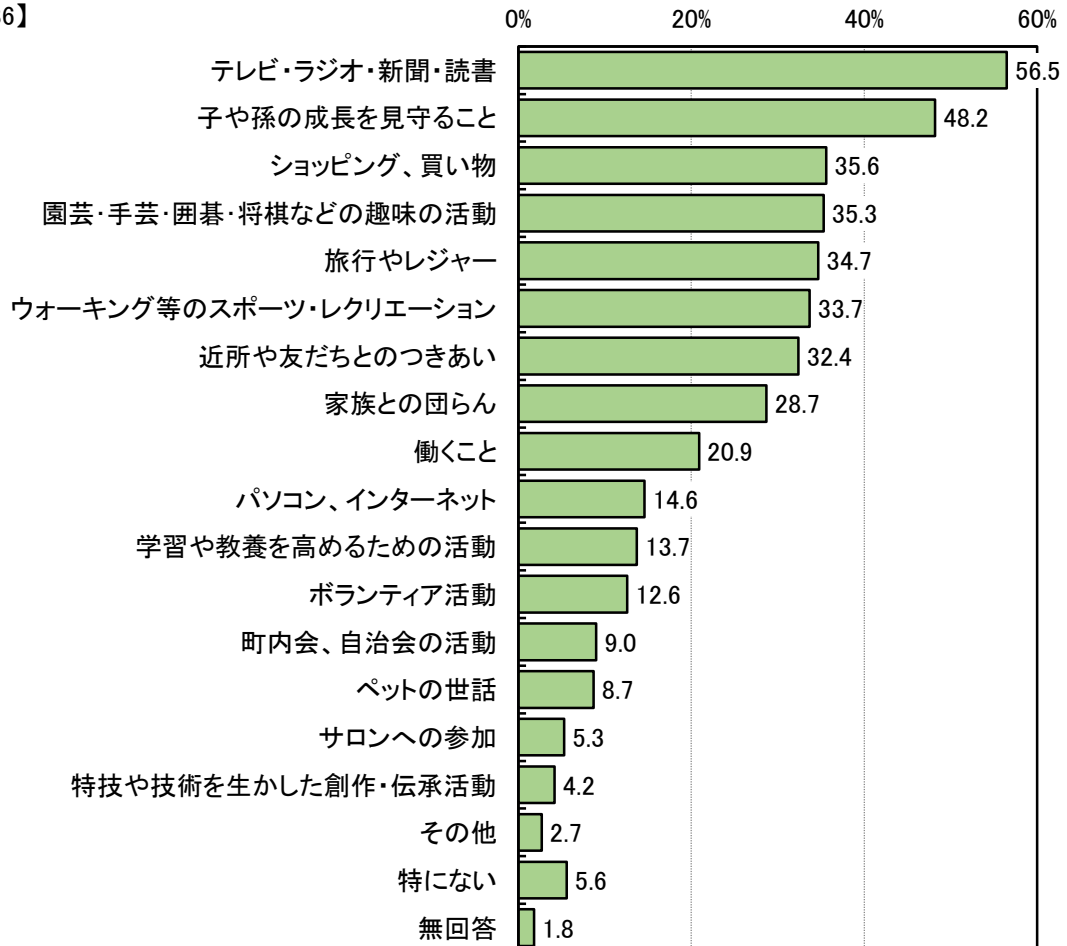
認知症に関する相談窓口の認知度を尋ねたところ、「はい」が35.0%、「いいえ」が62.7%で「いいえ」の方が多くなっている。

9 生きがいづくり・介護予防について

(1) 充実や生きがいを感じること

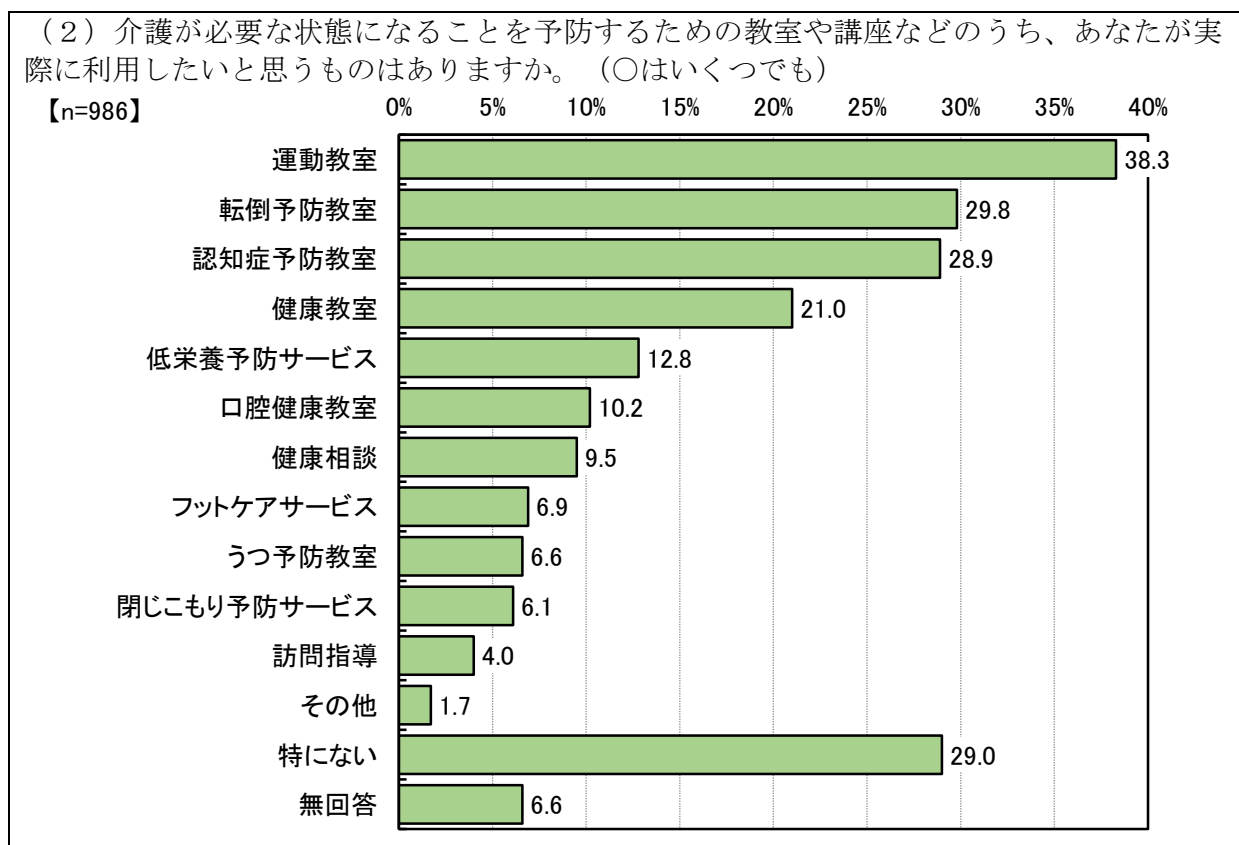
(1) あなたは、現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じますか。(〇はいくつでも)

【n=986】



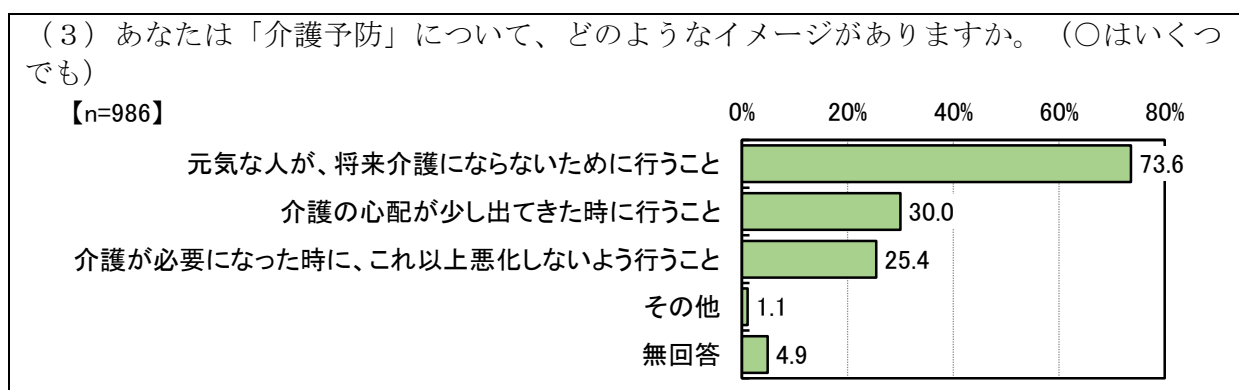
どのようなことに充実感や生きがいを感じているか尋ねたところ、「テレビ・ラジオ・新聞・読書」が56.5%で最も多く、以下、「子や孫の成長を見守ること」が48.2%、「ショッピング、買い物」が35.6%、「園芸・手芸・囲碁・将棋などの趣味の活動」が35.3%、「旅行やレジャー」が34.7%などとなっている。

(2) 介護予防教室や講座の利用希望



介護が必要な状態になることを予防するための教室や講座などのうち、実際に利用したいと思うものを尋ねたところ、「運動教室」が38.3%で最も多く、以下、「転倒予防教室」が29.8%、「認知症予防教室」が28.9%、「健康教室」が21.0%などとなっている。

(3) 予防介護に対するイメージ

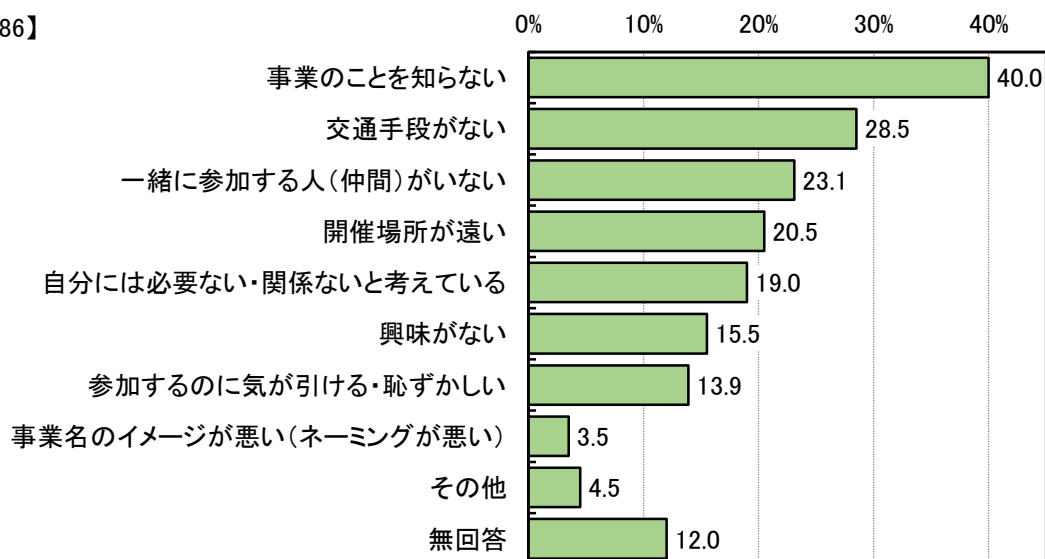


「介護予防」について、どのようなイメージがあるか尋ねたところ、「元気な人が、将来介護にならないために行うこと」が73.6%で最も多く、以下、「介護の心配が少し出てきた時に行うこと」が30.0%、「介護が必要になった時に、これ以上悪化しないよう行うこと」が25.4%となっている。

(4) 介護予防事業に参加する上で妨げになること

(4) 高齢者が介護予防事業に参加する上での妨げや障害になることは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

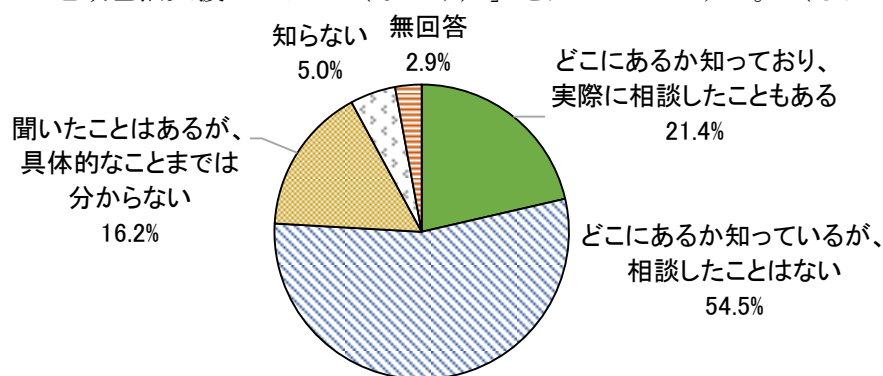
【n=986】



高齢者が介護予防事業に参加する上での妨げや障害になることは何だと思うか尋ねたところ、「事業のことを知らない」が40.0%で最も多く、以下、「交通手段がない」が28.5%、「一緒に参加する人(仲間)がいない」が23.1%、「開催場所が遠い」が20.5%、「自分には必要ない・関係ないと考えている」が19.0%などとなっている。

(5) 地域包括支援センターの認知度

(5) あなたは「地域包括支援センター(なごみ)」を知っていますか。(〇は1つ)



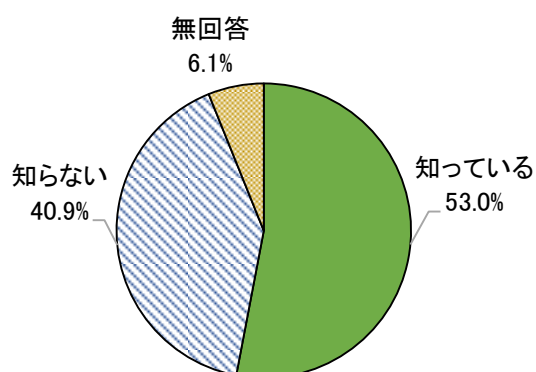
【n=986】

「地域包括支援センター(なごみ)」を知っているか尋ねたところ、「どこにあるか知っているが、相談したことはない」が54.5%で最も多く、以下、「どこにあるか知っており、実際に相談したこともある」が21.4%、「聞いたことはあるが、具体的なことまでは分からない」が16.2%となっている。

(6) 地域包括支援センターにおける業務内容の認知度

(6) 地域包括支援センター（なごみ）で、以下のような業務をしていることをご存じでしたか。（それぞれ1つに○）

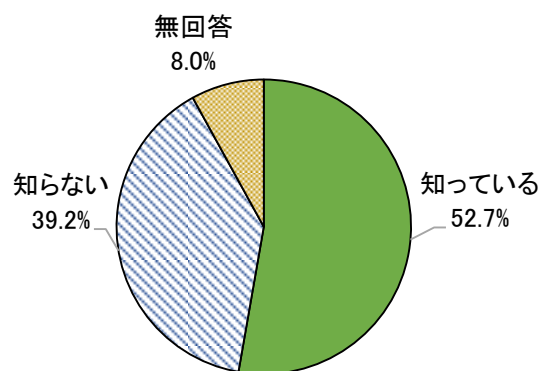
①高齢者の総合相談



【n=986】

高齢者の総合相談をしていることを知っているか尋ねたところ、53.0%が「知っている」、40.9%が「知らない」と回答している。

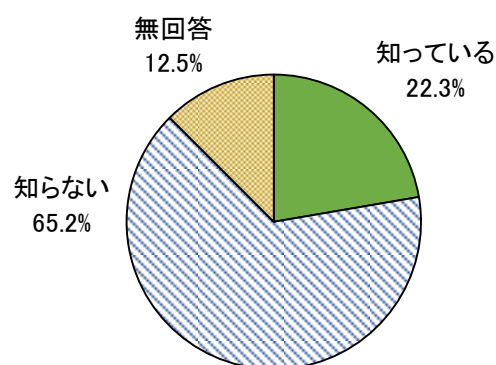
②健康づくり・介護予防



【n=986】

健康づくり・介護予防に向けた業務をしていることを知っているか尋ねたところ、52.7%が「知っている」、39.2%が「知らない」と回答している。

③高齢者虐待の対応

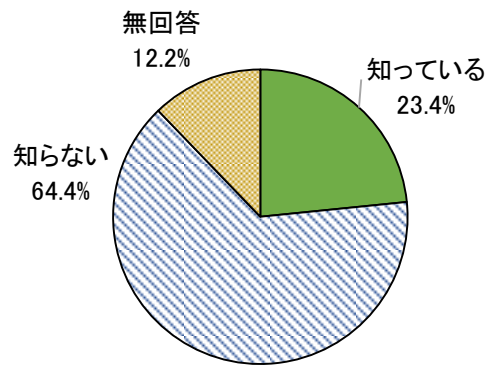


【n=986】

高齢者虐待の対応をしていることを知っているか尋ねたところ、22.3%が「知っている」、

65.2%が「知らない」と回答している。

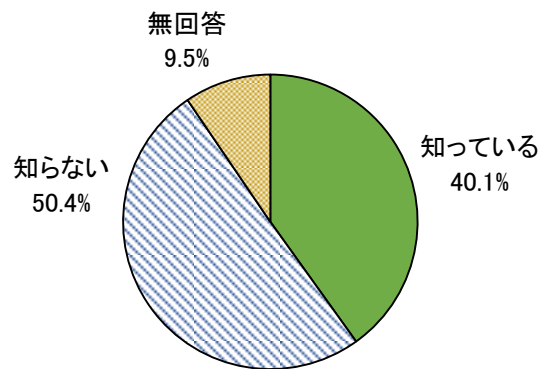
④成年後見制度の案内・相談



【n=986】

成年後見制度の案内・相談をしていることを知っているか尋ねたところ、23.4%が「知っている」、64.4%が「知らない」と回答している。

⑤認知症に関する相談



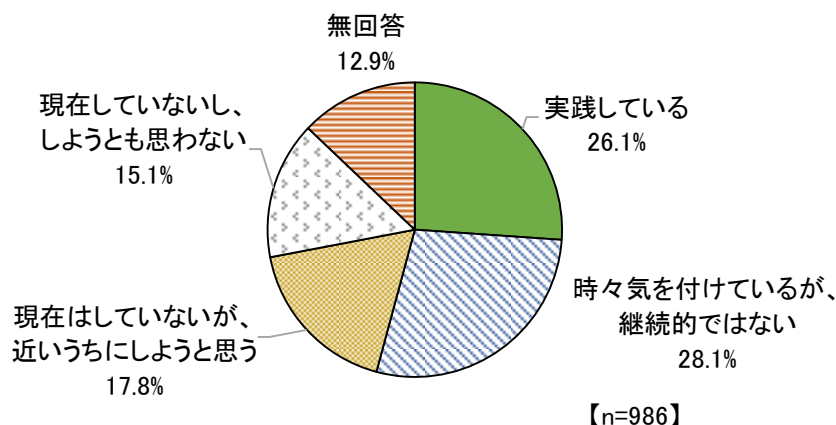
【n=986】

認知症に関する相談をしていることを知っているか尋ねたところ、40.1%が「知っている」、50.4%が「知らない」と回答している。

10 あなた自身の認知症予防について

(1) 認知症予防のための取り組み

(1) あなたは認知症予防のために、具体的な取り組みを実践していますか。(○は1つ)



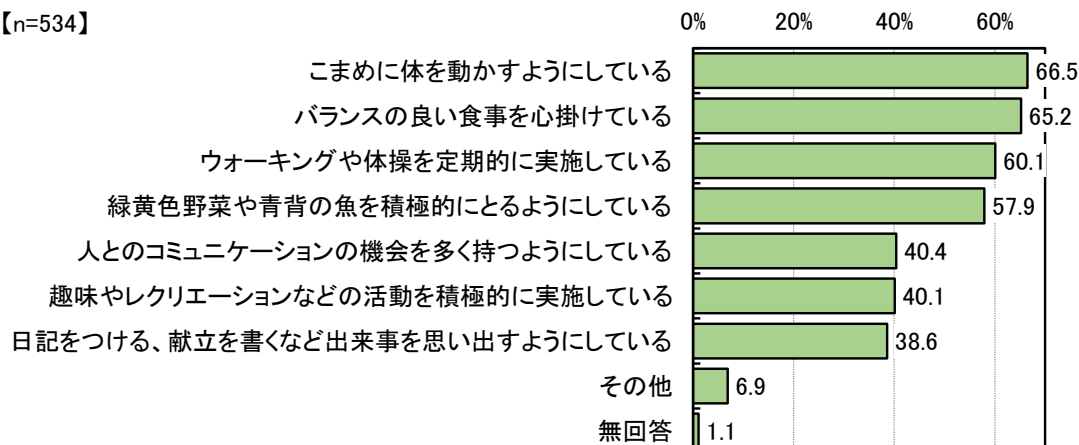
認知症予防のために、具体的な取り組みを実践しているかを尋ねたところ、「時々気を付けているが、継続的ではない」が28.1%で最も多く、以下、「実践している」が26.1%、「現在はしていないが、近いうちにしようと思う」が17.8%、「現在していないし、しようとも思わない」が15.1%となっている。

(2) 認知症予防のために実践していること

①【(1)において「1. 実践している」「2. 時々気を付けているが、継続的ではない」の方のみ】

どのようなことを実践していますか。(○はいくつでも)

【n=534】

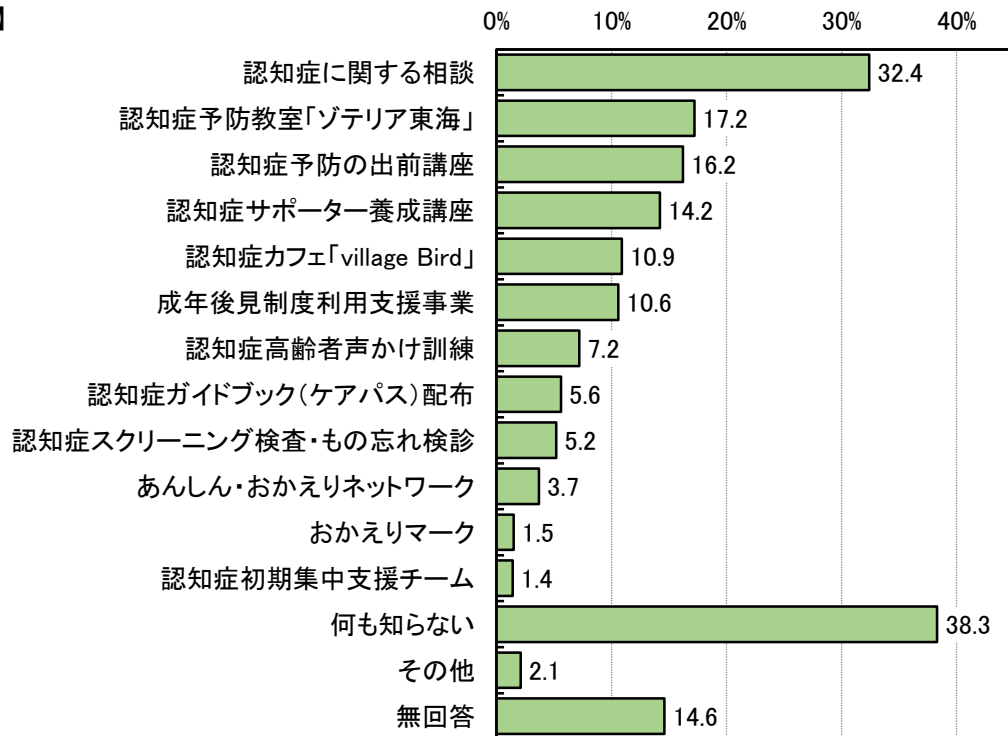


どのようなことを実践しているかを尋ねたところ、「こまめに体を動かすようにしている」が66.5%で最も多く、以下、「バランスの良い食事を心掛けている」が65.2%、「ウォーキングや体操を定期的に行っている」が60.1%、「緑黄色野菜や青背の魚を積極的にとるようにしている」が57.9%、「人とのコミュニケーションの機会を多く持つようにしている」が40.4%などとなっている。

(3) 認知症に関する取り組みについて

(2) 現在、村が行っている認知症に関する以下の取り組みをご存知ですか。(○はいくつでも)

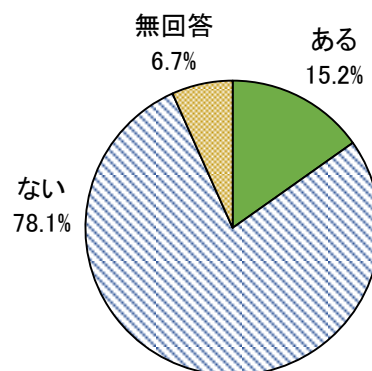
【n=986】



村が行っている認知症に関する取り組みについて知っているものを尋ねたところ、「認知症に関する相談」が32.4%以下、「認知症予防教室「ゾテリア東海」」が17.2%、「認知症予防の出前講座」が16.2%、「認知症サポーター養成講座」が14.2%などとなっている。

(4) 認知症に関する取り組みへの参加の有無

(3) あなたはこれまでに、(2)のような取り組みに参加若しくは利用したことがありますか。(○は1つ)

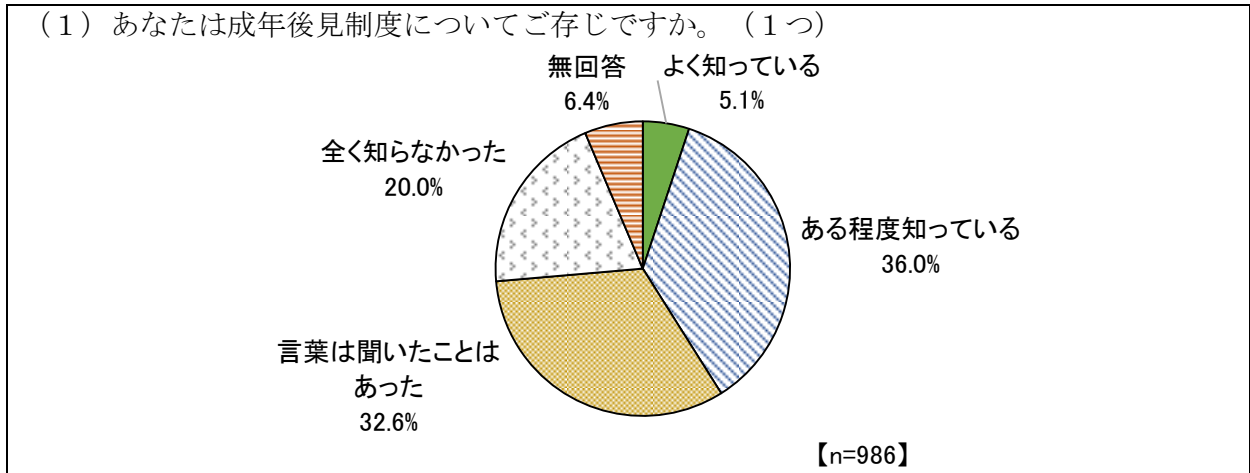


【n=986】

これまでに、(2)のような取り組みに参加若しくは利用したことがあるかを尋ねたところ、78.1%が「ない」、15.2%が「ない」と回答している。

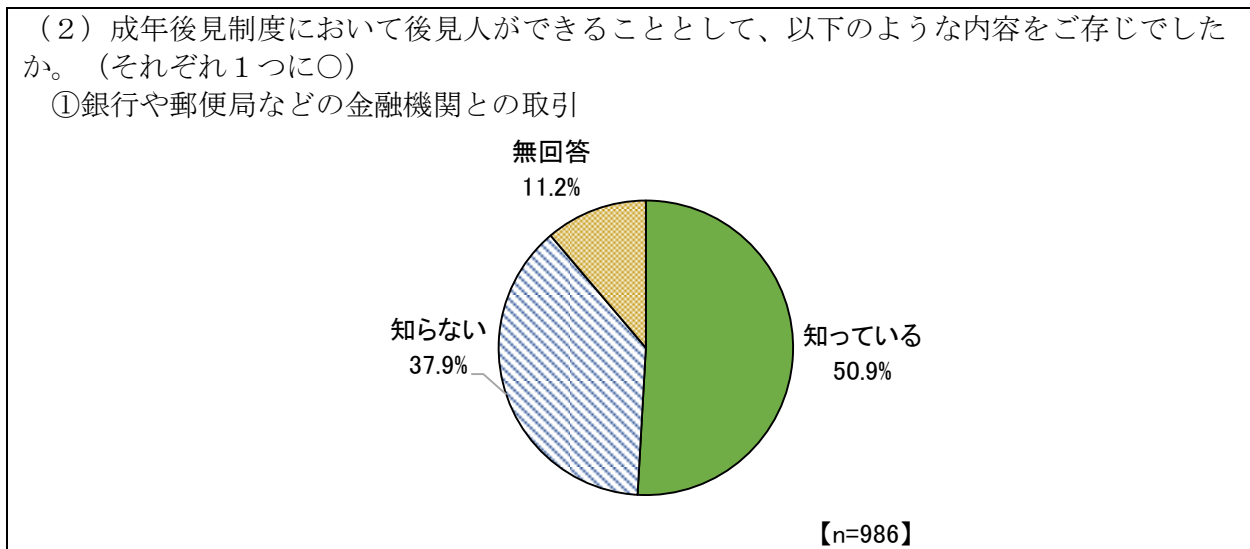
1 1 成年後見制度について

(1) 成年後見制度の認知度



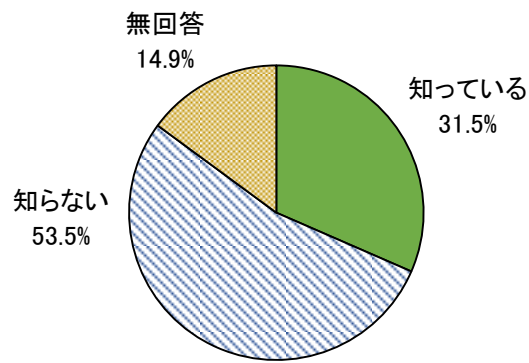
成年後見制度を知っているか尋ねたところ、「ある程度知っている」が36.0%で最も多く、以下、「言葉は聞いたことはあった」が32.6%、「全く知らなかった」が20.0%、「よく知っている」が5.1%となっている。

(2) 成年後見人ができること



銀行や郵便局などの金融機関との取引については、50.9%が「知っている」、37.9%が「知らない」と回答している。

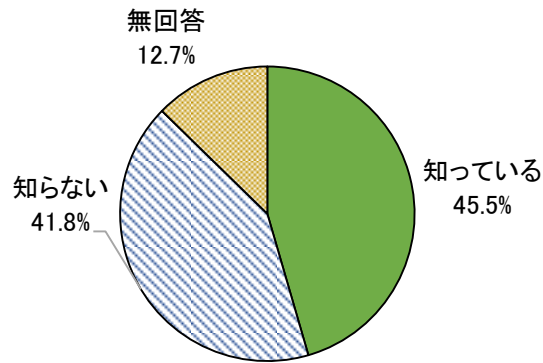
②不動産の売買、賃借、修繕契約等



【n=986】

不動産の売買、賃借、修繕契約等については、31.5%が「知っている」、53.5%が「知らない」と回答している。

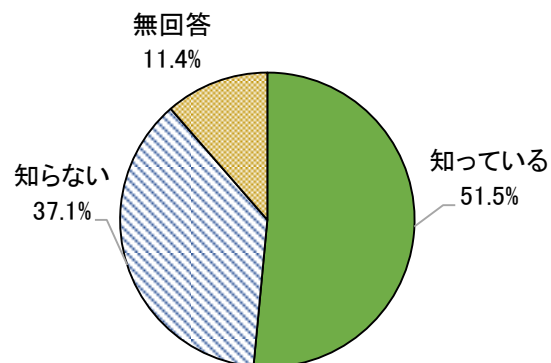
③入院や入所の手続き、費用の支払い



【n=986】

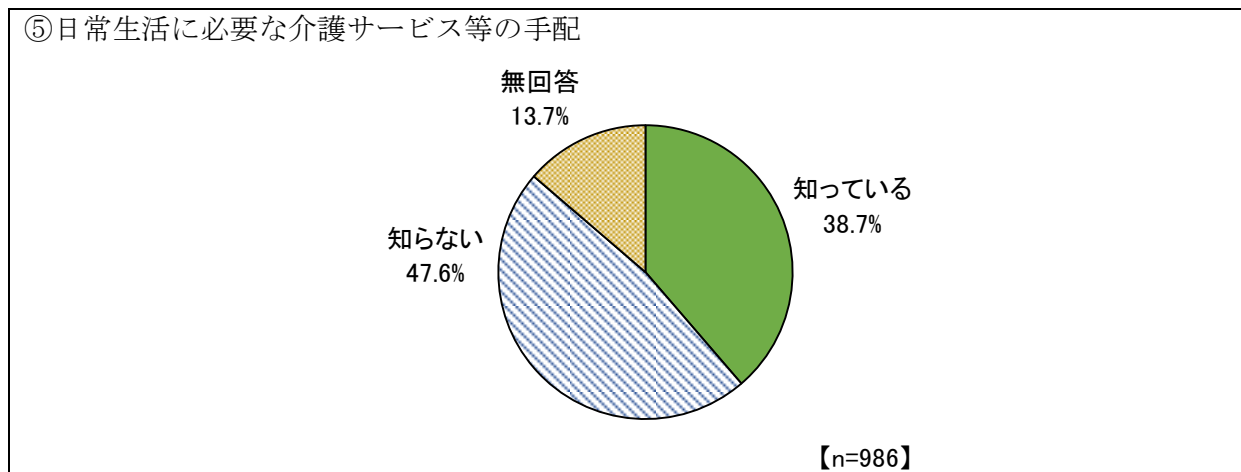
入院や入所の手続き、費用の支払いについては、45.5%が「知っている」、41.8%が「知らない」と回答している。

④通帳、印鑑、各証書の管理など



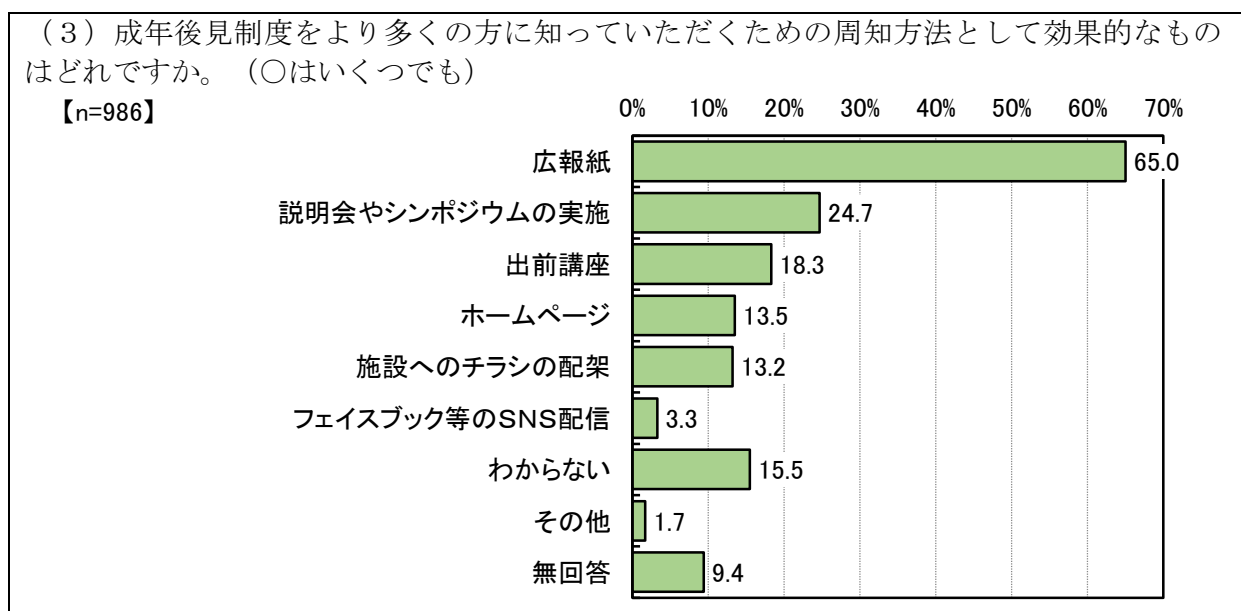
【n=986】

通帳、印鑑、各証書の管理などについては、51.5%が「知っている」、37.1%が「知らない」と回答している。



日常生活に必要な介護サービス等の手配については、38.7%が「知っている」、47.6%が「知らない」と回答している。

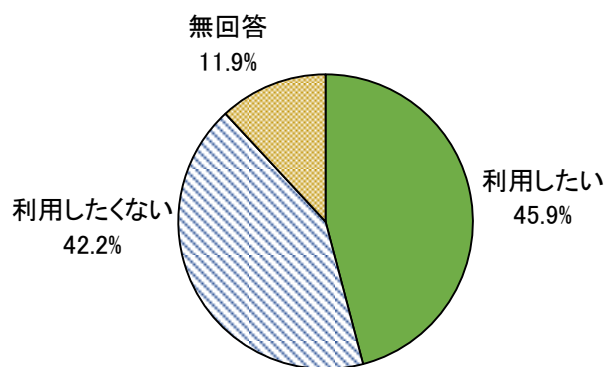
(3) 成年後見制度の効果的な周知方法



成年後見制度をより多くの方に知っていただくための周知方法として効果的なものを尋ねたところ、「広報紙」が65.0%で最も多く、以下、「説明会やシンポジウムの実施」が24.7%、「出前講座」が18.3%、「ホームページ」が13.5%、「施設へのチラシの配架」が13.2%などとなっている。

(4) 成年後見制度の利用希望

(4) あなたは認知症などによって判断能力が不十分になった時に成年後見制度を利用したいと思いますか。



【n=986】

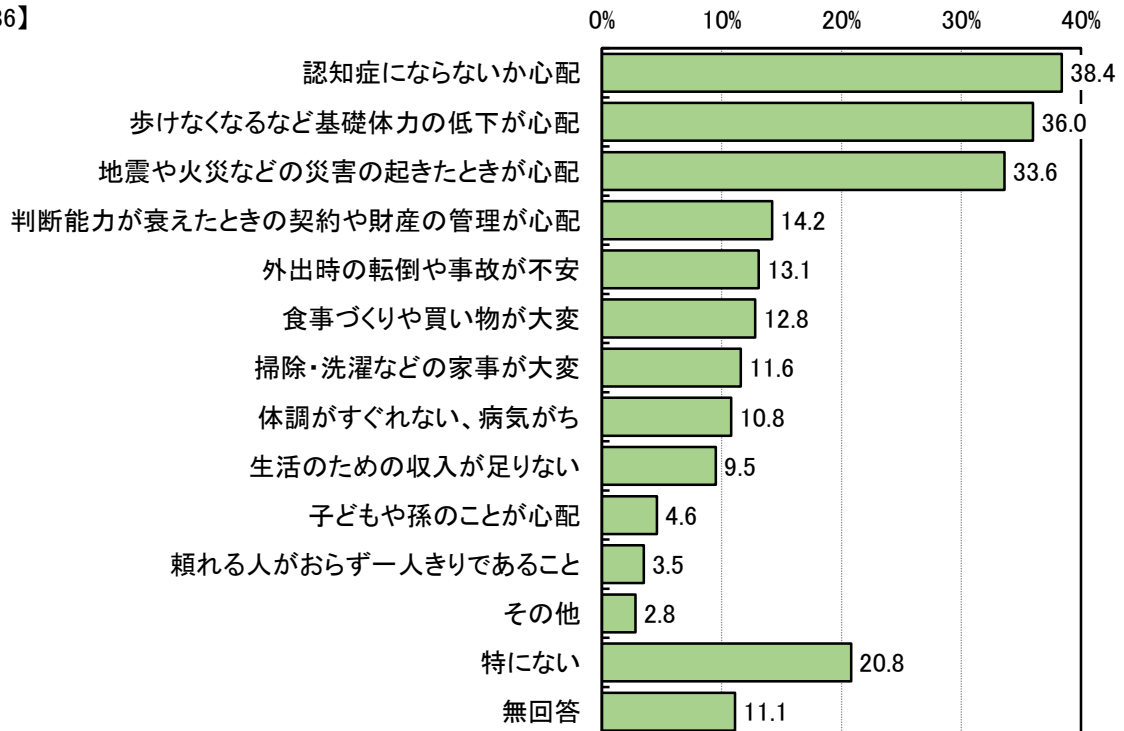
認知症などによって判断能力が不十分になった時に成年後見制度を利用したいと思うか尋ねたところ、45.9%が「利用したい」、42.2%が「利用したくない」と回答している。

12 今後の暮らしや将来の介護について

(1) 日常生活における不安や悩みごと

(1) 日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありますか。また、それはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

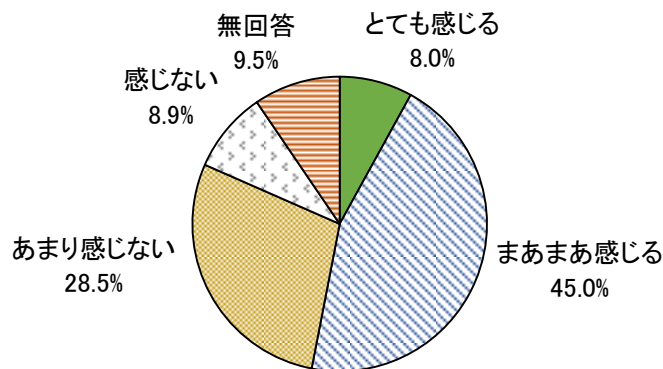
【n=986】



日常生活において、不安、悩み、心配ごとはあるか尋ねたところ、「認知症にならないか心配」が38.4%で最も多く、以下、「歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配」が36.0%、「地震や火災などの災害の起きたときが心配」が33.6%、「判断能力が衰えたときの契約や財産の管理が心配」が14.2%などとなっている。

(2) 近隣とのつながり

(2) あなたがお住まいの地域には、近隣のつながりがあると感じますか。(〇は1つ)

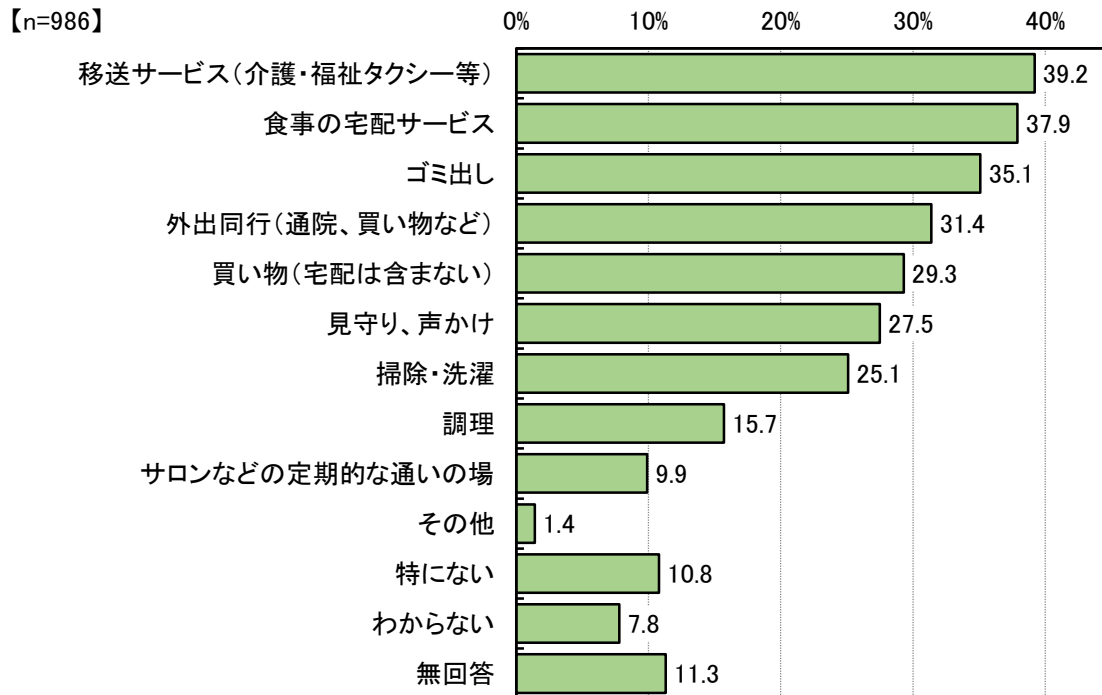


【n=986】

住んでいる地域には、近隣のつながりがあると感じるか尋ねたところ、「まあまあ感じる」が45.0%で最も多く、以下、「あまり感じない」が28.5%、「感じない」が8.9%、「とても感じる」が8.0%となっている。

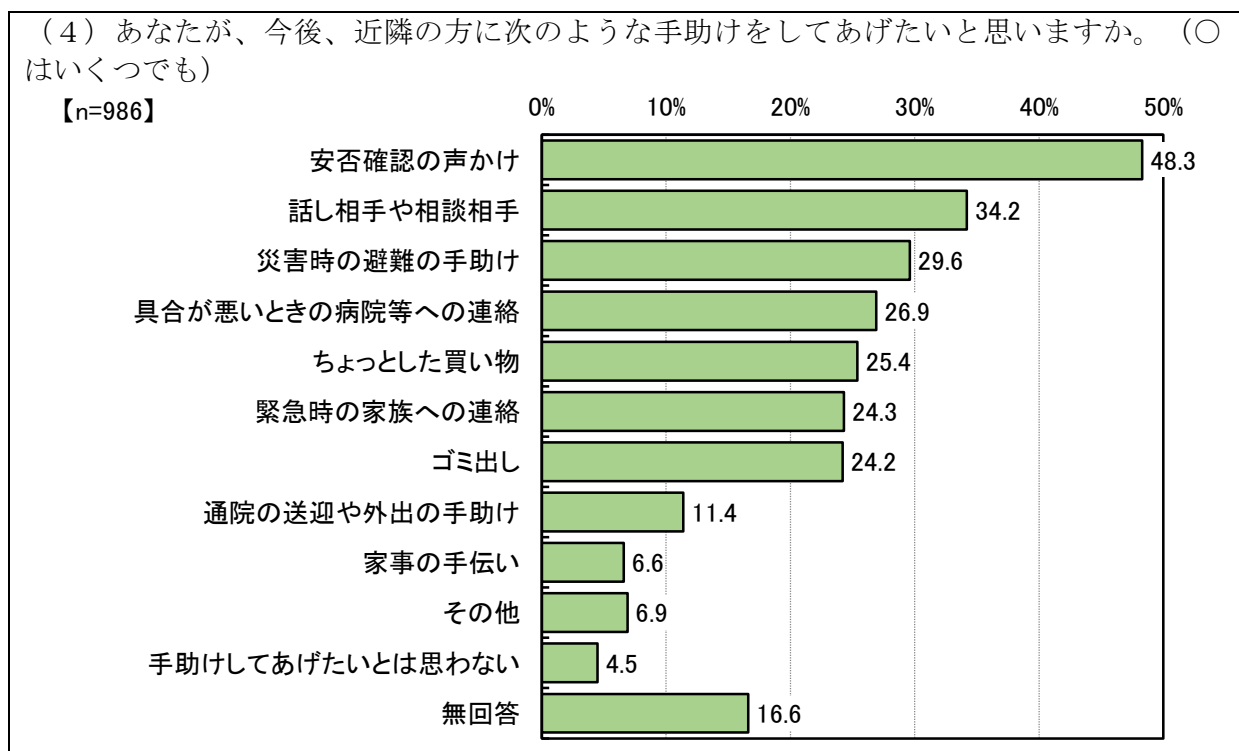
(3) 自立した生活のために必要な支援やサービス

(3) 住み慣れた地域において、在宅で自立した生活を続けていくために、必要になると思う支援やサービスは何ですか。(在宅での生活を継続していく上で、必要になると思う支援やサービスは何ですか。)(〇はいくつでも)



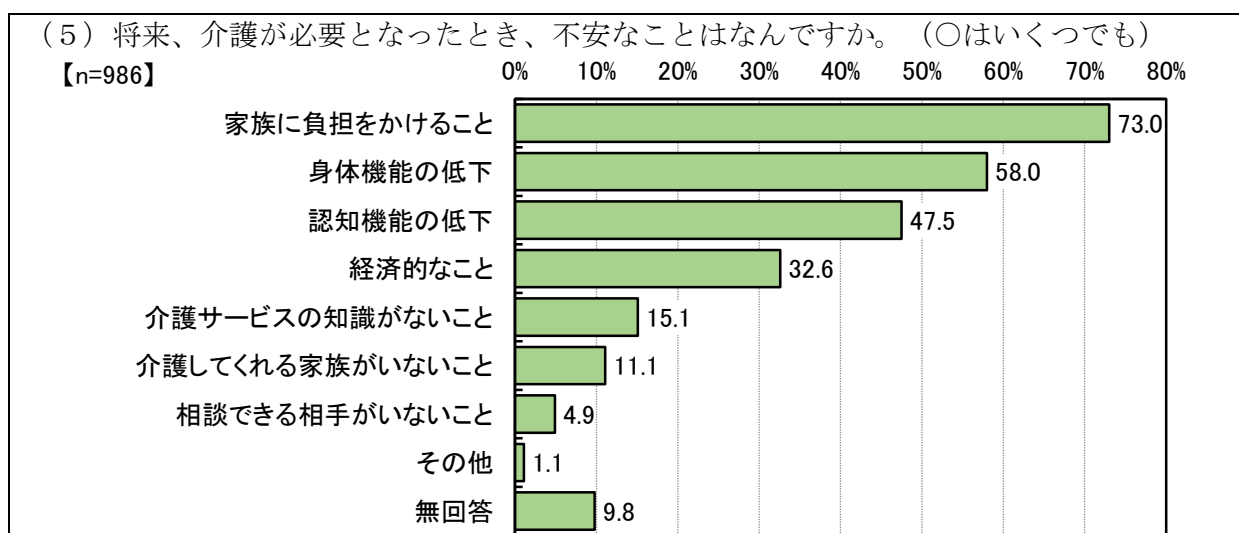
住み慣れた地域において、在宅で自立した生活を続けていくために、必要になると思う支援やサービスを探ねたところ、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が39.2%で最も多く、以下、「食事の宅配サービス」が37.9%、「ゴミ出し」が35.1%、「外出同行(通院、買い物など)」が31.4%、「買い物(宅配は含まない)」が29.3%などとなっている。

(4) 近隣の方にしてあげたい手助け



今後、近隣の方にしてあげたい手助けについて尋ねたところ、「安否確認の声かけ」が48.3%で最も多く、以下、「話し相手や相談相手」が34.2%、「災害時の避難の手助け」が29.6%、「具合が悪いときの病院等への連絡」が26.9%、「ちょっとした買い物」が25.4%などとなっている。

(5) 介護が必要になったとき不安なこと

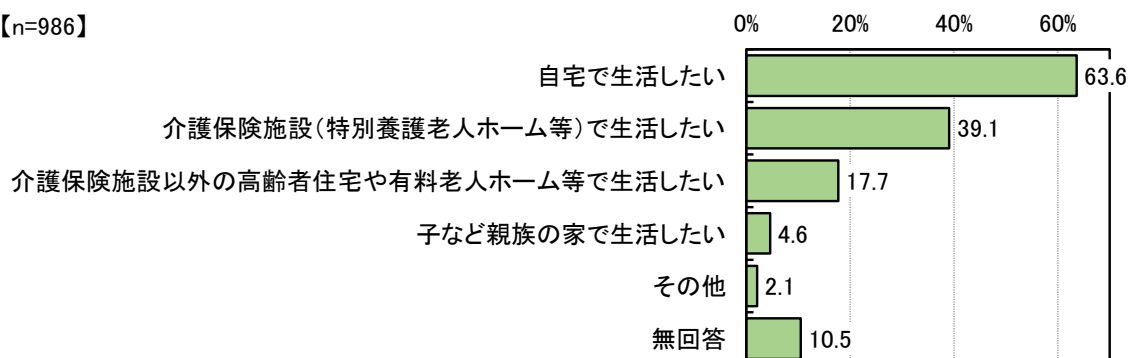


将来、介護が必要となったとき、不安なことを尋ねたところ、「家族に負担をかけること」が73.0%で最も多く、以下、「身体機能の低下」が58.0%、「認知機能の低下」が47.5%、「経済的なこと」が32.6%、「介護サービスの知識がないこと」が15.1%などとなっている。

(6) 介護が必要になったとき生活したい場所

(6) 将来、介護が必要となったとき、どこで生活したいと考えていますか。(○はいくつでも)

【n=986】

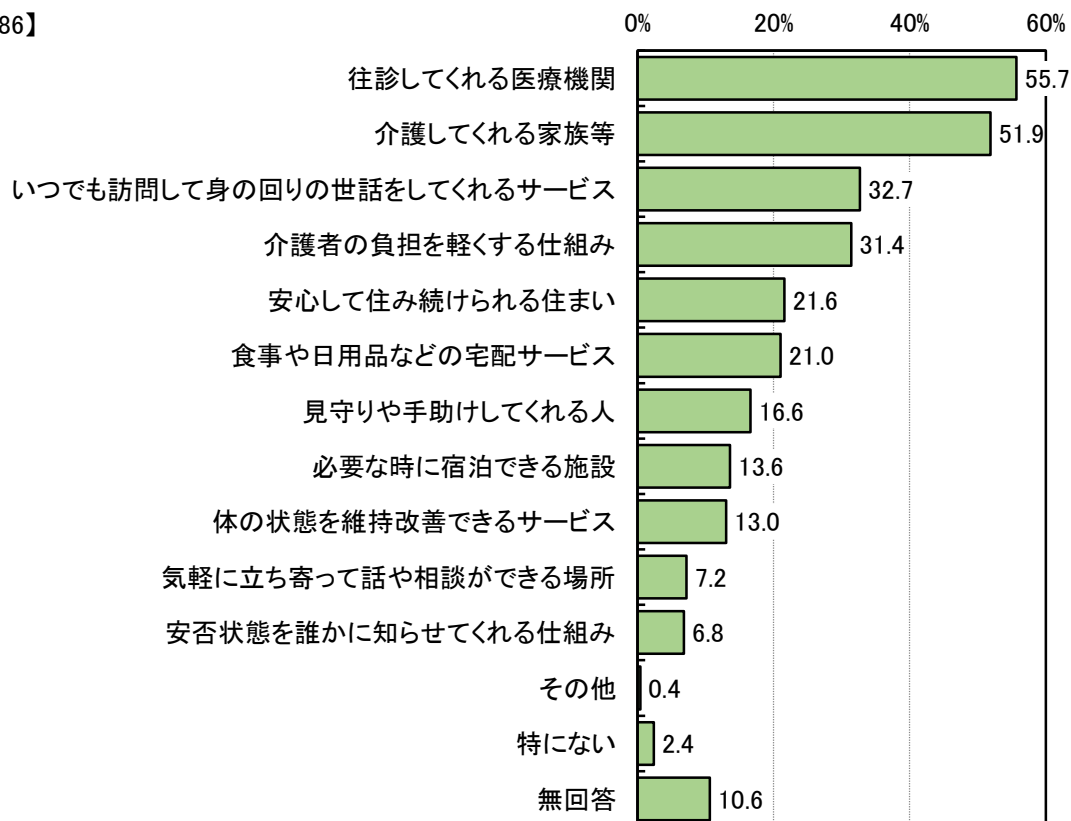


将来、介護が必要となったとき、どこで生活したいと考えているか尋ねたところ、「自宅で生活したい」が63.6%で最も多く、以下、「介護保険施設(特別養護老人ホーム等)で生活したい」が39.1%、「介護保険施設以外の高齢者住宅や有料老人ホーム等で生活したい」が17.7%、「子ども親族の家で生活したい」が4.6%となっている。

(7) 在宅で暮らし続けるために重要なこと

(7) 介護や医療が必要になっても、在宅で暮らし続けるために、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

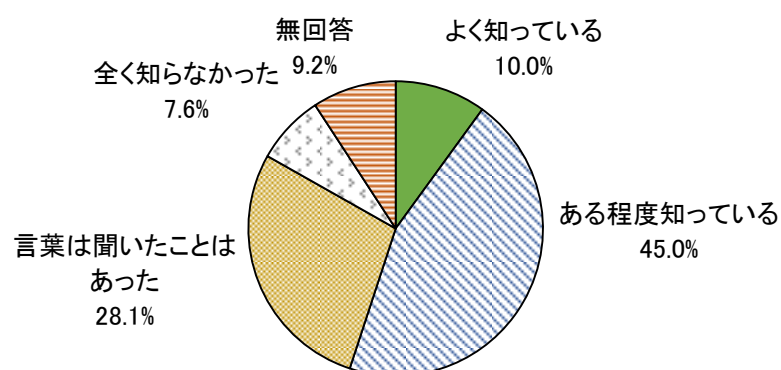
【n=986】



在宅で暮らし続けるために特に重要だと思うことを尋ねたところ、「往診してくれる医療機関」が55.7%で最も多く、以下、「介護してくれる家族等」が51.9%、「いつでも訪問して身の回りの世話をしてくれるサービス」が32.7%、「介護者の負担を軽くする仕組み」が31.4%、「安心して住み続けられる住まい」が21.6%などとなっている。

（８）在宅医療の認知度

（８）あなたは在宅医療についてご存じですか。（１つ）

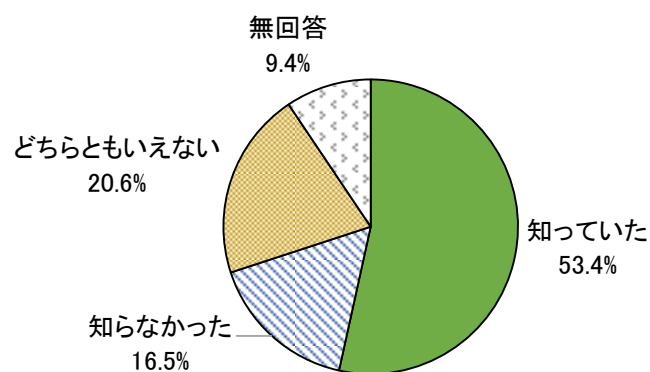


【n=986】

在宅医療を知っているか尋ねたところ、「ある程度知っている」が45.0%で最も多く、以下、「言葉は聞いたことはあった」が28.1%、「よく知っている」が10.0%、「全く知らなかった」が7.6%となっている。

（９）医師、看護師等との連携について

（９）あなたは、在宅で医療と介護を受けながら生活し続けるためには、医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャー、ヘルパーなどの多職種の連携が重要であることを知っていましたか。（〇は１つ）

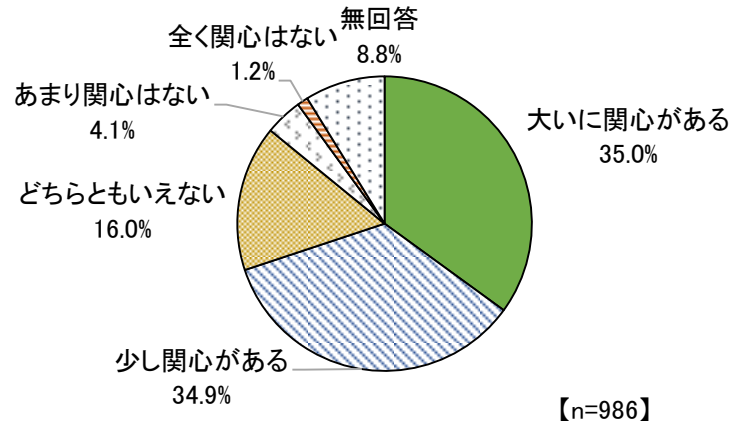


【n=986】

在宅で医療と介護を受けながら生活し続けるためには、医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャー、ヘルパーなどの多職種の連携が重要であることを知っているか尋ねたところ、「知っていた」が53.4%で最も多く、以下、「どちらともいえない」が20.6%、「知らなかった」が16.5%となっている。

(10) 在宅医療、終活、看取りに対する関心

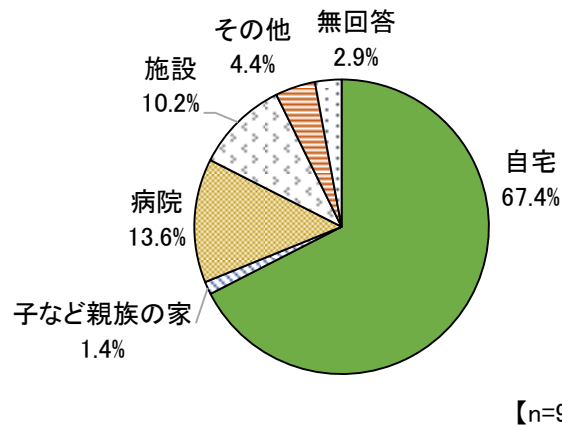
(10) あなたは、在宅での医療、終活（人生の最期を迎えるにあたっての様々な準備）、自宅での看取りのことなどに関心がありますか。（○は1つ）



在宅での医療、終活（人生の最期を迎えるにあたっての様々な準備）、自宅での看取りのことなどに関心があるか尋ねたところ、「大いに関心がある」が35.0%で最も多く、以下、「少し関心がある」が34.9%、「どちらともいえない」が16.0%、「あまり関心はない」が4.1%、「全く関心はない」が1.2%などとなっている。

(11) 人生の最期を過ごしたい場所

(11) あなたは、人生の最期をどこで過ごしたいと思いますか。（○は1つ）

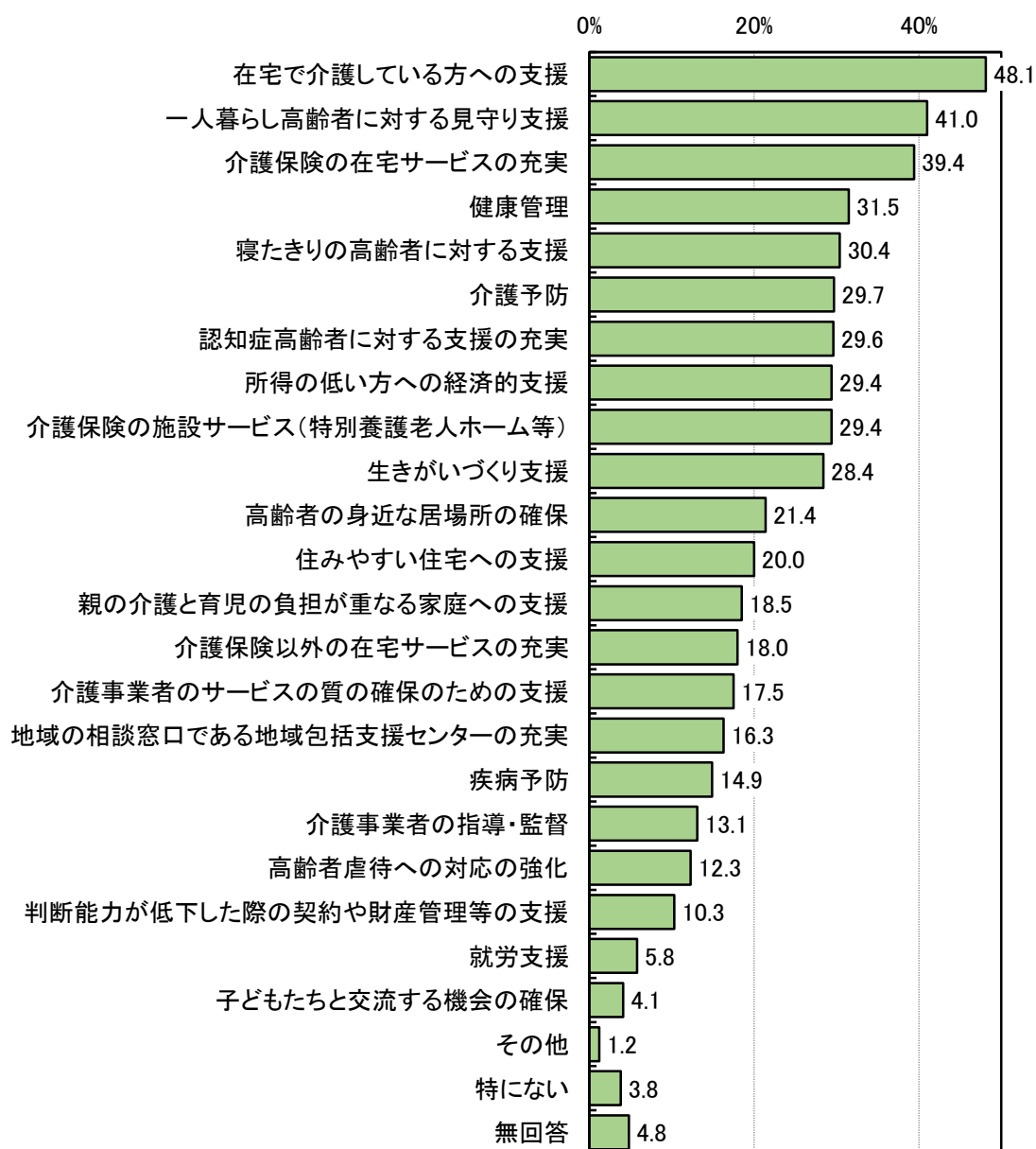


人生の最期をどこで過ごしたいか尋ねたところ、「自宅」が67.4%で最も多く、以下、「病院」が13.6%、「施設」が10.2%、「子など親族の家」が1.4%となっている。

(12) 力をいれてほしい保健福祉施策

(12) これからの高齢者の保健福祉施策として、村に力を入れてほしいと思うものはどれですか。（〇はいくつでも）

【n=986】



高齢者の保健福祉施策として、村に力を入れてほしいと思うものを尋ねたところ、「在宅で介護している方への支援」が48.1%で最も多く、以下、「一人暮らし高齢者に対する見守り支援」が41.0%、「介護保険の在宅サービスの充実」が39.4%、「健康管理」が31.5%、「寝たきりの高齢者に対する支援」が30.4%などとなっている。

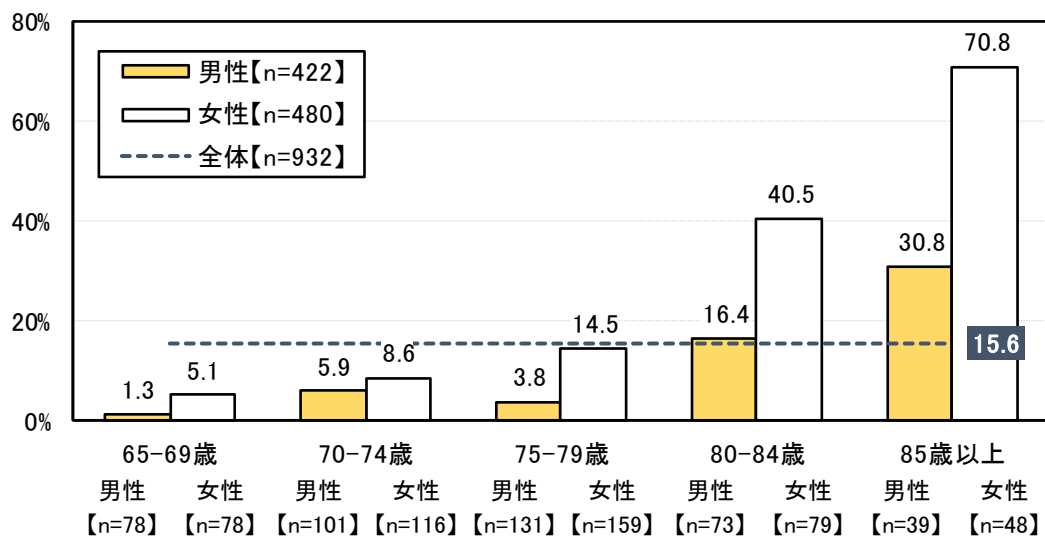
1 3 リスク分析

(1) 運動器機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で3問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	13 頁
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	13 頁
15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	14 頁
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	14 頁
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	15 頁



無回答による判定不能は全体で108サンプルあり、分析対象外としている
性別・年齢については無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない

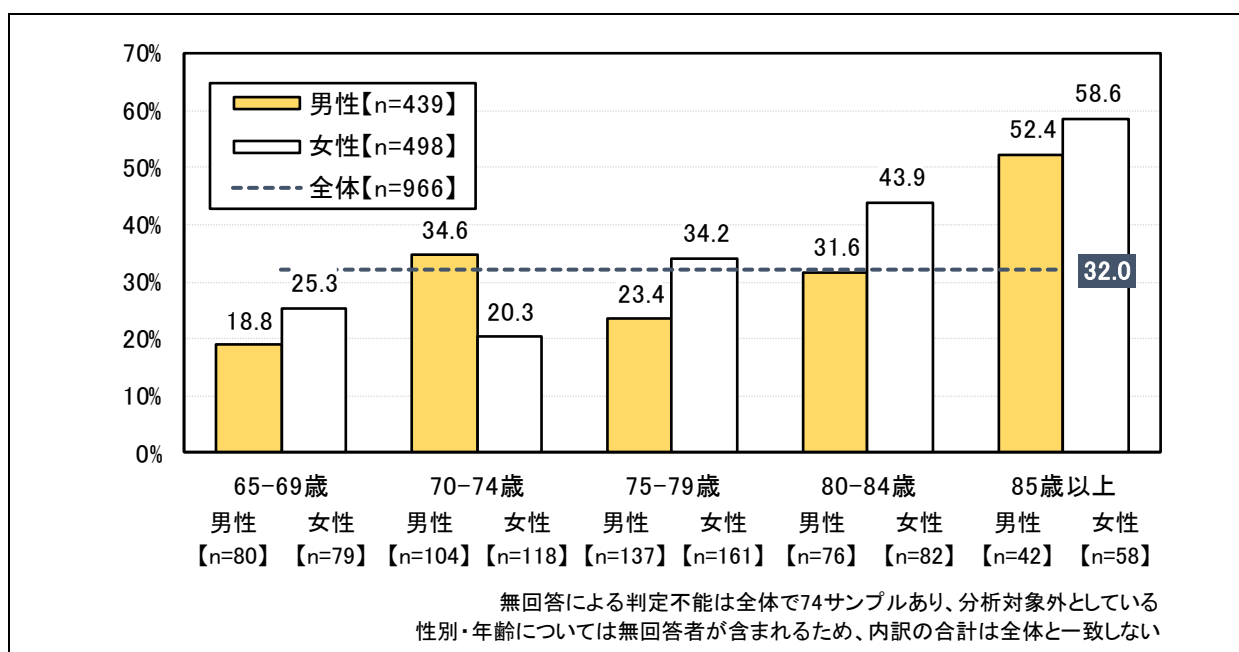
運動器機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては男性では30.8%、女性では70.8%が有リスクとなっている。

(2) 転倒リスク

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	14 頁



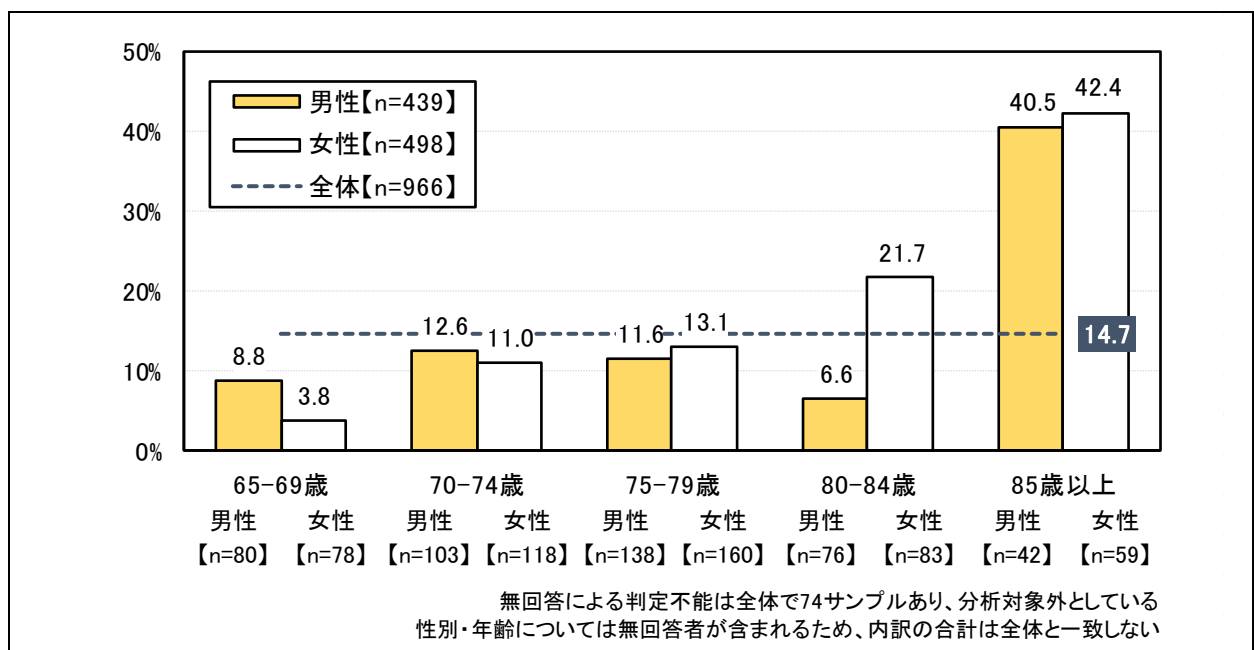
転倒リスクについて、男女ともに後期高齢者が多く該当する傾向がみられる。なかでも「85歳以上」においては、男性では52.4%、女性では58.6%が有リスクとなっている。

(3) 閉じこもり傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	15 頁



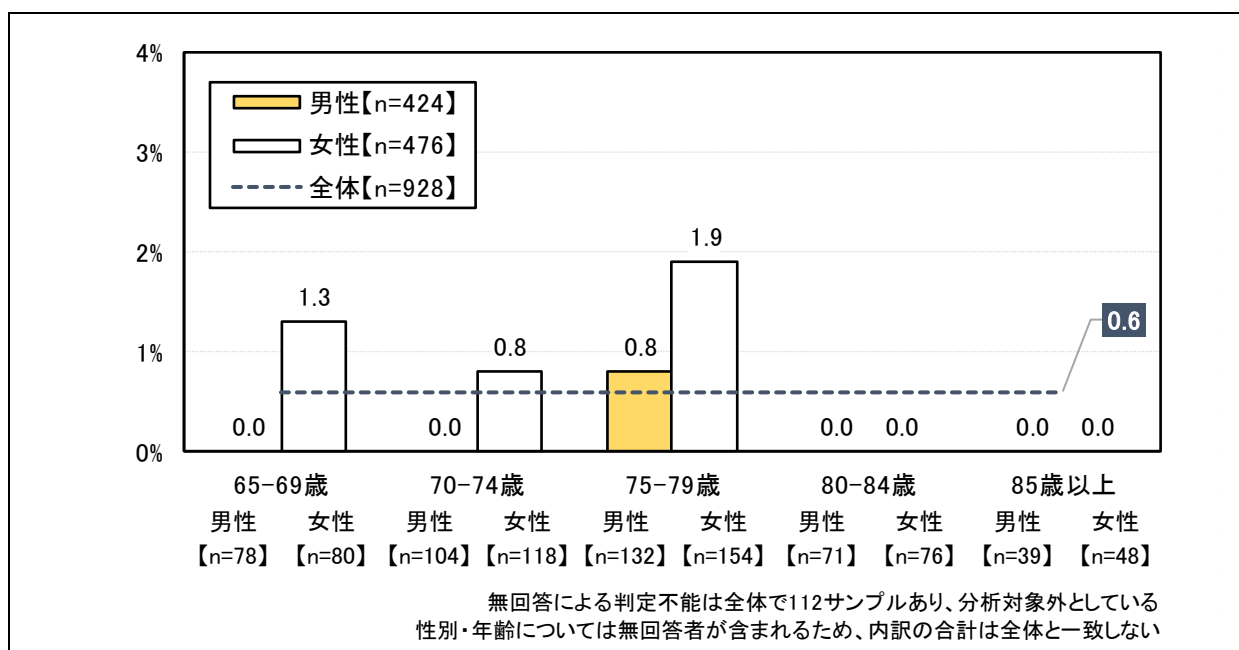
閉じこもり傾向のリスクは、「85歳以上」において、男性では40.5%、女性では42.4%とほかの年代と比較しても有リスク者が高い傾向がみられる。

(4) 低栄養傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で、BMIが18.5以下となり、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
身長・体重	身長・体重から算出される BMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が 18.5 以下の場合、低栄養が疑われる	18 頁
6ヶ月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ	22 頁



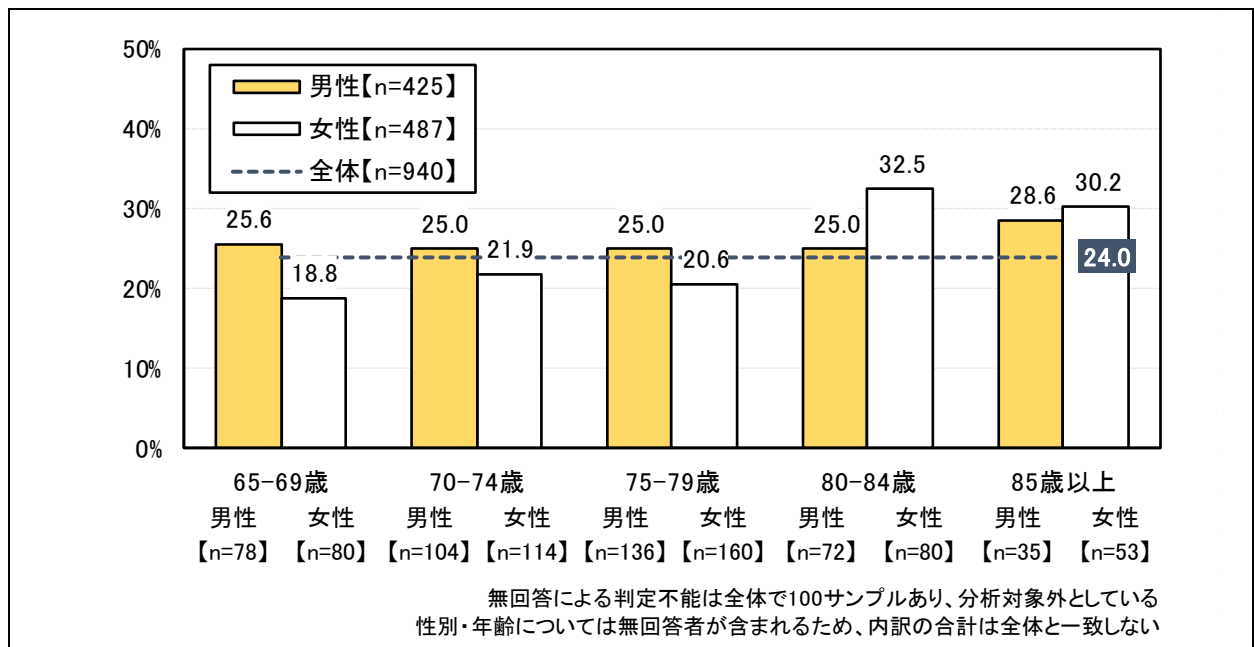
低栄養傾向のリスクについて、全体の該当割合が0.6%と他のリスクに比べて高い数値ではないほか、性別・年齢別に該当割合をみても性別及び年齢による目立った傾向はみられない。その中で、「75-79歳」女性の数値が1.9%で最も高くなっている。

(5) 口腔機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で2問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ	19 頁
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	19 頁
口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	19 頁



口腔機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がっても有リスク者に大きな差はみられない。

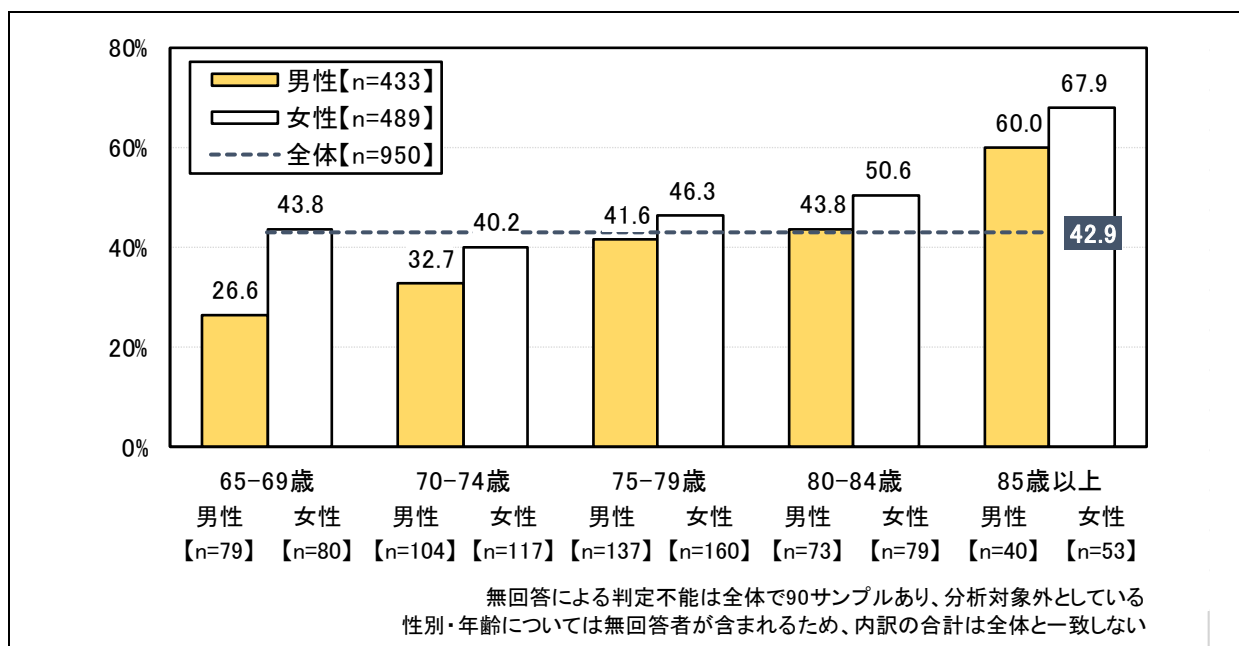
有リスク者の割合が高いのは、男性では「85歳以上」の28.6%、女性では「80-84歳」の32.5%であった。

(6) 認知機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	23 頁



認知機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、男女ともに後期高齢者が該当する傾向が顕著である。

そのなかにおいて、「80-84歳」では男女ともに4割以上、「85歳以上」では男女ともに6割以上が有リスク者に該当するなど比較的高い数値を示している。

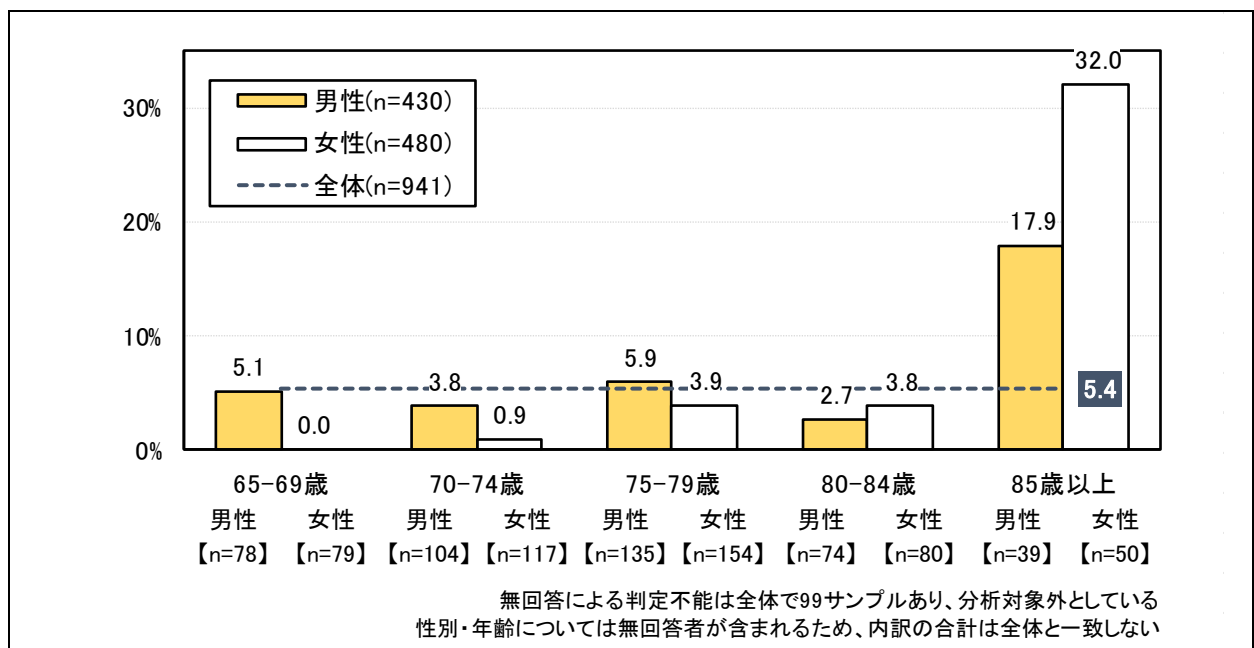
(7) I A D L（手段的自立度）の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、5点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

I A D Lは、外出や買物など、自立した日常生活を送るために必要な能力の判断基準となります。

設問内容	選択肢	参照
バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	25 頁
自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	25 頁
自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	25 頁
自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	26 頁
自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	26 頁



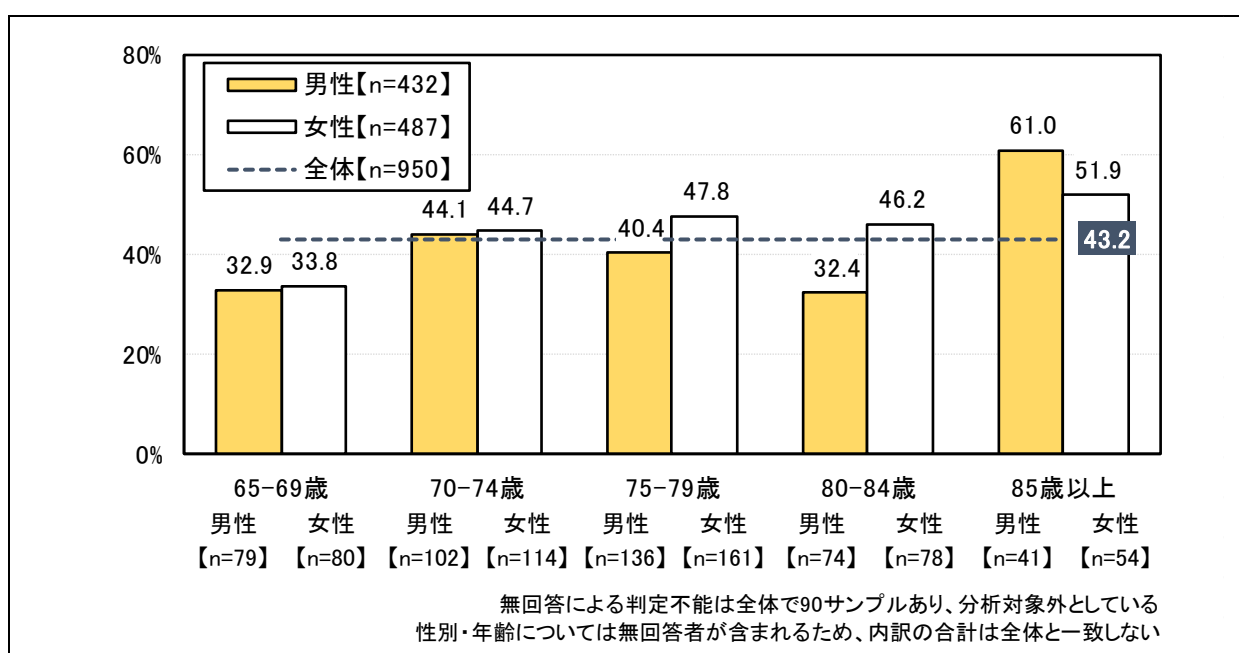
I A D L（手段的自立度）の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに後期高齢者が比較的多く該当する傾向がみられる。男女いずれも「85歳以上」の該当割合が最も高く、特に女性については32.0%と突出して高い数値を示している。

(8) うつ傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で1問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ	39 頁
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ	39 頁



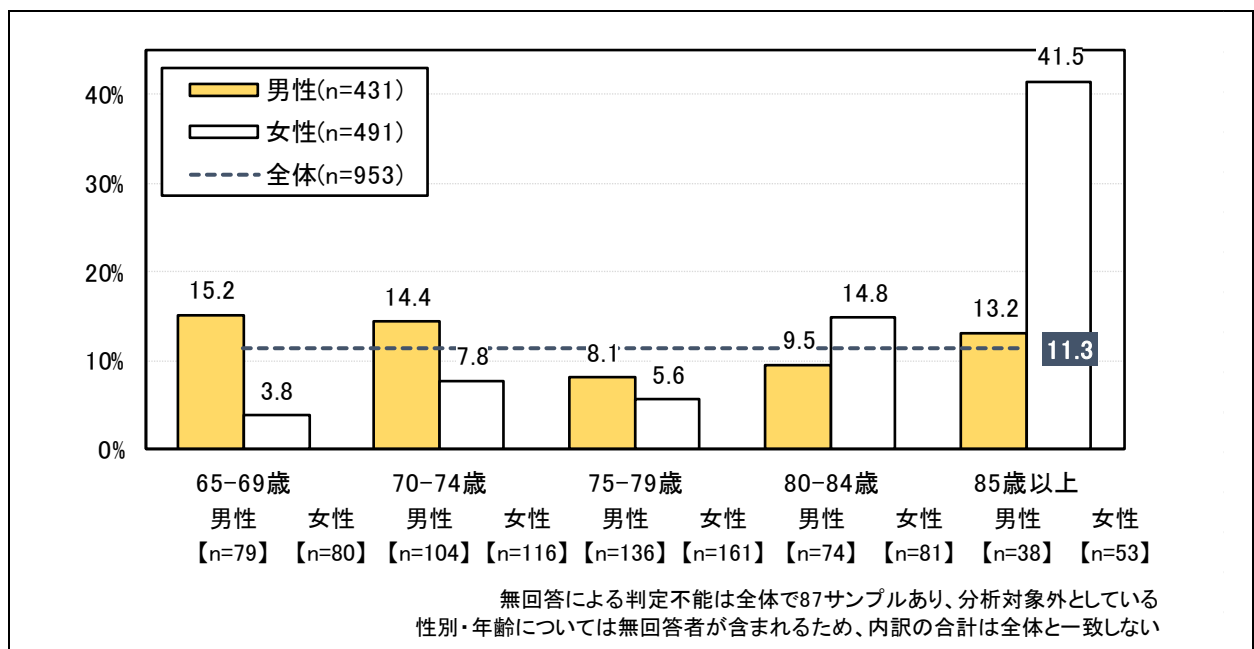
うつ傾向のリスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、「85歳以上」において、男性が61.0%、女性が51.9%と有リスク者の該当比率が高くなっている。

(9) 知的能動性の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、2点以下を「低下」として評価します。
知的能動性は、探索、創作、余暇活動などの知的な活動をすることです。

設問内容	選択肢	参照
年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	26 頁
新聞を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	27 頁
本や雑誌を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	27 頁
健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	27 頁



知的能動性の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、「85歳以上」の女性が多く該当する傾向がみられ、「80-84歳」においても14.8%が有リスクとなっている。

また、男性については「65-69歳」が15.2%で最も高くなっている。

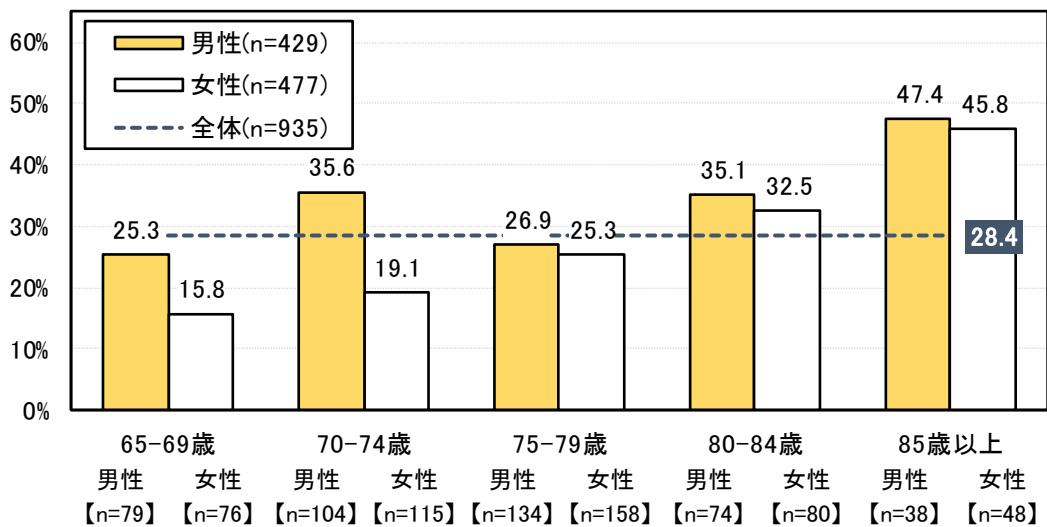
(10) 社会的役割の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、2点以下を「低下」として評価します。

社会的役割は、仲間と会食の機会を持ったり、地域の活動に参加したりするなど、地域で社会的な役割を果たすことです。

設問内容	選択肢	参照
友人の家を訪ねていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	28 頁
家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	28 頁
病人を見舞うことができますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	28 頁
若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	29 頁



無回答による判定不能は全体で105サンプルあり、分析対象外としている
性別・年齢については無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない

社会的役割の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては、男性では47.4%、女性では45.8%が有リスクとなっている。

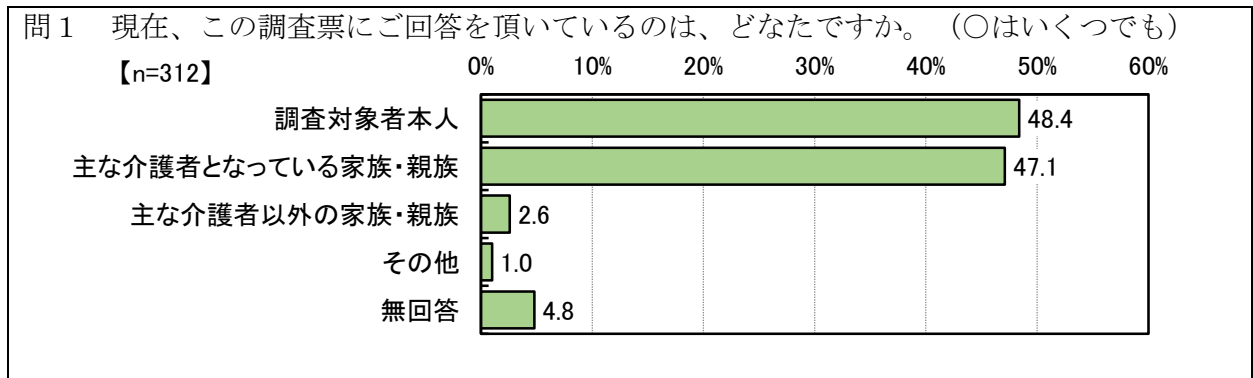
その一方で、男性では前期高齢者の該当割合も女性に比べて高いことが特徴的である。

Ⅲ 調査結果②

【在宅介護実態調査】

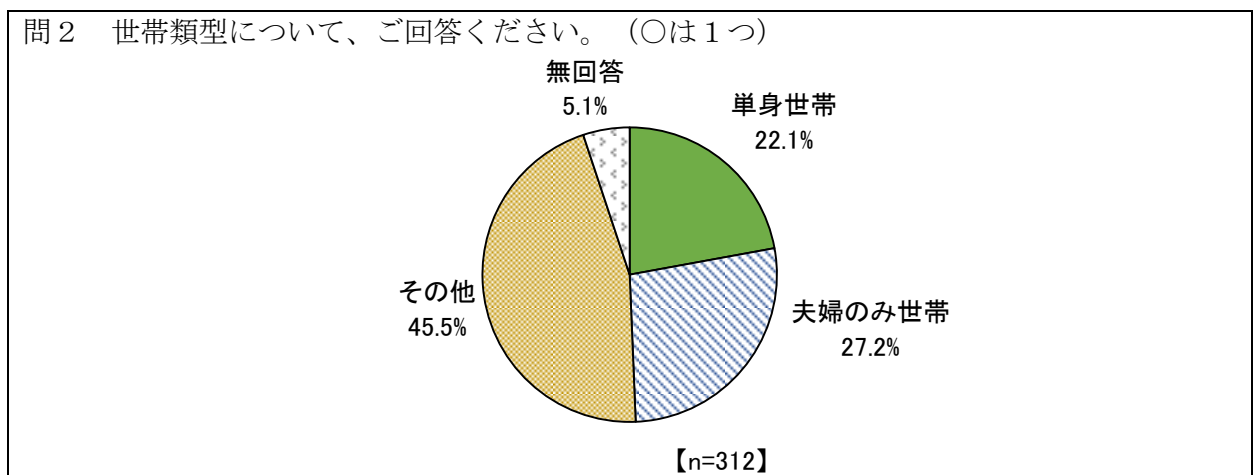
A票 調査対象者ご本人について

(1) 調査票の回答者



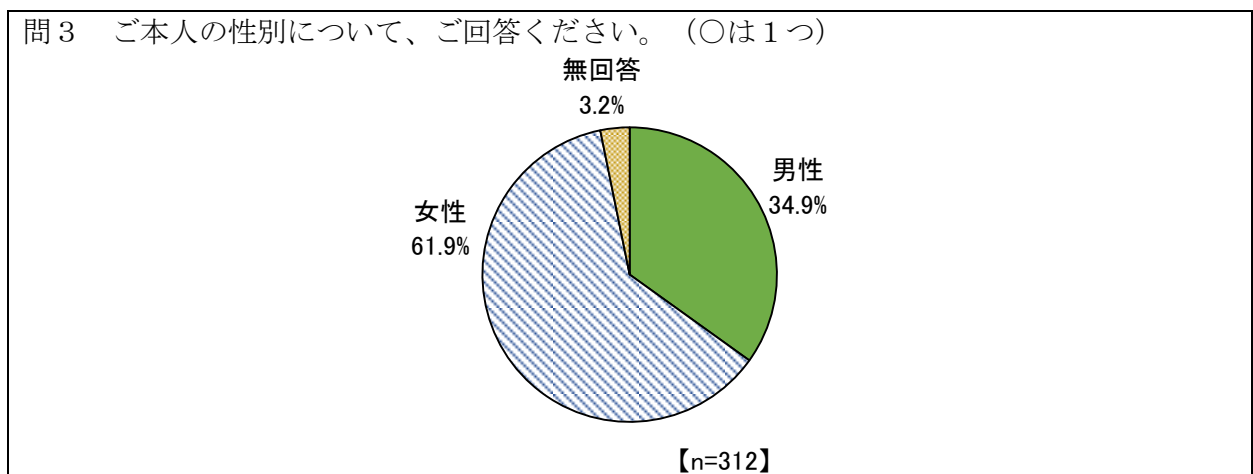
調査票の回答者は「調査対象者本人」が48.4%、「主な介護者となっている家族・親族」が47.1%、「主な介護者以外の家族・親族」が2.6%となっている。

(2) 世帯類型



世帯類型については、「夫婦のみ世帯」が27.2%、「単身世帯」が22.1%となっている。

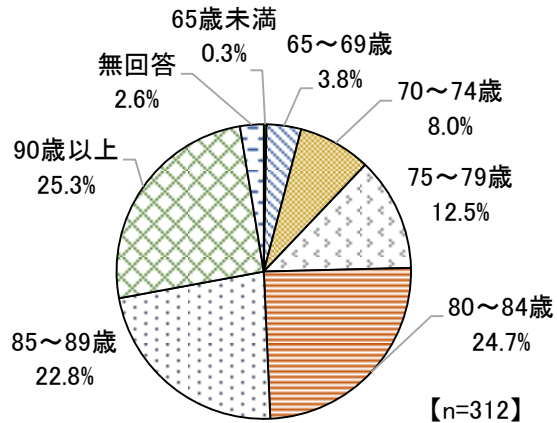
(3) 性別



性別は、「男性」が34.9%、「女性」が61.9%となっている。

(4) 年齢

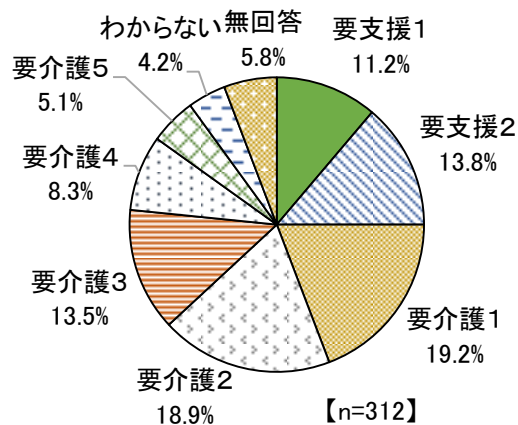
問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)



年齢は、「90歳以上」が25.3%で最も多く、以下、「80～84歳」が24.7%、「85～89歳」が22.8%、「75～79歳」が12.5%、「70～74歳」が8.0%などとなっている。

(5) 要介護認定状況

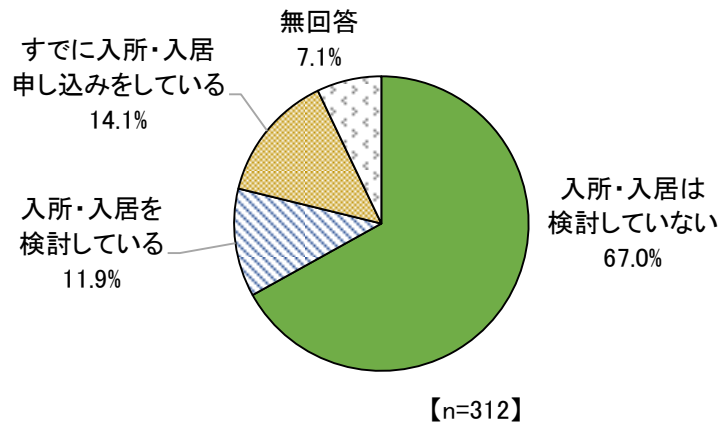
問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(○は1つ)



要介護認定の状況については、「要介護1」が19.2%で最も多く、以下、「要介護2」が18.9%、「要支援2」が13.8%、「要介護3」が13.5%、「要支援1」が11.2%などとなっている。

(6) 施設への入所・入居検討状況

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

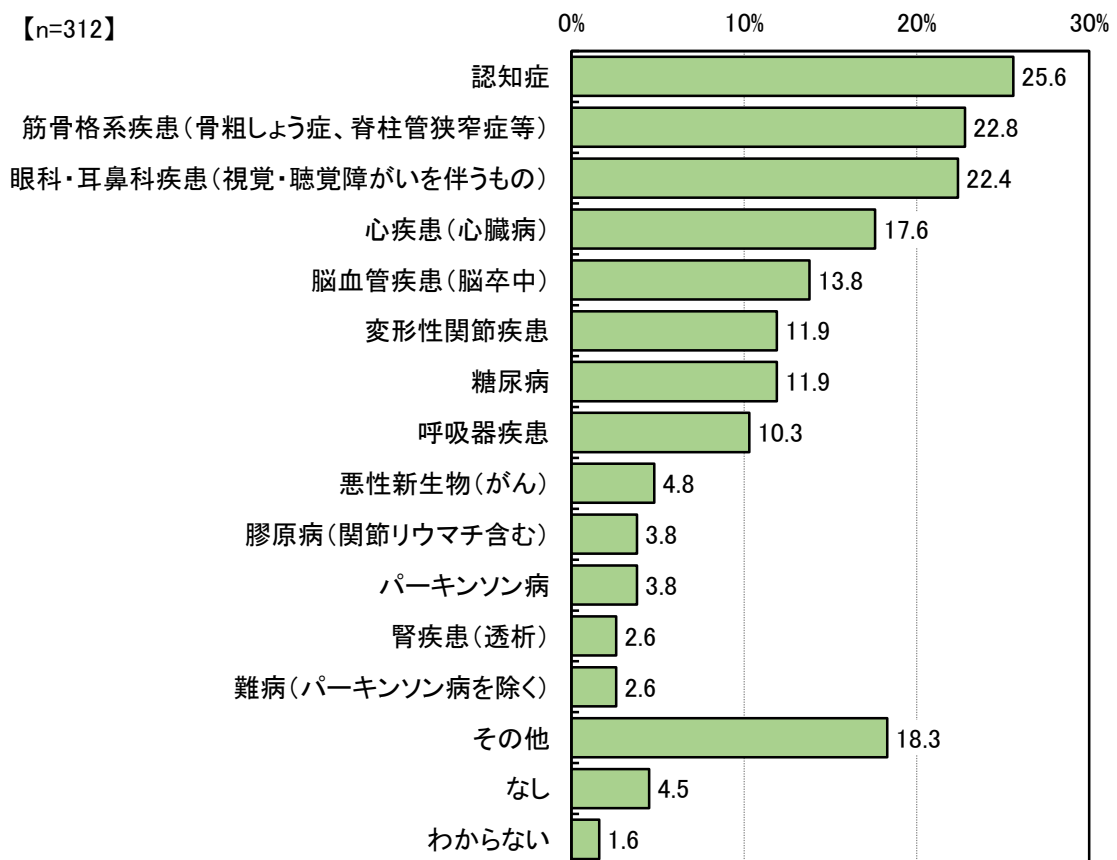


現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が67.0%で最も多く、以下、「すでに入所・入居申し込みをしている」が14.1%、「入所・入居を検討している」が11.9%となっている。

(7) 現在抱えている傷病

問7 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(○はいくつでも)

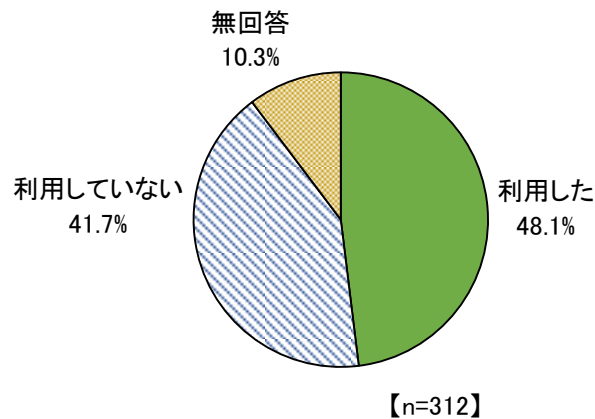
【n=312】



現在抱えている傷病については、「認知症」が25.6%で最も多く、以下、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が22.8%、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障がいを伴うもの)」が22.4%、「心疾患(心臓病)」が17.6%などとなっている。

（８）介護保険サービスの利用の有無

問 8 令和元年１月の１か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（○は１つ）



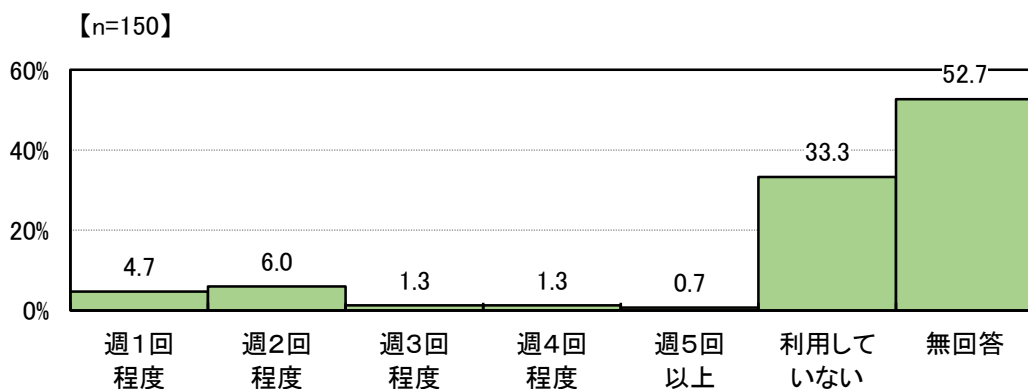
住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスについては、「利用した」が48.1%、「利用していない」が41.7%となっている。

（９）介護保険サービスの利用状況

問 9 問 8 で「１．利用した」と回答した方にお伺いします。

以下の介護保険サービスについて、令和元年１月の１か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ１つに○）

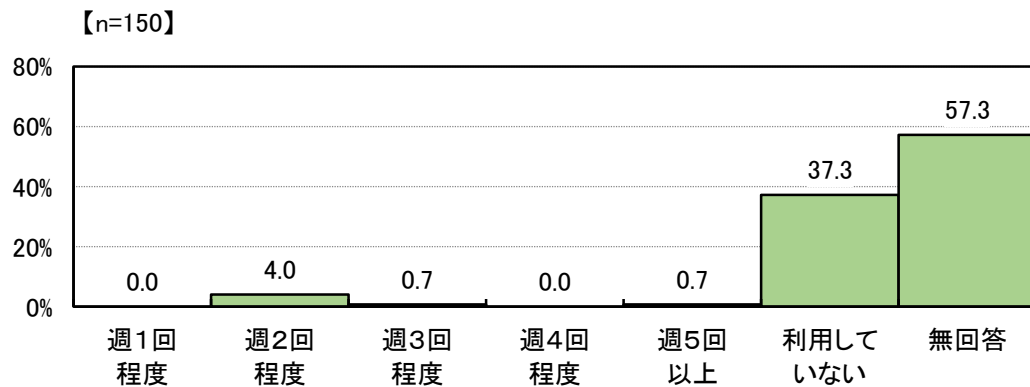
A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）



訪問介護については、全体の14.0%が利用しており、利用頻度としては「週２回程度」が6.0%で最も多くなっている。

一方、33.3%は「利用していない」と回答している。

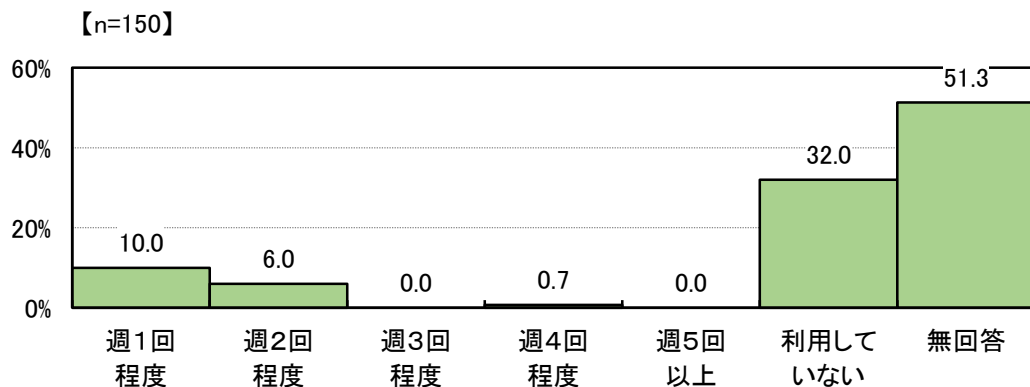
B. 訪問入浴介護



訪問入浴介護については、全体の5.4%が利用しており、利用頻度としては「週2回程度」が4.0%で最も多くなっている。

一方、37.3%は「利用していない」と回答している。

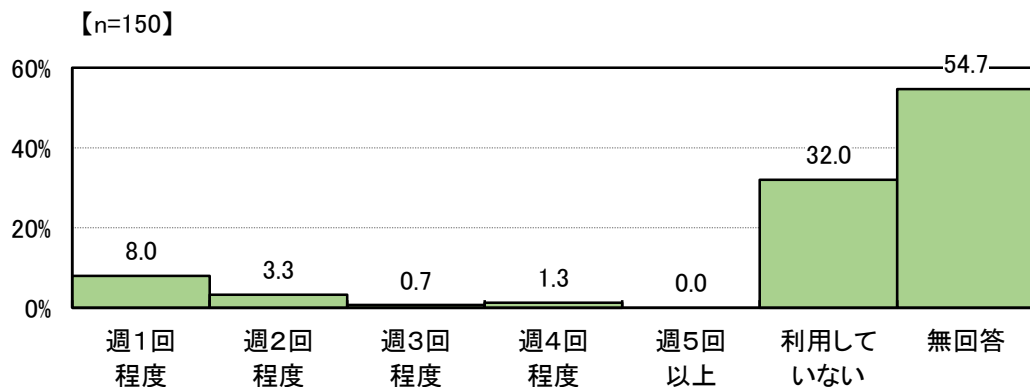
C. 訪問看護



訪問看護については、全体の16.7%が利用しており、利用頻度としては「週1回程度」が10.0%で最も多くなっている。

一方、32.0%は「利用していない」と回答している。

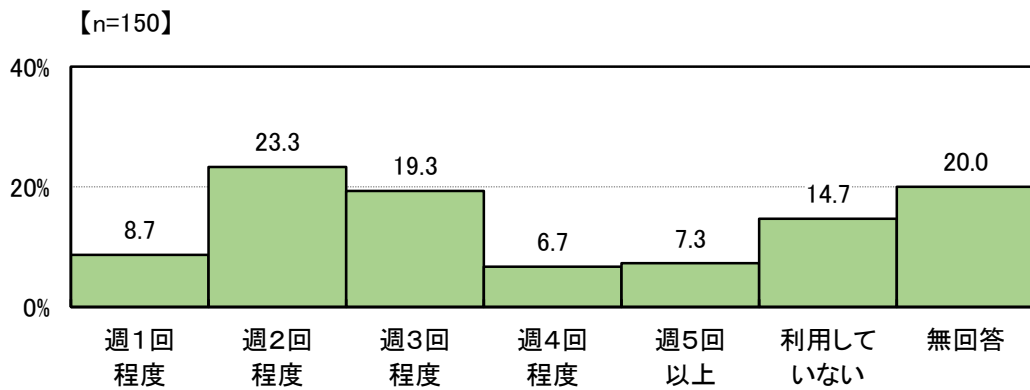
D. 訪問リハビリテーション



訪問リハビリテーションについては、全体の13.3%が利用しており、利用頻度としては「週1回程度」が8.0%で最も多くなっている。

一方、32.0%は「利用していない」と回答している。

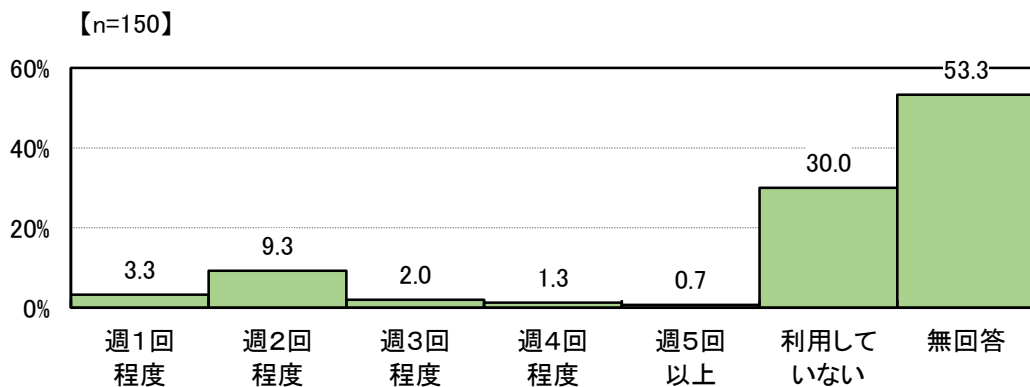
E. 通所介護（デイサービス）



通所介護については、全体の65.3%が利用しており、利用頻度としては「週2回程度」が23.3%で最も多くなっている。

一方、14.7%は「利用していない」と回答している。

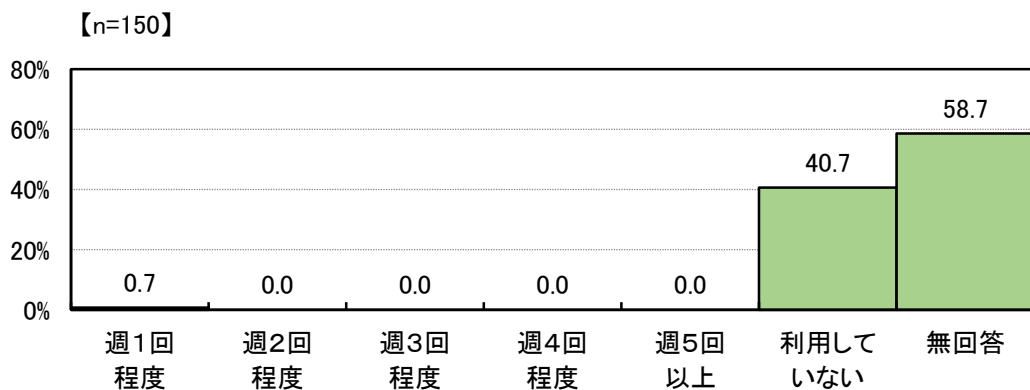
F. 通所リハビリテーション（デイケア）



通所リハビリテーションについては、全体の16.6%が利用しており、利用頻度としては「週2回程度」が9.3%で最も多くなっている。

一方、30.0%は「利用していない」と回答している。

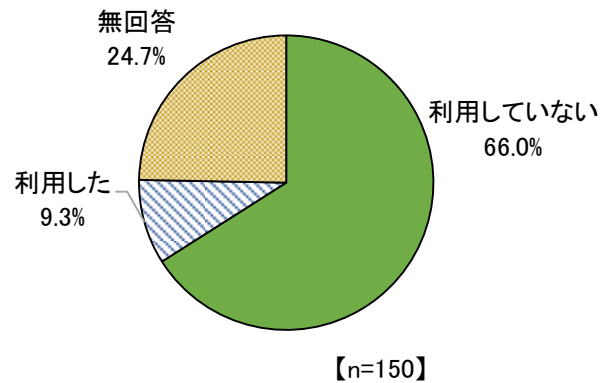
G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）



夜間対応型訪問介護については、全体の0.7%が利用しており、利用頻度としては「週1回程度」が0.7%で最も多くなっている。

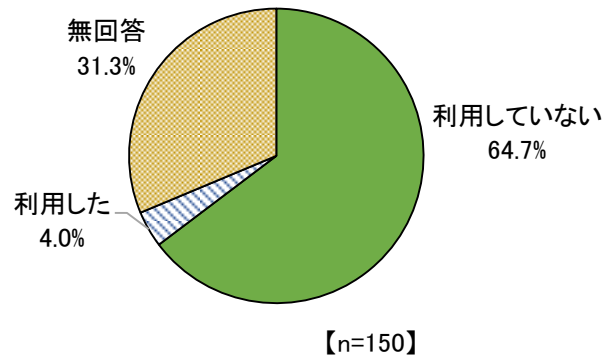
一方、40.7%は「利用していない」と回答している。

H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護



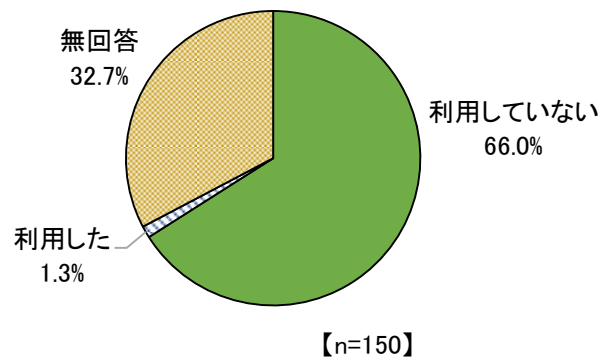
定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、全体の9.3%が利用したと回答。一方、60.0%は「利用していない」と回答している。

I. 小規模多機能型居宅介護



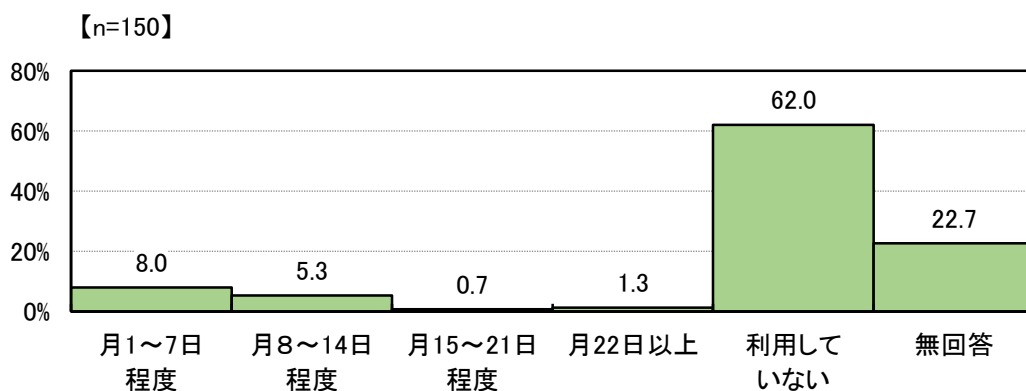
小規模多機能型居宅介護については、全体の4.0%が利用したと回答。一方、64.7%は「利用していない」と回答している。

J. 看護小規模多機能型居宅介護



看護小規模多機能型居宅介護については、全体の1.3%が利用したと回答。一方、60.0%は「利用していない」と回答している。

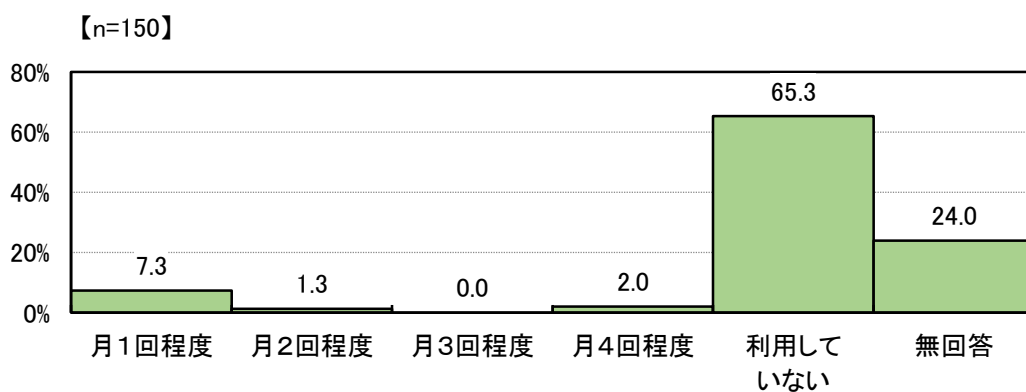
K. ショートステイ



ショートステイについては、全体の15.3%が利用しており、利用頻度としては「月1～7日程度」が8.0%で最も多くなっている。

一方、62.0%は「利用していない」と回答している。

L. 居宅療養管理指導



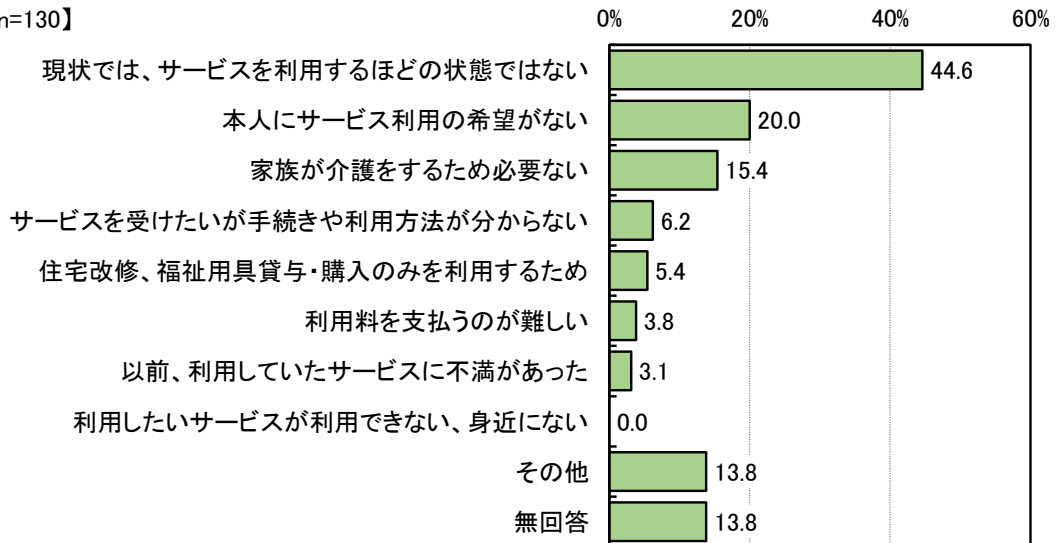
居宅療養管理指導については、全体の10.6%が利用しており、利用頻度としては「月1回程度」が7.3%で最も多くなっている。

一方、65.3%は「利用していない」と回答している。

(10) 介護保険サービスを利用していない理由

問10 問8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

【n=130】

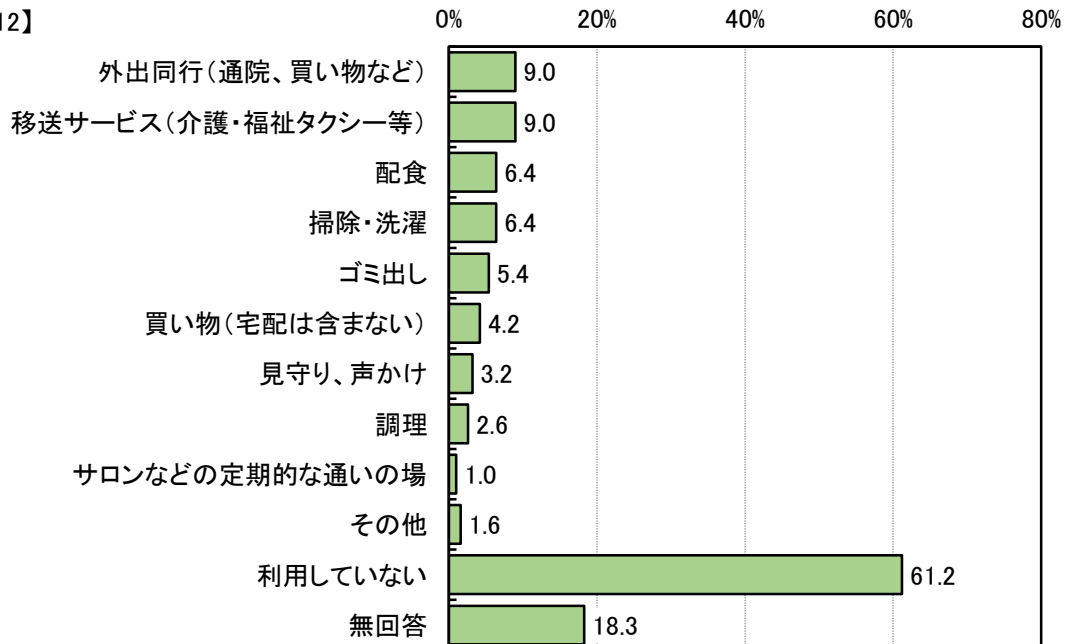


介護保険サービスを利用していない方にその理由を尋ねたところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.6%で最も多く、以下、「本人にサービス利用の希望がない」が20.0%、「家族が介護をするため必要ない」が15.4%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が6.2%などとなっている。

(11) 介護保険サービス以外の支援・サービス利用状況

問11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（○はいくつでも）

【n=312】

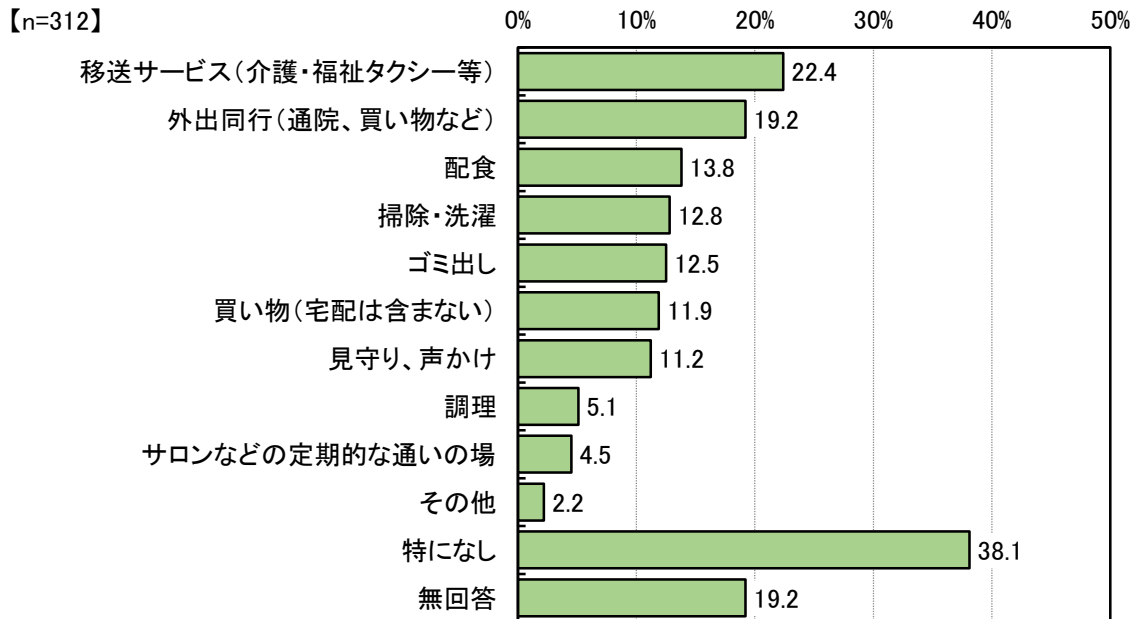


介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況については、「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がともに9.0%で最も多く、次いで「配食」「掃除・洗濯」がともに6.4%、「ゴミ出し」が5.4%などとなっている。

なお、61.2%は「利用していない」と回答している。

(12) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

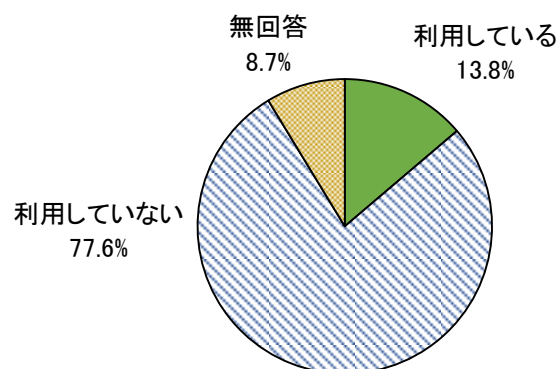
問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（○はいくつでも）



今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が22.4%で最も多く、以下、「外出同行（通院、買い物など）」が19.2%、「配食」が13.8%、「掃除・洗濯」12.8%、「ゴミ出し」が12.5%などとなっている。
 なお、38.1%は「特になし」と回答している。

(13) 訪問診療の利用状況

問13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（○は1つ）

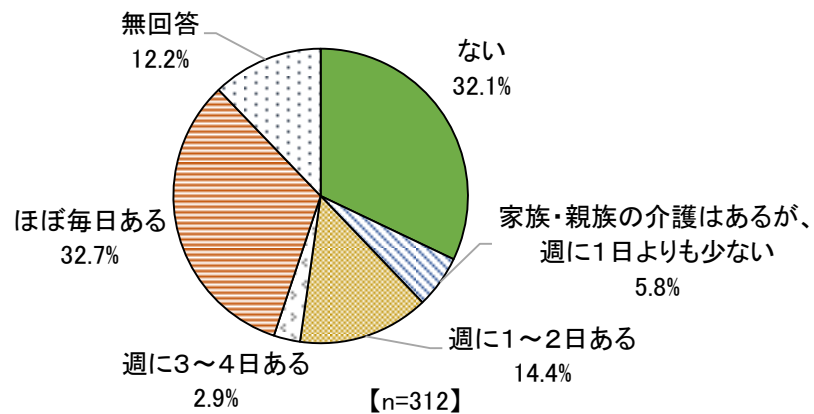


【n=312】

訪問診療については、現在「利用している」が13.8%、「利用していない」が77.6%となっている。

(14) 家族・親族からの介護の状況

問14 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○は1つ）



家族や親族からの介護の状況については、「ほぼ毎日ある」が32.7%で最も多く、以下、「週に1～2日ある」が14.4%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が5.8%、「週に3～4日ある」が2.9%などとなっている。

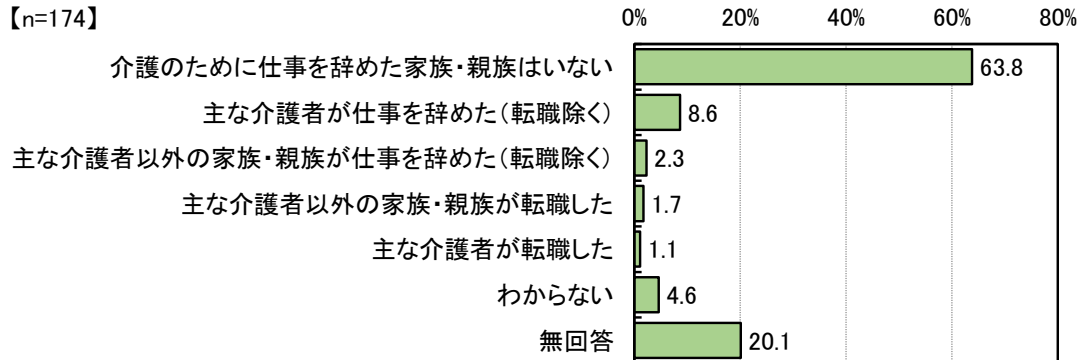
なお、32.1%は「ない」と回答している。

B票 主な介護者の方について

(1) 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（○はいくつでも）

【n=174】

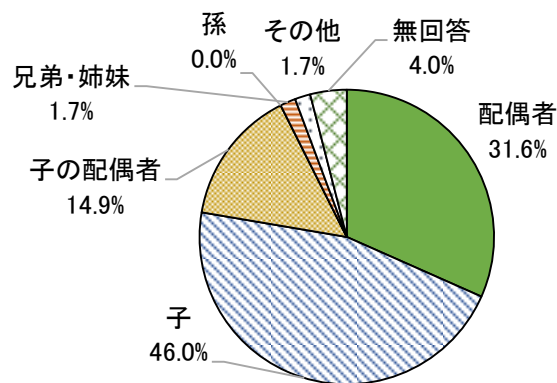


家族や親族の中で、介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた方がいるか尋ねたところ、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.6%で最も多く、次いで「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」が2.3%、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が1.7%などとなっている。

なお、63.8%は「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答している。

(2) 主な介護者

問2 主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つ）

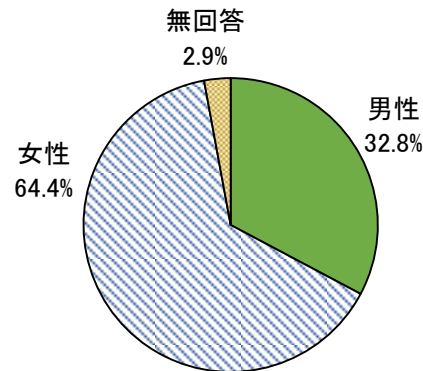


【n=174】

主な介護者を尋ねたところ、「子」が46.0%で最も多く、以下、「配偶者」が31.6%、「子の配偶者」が14.9%、「兄弟・姉妹」が1.7%となっている。

(3) 主な介護者の性別

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

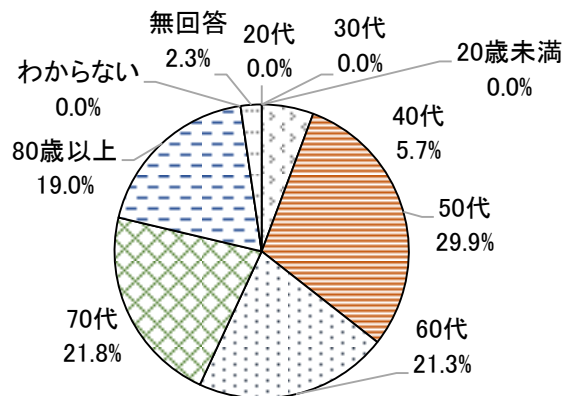


【n=174】

主な介護者の性別については、「男性」が32.8%、「女性」が64.4%で、「女性」の割合が「男性」のほぼ2倍となっている。

(4) 主な介護者の年齢

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

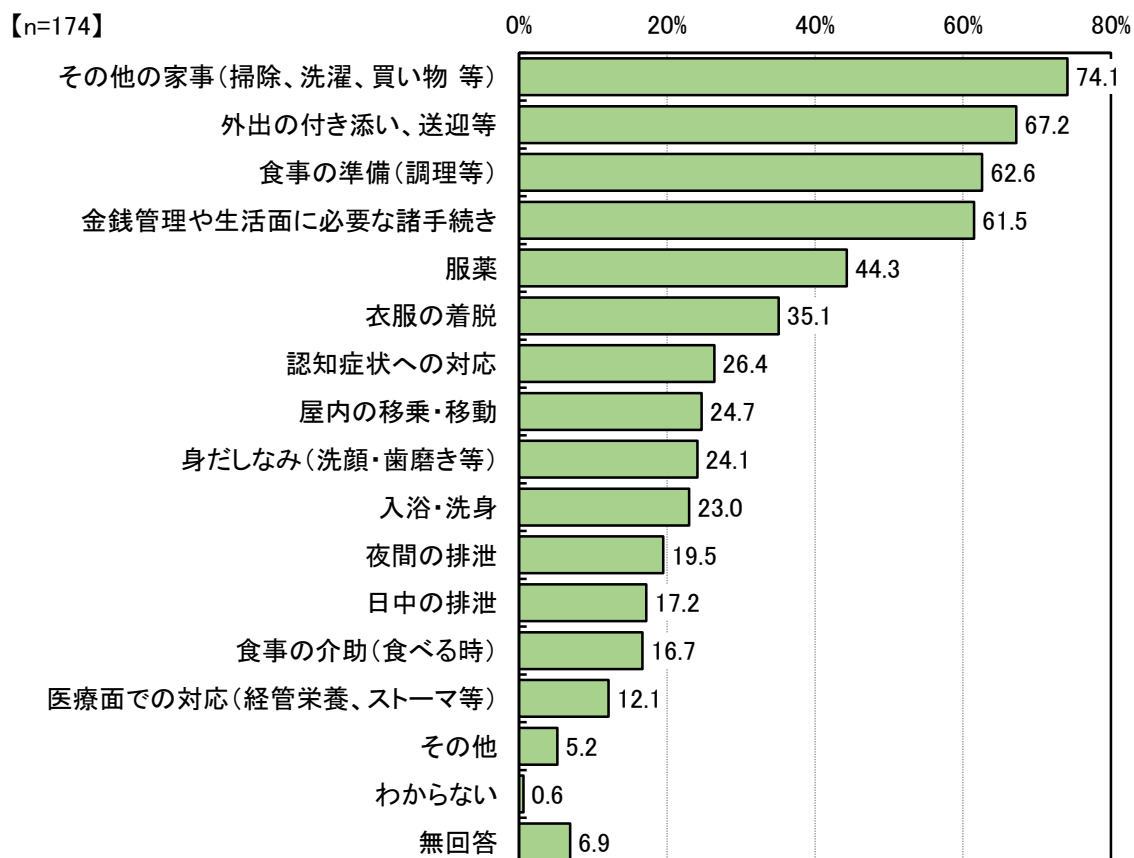


【n=174】

主な介護者の年齢については、「50代」が29.9%で最も多く、以下、「70代」が21.8%、「60代」が21.3%、「80歳以上」が19.0%、「40代」が5.7%などと続いている。

(5) 主な介護者が行っている介護

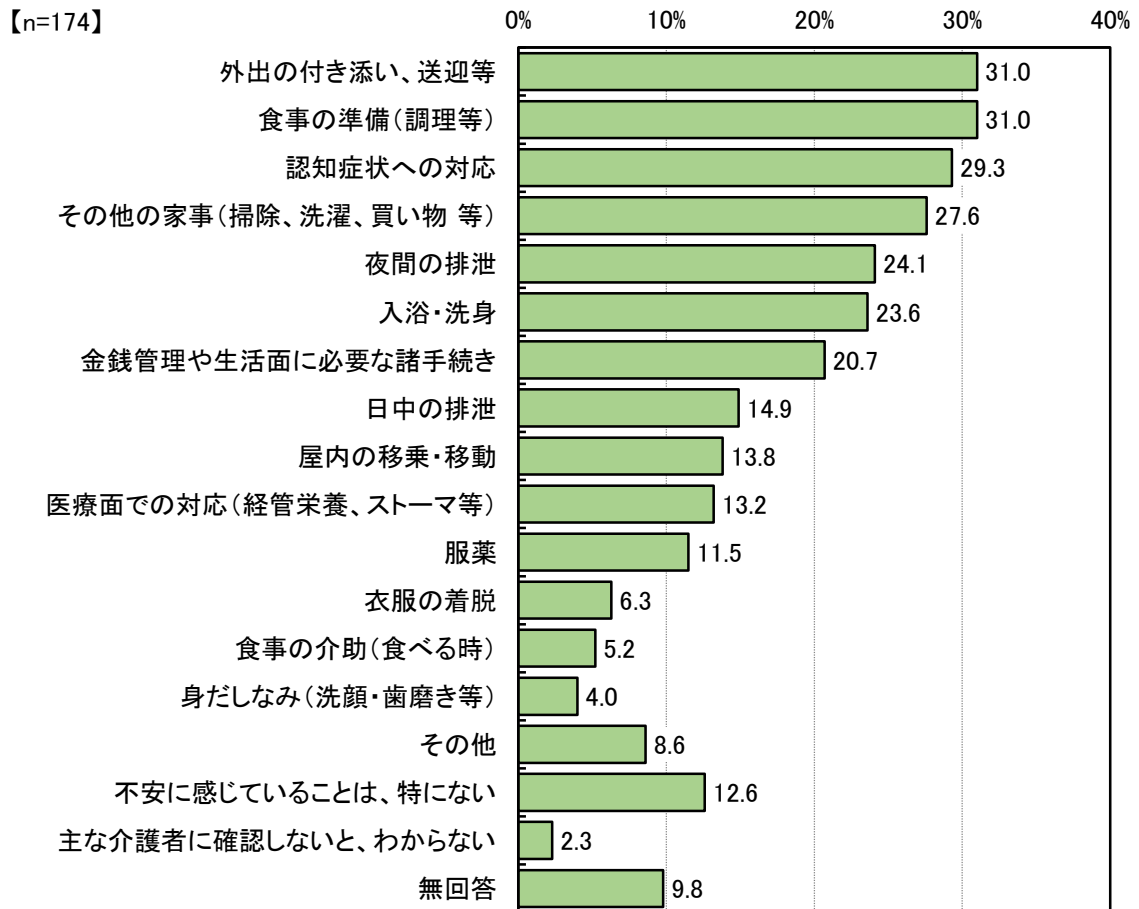
問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（○はいくつでも）



主な介護者が行っている介護については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が74.1%で最も多く、以下、「外出の付き添い、送迎等」が67.2%、「食事の準備（調理等）」が62.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が61.5%、「服薬」が44.3%などとなっている。

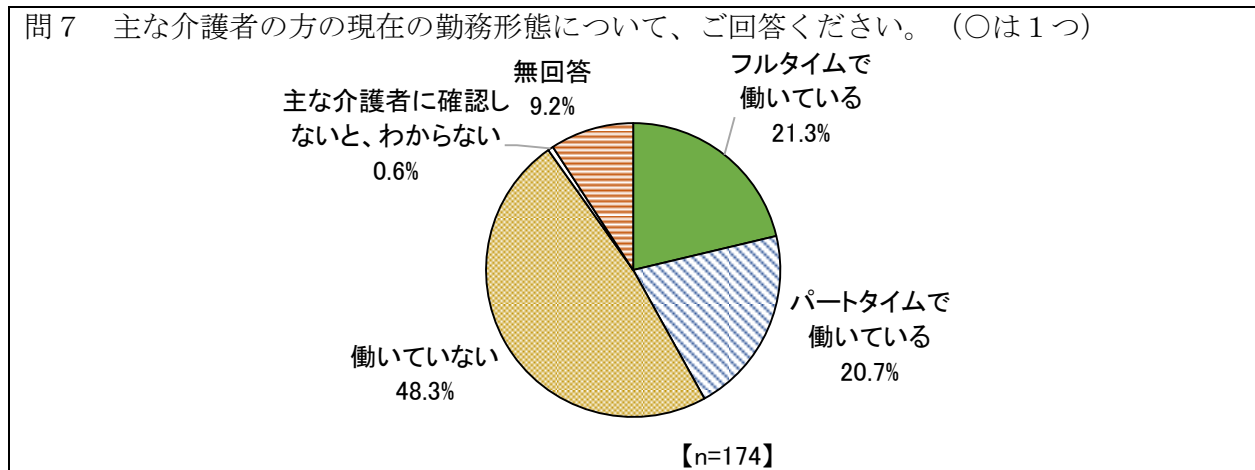
(6) 主な介護者が不安に感じる介護

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）



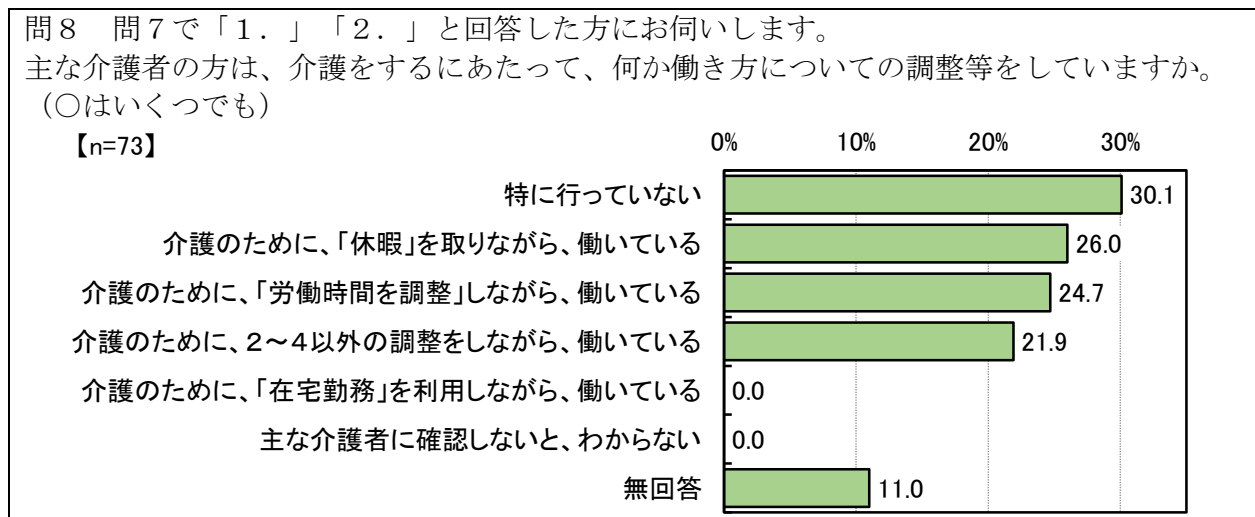
主な介護者が不安に感じる介護等について尋ねたところ、「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」がともに31.0%で最も多く、「認知症状への対応」が29.3%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が27.6%、「夜間の排泄」が24.1%などとなっている。

(7) 主な介護者の勤務形態



主な介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」が48.3%で最も多く、以下、「フルタイムで働いている」が21.3%、「パートタイムで働いている」が20.7%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が0.6%となっている。

(8) 働き方の調整について



介護をするにあたって働き方の調整をしているかを尋ねたところ、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が26.0%で最も多く、以下、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が24.7%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が21.9%となっている。

また、「介護のために『在宅勤務』を利用しながら、働いている」、「主な介護者に確認しないと、わからない」は該当がなかった。

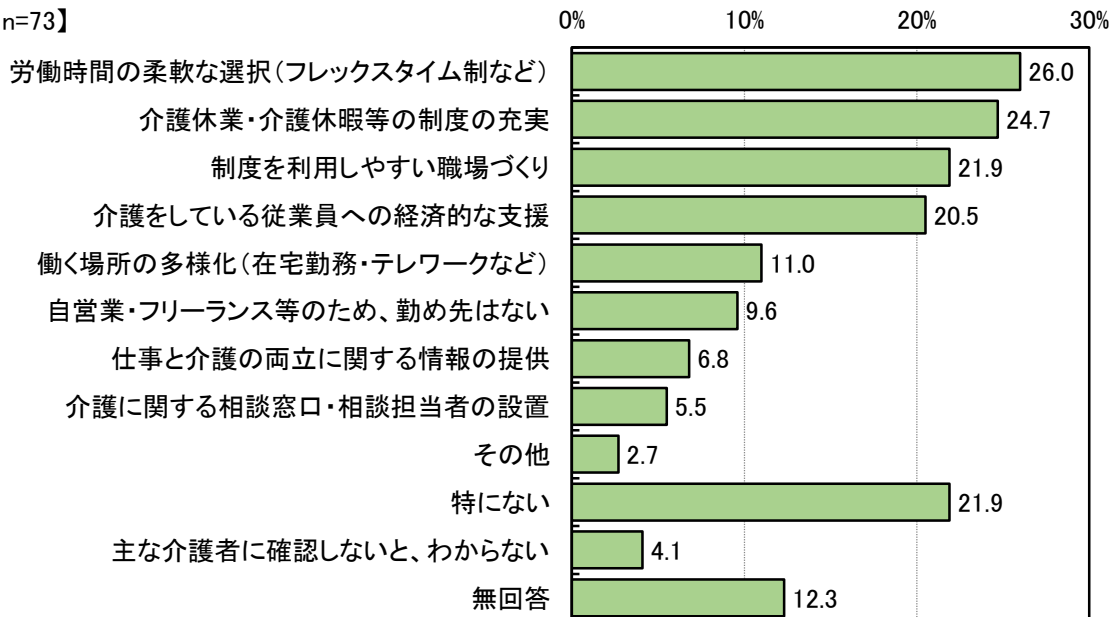
なお、30.1%は「特に行っていない」と回答している。

(9) 仕事と介護の両立のための支援

問9 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで選択可）

【n=73】



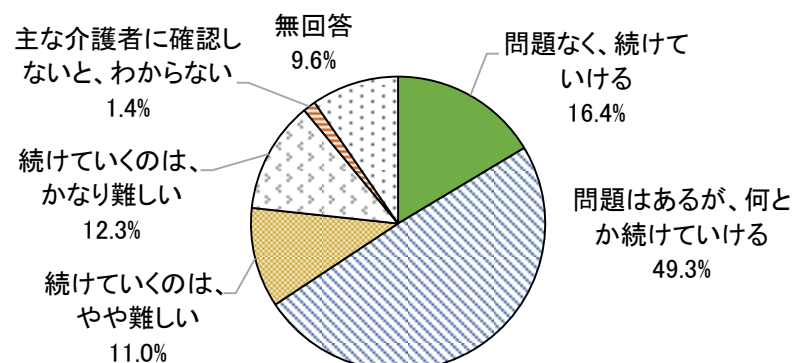
勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うか尋ねたところ、「労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)」が26.0%で最も多く、以下、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が24.7%、「制度を利用しやすい職場づくり」が21.9%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が20.5%などとなっている。

なお、9.6%は「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」、21.9%は「特にない」と回答している。

(10) 主な介護者の仕事と介護の継続

問10 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○は1つ）



【n=73】

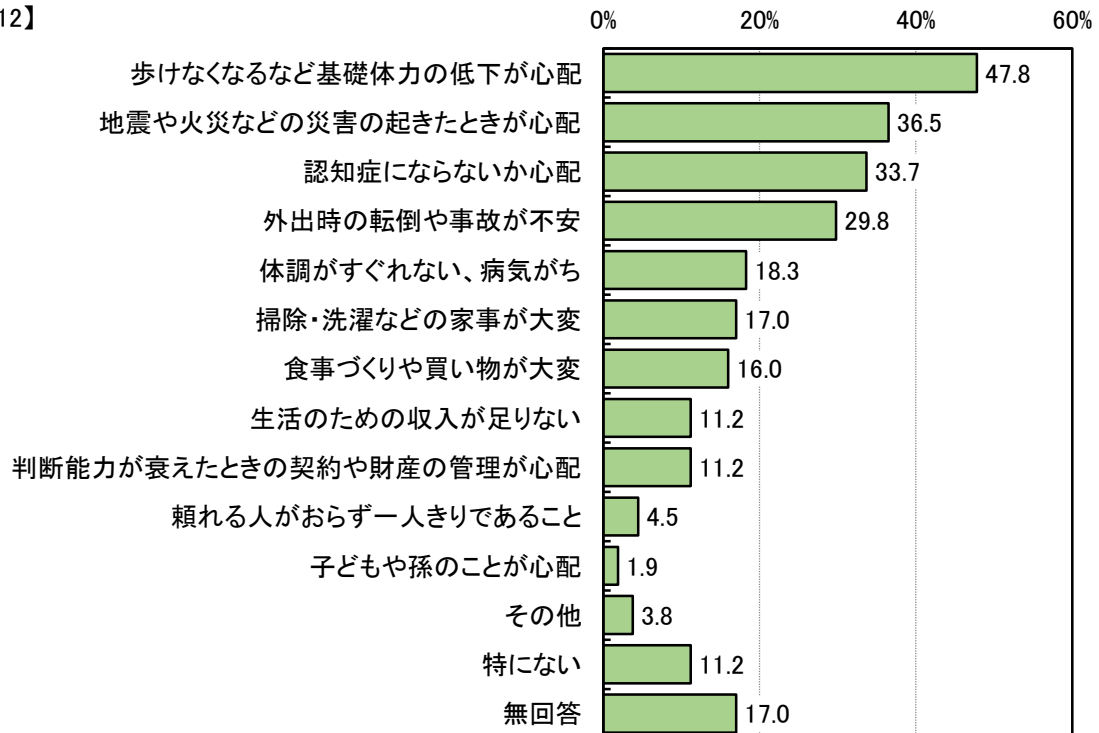
今後も仕事と介護の両立を続けられそうかを尋ねたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」が49.3%で最も多く、以下、「問題なく、続けていける」が16.4%、「続けていくのは、かなり難しい」が12.3%、「続けていくのは、やや難しい」が11.0%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が1.4%となっている。

C票 今後の暮らしや将来の介護について

(1) 日常生活における不安や悩みごと

問1 日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありますか。また、それはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

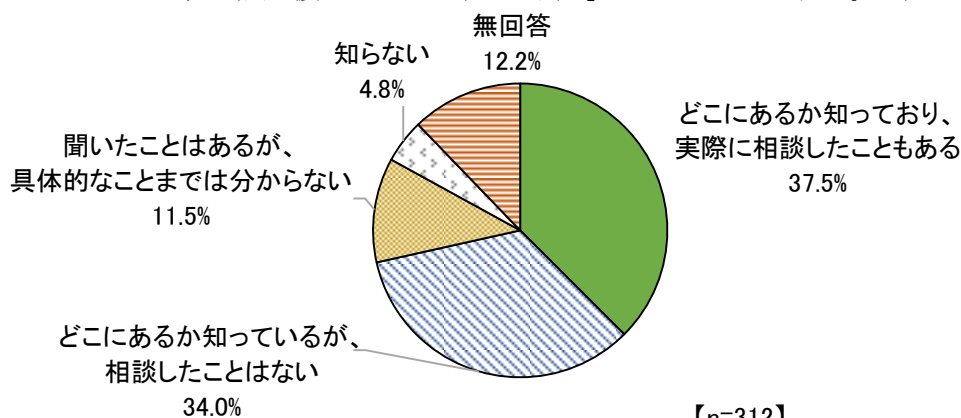
【n=312】



日常生活において、不安、悩み、心配ごとはあるか尋ねたところ、「歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配」が47.8%で最も多く、以下、「地震や火災などの災害の起きたときが心配」が36.5%、「認知症にならないか心配」が33.7%、「外出時の転倒や事故が不安」が29.8%、「体調がすぐれない、病気がち」が18.3%などとなっている。

(2) 地域包括支援センターの認知度

問2 あなたは「地域包括支援センター（なごみ）」を知っていますか。（〇は1つ）



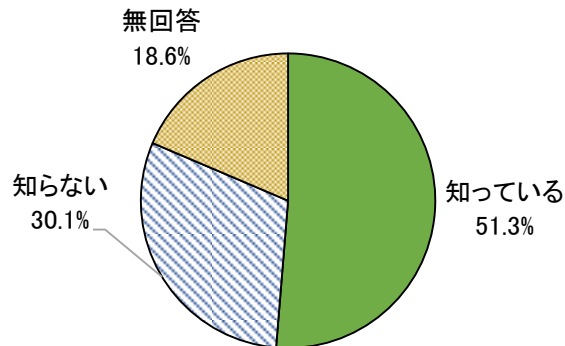
【n=312】

「地域包括支援センター（なごみ）」を知っているか尋ねたところ、「どこにあるか知っており、実際に相談したこともある」が37.5%で最も多く、以下、「どこにあるか知っているが、相談したことはない」が34.0%、「聞いたことはあるが、具体的なことまでは分からない」が11.5%、「知らない」が4.8%となっている。

（３）地域包括支援センターにおける業務内容の認知度

問３ 地域包括支援センター（なごみ）で、以下のような業務をしていることをご存じでしたか。（それぞれ１つに○）

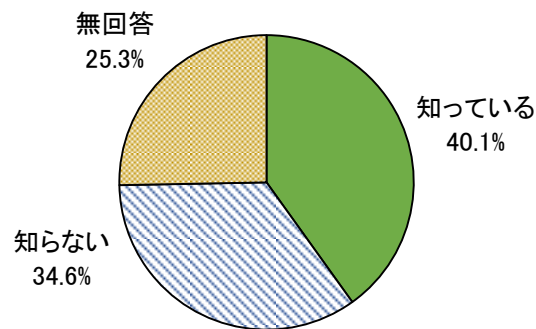
①高齢者の総合相談



【n=312】

高齢者の総合相談をしていることを知っているか尋ねたところ、51.3%が「知っている」、30.1%が「知らない」と回答している。

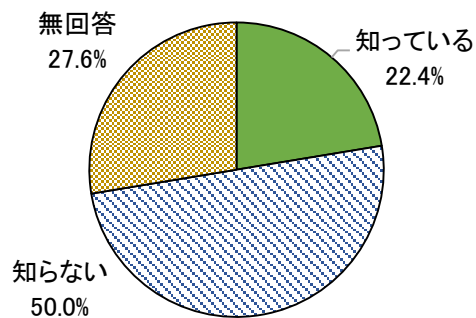
②健康づくり・介護予防



【n=312】

健康づくり・介護予防に向けた業務をしていることを知っているか尋ねたところ、40.1%が「知っている」、34.6%が「知らない」と回答している。

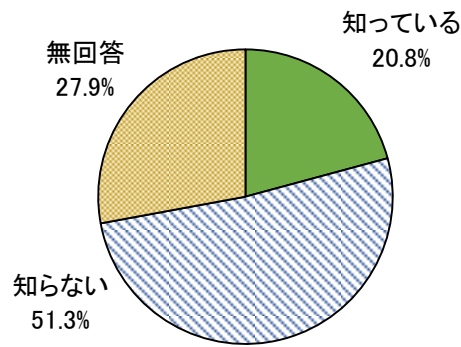
③高齢者虐待の対応



【n=312】

高齢者虐待の対応をしていることを知っているか尋ねたところ、22.4%が「知っている」、50.0%が「知らない」と回答している。

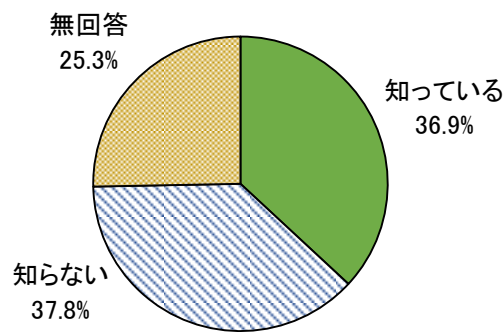
④成年後見制度の案内・相談



【n=312】

成年後見制度の案内・相談をしていることを知っているか尋ねたところ、20.8%が「知っている」、51.3%が「知らない」と回答している。

⑤認知症に関する相談

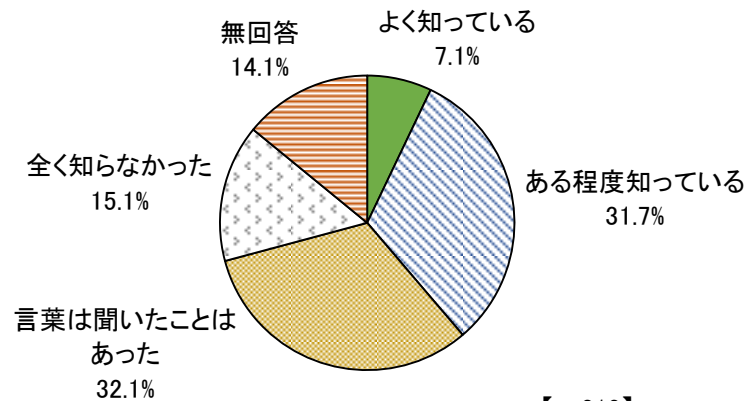


【n=312】

認知症に関する相談をしていることを知っているか尋ねたところ、36.9%が「知っている」、37.8%が「知らない」と回答している。

(4) 成年後見制度の認知度

問4 あなたは成年後見制度についてご存じですか。(1つ)



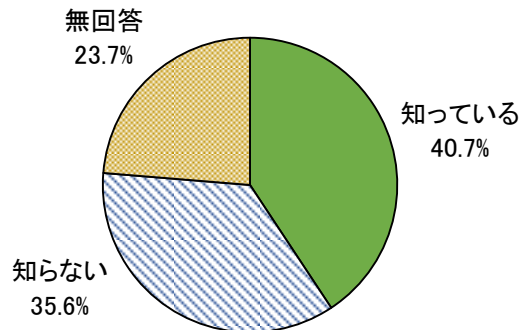
【n=312】

成年後見制度を知っているか尋ねたところ、「言葉は聞いたことはあった」が32.1%で最も多く、以下、「ある程度知っている」が31.7%、「全く知らなかった」が15.1%、「よく知っている」が7.1%となっている。

(5) 成年後見人ができること

問5 成年後見制度において後見人ができることとして、以下のような内容をご存じでしたか。(それぞれ1つに○)

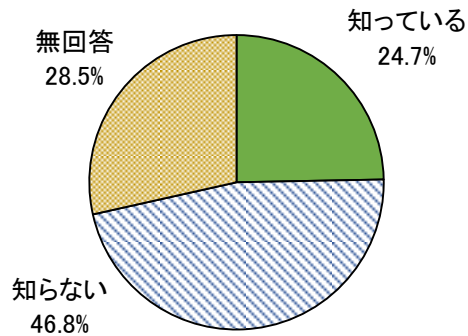
①銀行や郵便局などの金融機関との取引



【n=312】

銀行や郵便局などの金融機関との取引については、40.7%が「知っている」、35.6%が「知らない」と回答している。

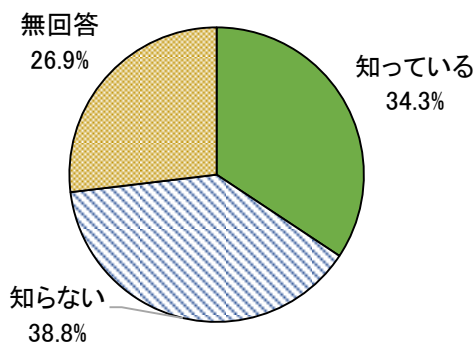
②不動産の売買、賃借、修繕契約等



【n=312】

不動産の売買、賃借、修繕契約等については、24.7%が「知っている」、46.8%が「知らない」と回答している。

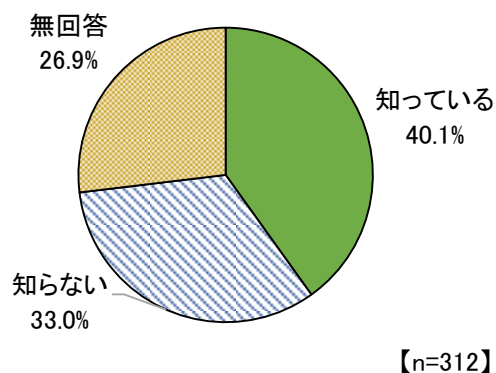
③入院や入所の手続き、費用の支払い



【n=312】

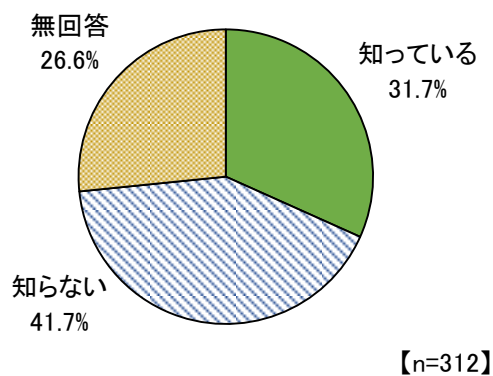
入院や入所の手続き、費用の支払いについては、34.3%が「知っている」、38.8%が「知らない」と回答している。

④通帳、印鑑、各証書の管理など



通帳、印鑑、各証書の管理などについては、40.1%が「知っている」、33.0%が「知らない」と回答している。

⑤日常生活に必要な介護サービス等の手配

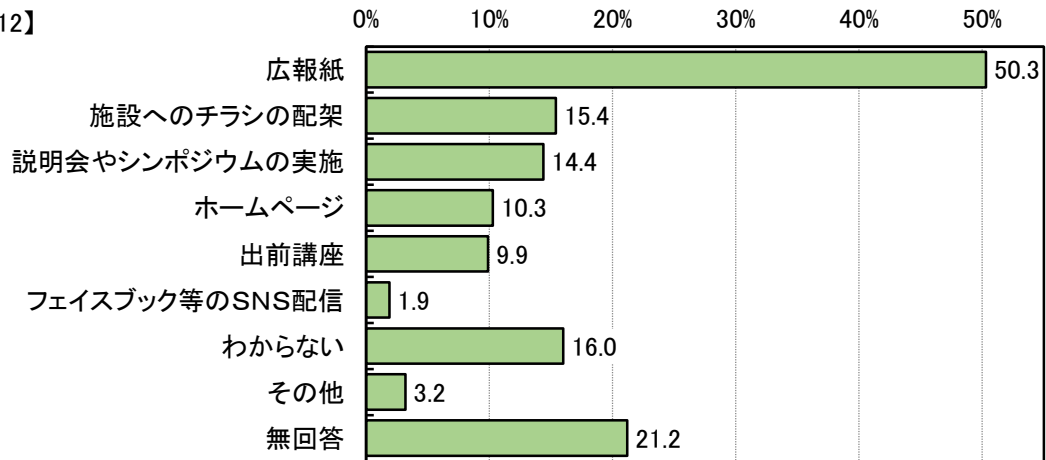


日常生活に必要な介護サービス等の手配については、31.7%が「知っている」、41.7%が「知らない」と回答している。

(6) 成年後見制度の効果的な周知方法

問6 成年後見制度をより多くの方に知っていただくための周知方法として効果的なものはどれですか。（〇はいくつでも）

【n=312】

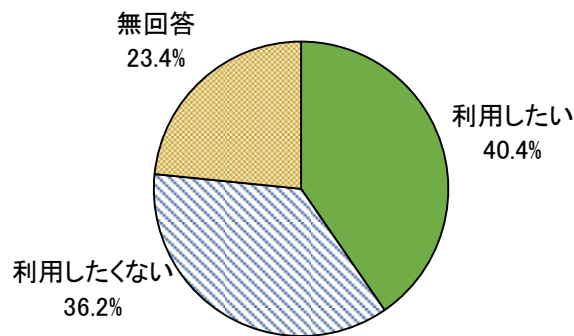


成年後見制度をより多くの方に知っていただくための周知方法として効果的なものを尋ねたところ、「広報紙」が50.3%で最も多く、以下、「施設へのチラシの配架」が15.4%、「説明会やシンポジウムの実施」が14.4%、「ホームページ」が10.3%などとなっている。

また、16.0%が「わからない」と回答している。

(7) 成年後見制度の利用希望

問7 あなたは認知症などによって判断能力が不十分になった時に成年後見制度を利用したいと思いますか。

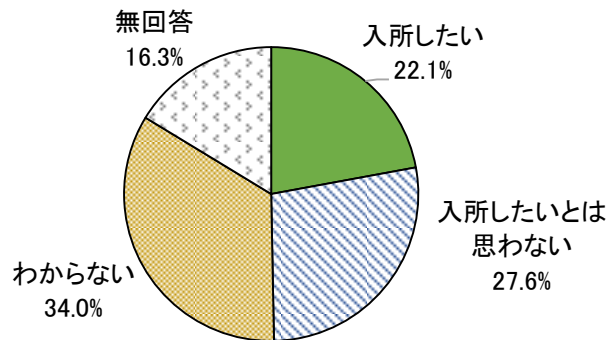


【n=312】

認知症などによって判断能力が不十分になった時に成年後見制度を利用したいと思うか尋ねたところ、40.4%が「利用したい」、36.2%が「利用したくない」と回答している。

（８）特別養護老人ホームへの入所希望

問 8 将来、特別養護老人ホーム（介護福祉施設）に入所したいですか。（○は1つ）



【n=312】

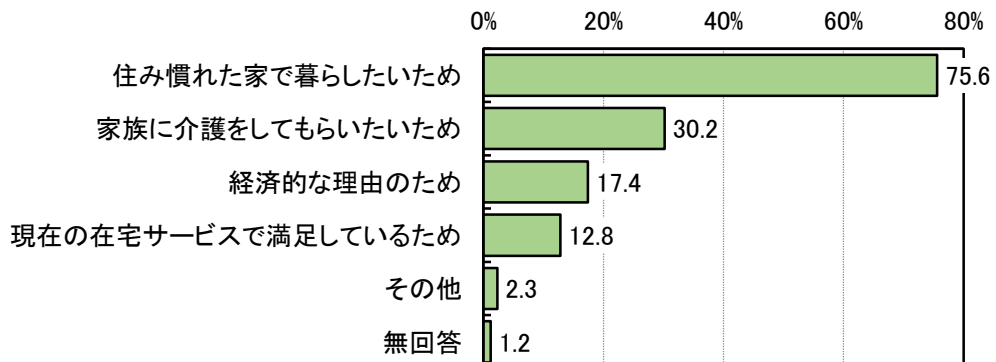
将来、特別養護老人ホーム（介護福祉施設）に入所したいか尋ねたところ、「わからない」が34.0%で最も多く、以下、「入所したいとは思わない」が27.6%、「入所したい」が22.1%となっている。

（９）特別養護老人ホームに入所したくない理由

問 8①【入所したくない方のみ】

その理由は次のどれですか。（○はいくつでも）

【n=86】



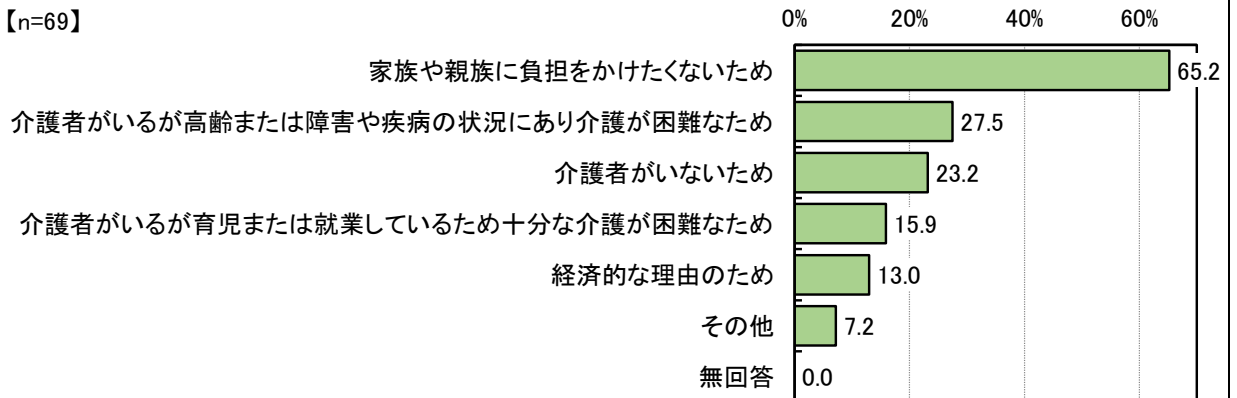
特別養護老人ホームに入所したくないと回答した方にその理由を尋ねたところ、「住み慣れた家で暮らしたいため」が75.6%で最も多く、以下、「家族に介護をしてもらいたいため」が30.2%、「経済的な理由のため」が17.4%、「現在の在宅サービスで満足しているため」が12.8%となっている。

(10) 特別養護老人ホームに入所したい理由

問 8 ②【入所したい方のみ】

その理由は次のどれですか。（○はいくつでも）

【n=69】

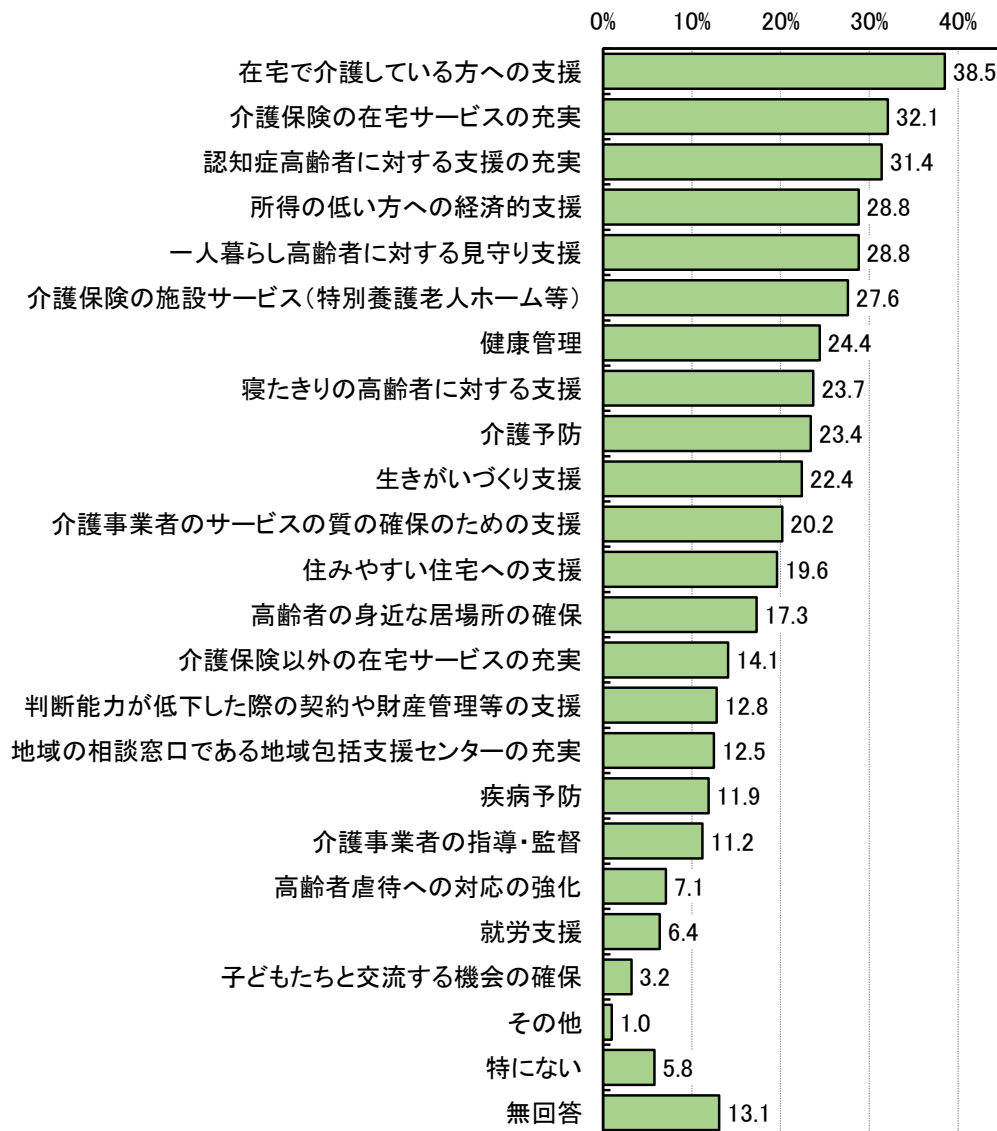


特別養護老人ホームに入所したい理由を尋ねたところ、「家族や親族に負担をかけたくないため」が65.2%で最も多く、以下、「介護者がいるが高齢または障害や疾病の状況にあり介護が困難なため」が27.5%、「介護者がいないため」が23.2%、「介護者がいるが育児または就業しているため十分な介護が困難なため」が15.9%、「経済的な理由のため」が13.0%となっている。

(11) 力を入れてほしい保健福祉施策

問9 これからの高齢者の保健福祉施策として、村に力を入れてほしいと思うものはどれですか。（〇はいくつでも）

【n=312】



高齢者の保健福祉施策として、村に力を入れてほしいと思うものを尋ねたところ、「在宅で介護している方への支援」が38.5%で最も多く、以下、「介護保険の在宅サービスの充実」が32.1%、「認知症高齢者に対する支援の充実」が31.4%、「所得の低い方への経済的支援」、「一人暮らし高齢者に対する見守り支援」がともに28.8%、「介護保険の施設サービス（特別養護老人ホーム等）」が27.6%などとなっている。

IV 自由記述

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【65歳以上の方（要介護1～5の認定を受けている方を除く）】

（１）「生きがいがづくり・集いの場」に関すること

- 一人暮らしで見守り活動にお世話になり、感謝しています。交通手段が障害となりいろいろな活動に参加できないでいます。出前講座等に参加できると今後の暮らしに見通しがつきます。小さい単位で実施してほしいです。
- 生きがいがづくりのために、「シルバー人材センター」や「にじのなか」等と関連した生きがい農園や、生産作業所的な場所を創設し、高齢者等ができる範囲での就労参加をして、多少なりの収入も得て元気を維持していくことができるのではないかと。
- 高齢者の歩いて集まり、おしゃべり、手仕事、お茶のできる場所
- 簡単な運動とかレクリエーション、認知症予防の音楽に合わせて体操的な動きのものとか。手芸、折り紙、編み物等は高齢者でも指導出来る方もたくさんいると思います。私はこの様なことがあるといいなと思っています。散歩一人でも思っても出来ない長続きしないです。元気でピンコロと思っています。

（２）「介護予防・健康づくり」に関すること

- 介護予防などで活動しております。今置かれている場を懸命に生きること。これからもよろしくお願い致します。
- 自分で努力することの大切さを、もっと啓発すべきと思う。最初から困ったら助けてもらえると予防的努力をしようとしなない人が多いように思う。
- 今後の行先について目標を定め、懐かしい思い出は思い出さないで、身支度を整えることが生きがいになります。そうしますと、自ら生命感がわいてまいりますので、可成高齢まで生きながらえて、最後は生まれたばかりの赤ちゃんのようになって、地上との別れとなります。生き方の一つと思います。
- シルバー人材センターで花栽培と手芸事業で体を動かしています。今は元気だし運転もできるので、もう少し頑張ってみようと思っています。
- 色々な事を考えなくてはと思っています。今のところ1日1日を穏やかに、三食、快眠、自然に感謝しつつ暮らしています。晴耕雨読、晴れも雨もなくしてはならないもの。天気だけはどうすることもできません。
- 身体能力が落ちて来た時の日々の支えが欲しい。
- 東海村の飲食店にて年中無休で働いています。その訳は体を動かす、又お客様と話す事。年齢は90才から子供さんまで。外人さん達は、年齢は70才から学生さんまで言葉はいりません。イギリス、ロシア、中国、アメリカ、台湾、韓国その他、日本の大学生は東大、京大生です。現在73才です。
- 歳はとりたくないのが実感です。歳はとっても自分の事は自分で出来る、まわりの方々に迷惑をかけないで生活したいですね。

- 私の希望としては家族を含め周りの人にあまり心配をかけず、人生を終わりたいと思います。自分で出来ることは自分でする様努めると言う言葉を心掛け、日常の日々を前向きに過ごしたいと思っております。
- 健康寿命の延長には喜びを得られる仕事と10万円以上の収入が必要でその機会の付与。
- 現在まで、色々考えて生活して来たが、これからは皆に迷惑かけない様に少しでもボランティア等考えて生活して行きたいと考えている。
- 多額の介護保険料を納入していますが、それを使わず生活できる幸せを感じています。いざと言うときの安全、安心です。健康寿命の延伸に向けた介護予防の推進や支援の充実など地域で支え合う体制づくりが、より望まれています。期待しています。
- 近隣の家々でも、高齢者だけの所帯が多く、子供が少なくなっています。活気がなく、さみしくなっています。若い人にも予算が回していけるように高齢者もなるべく自力で生活できるようにしていかなくてはならないと思います。介護予防のため高齢者に自覚をうながし、病気をさけて少しでも健康寿命を延ばすための心がけなど、だれもが見やすい形、村報で特集記事を掲載したらいいと思います。
- 今自分に直面していないので実感がわかりません。現在週5日水泳、1日トレーニング（週により違う、ビーチバレー、卓球、バドミントン）自分の自動車運転が出来なくなったら又考えます。息子達に迷惑が掛からぬ様にと日々生活しています。

（３）「地域支え合い・見守り・生活支援」に関すること

- 年齢を重ねるにつれて、友人や知人が数少なくなつて、相談相手もほとんどおりません。週2回の介護施設通いが何よりの楽しみになっている現況です。人生百年時代を迎えて、行政はますますきめ細かい見守りが必要な事になるかと思います。大変でしょうが、この種のアンケートが多くの人社会に、明るく有効に反映し明るい日が差すことを願っております。
- 高齢化で近所付き合いもなくなり、見守り声かけ等も実際にはほとんどできなく、また行われていない。あと何年か後はもっとひどくなると思う。村は実際のことを知ってほしい。
- 夫在宅介護中は大変お世話になりました。現在一人暮らしにつき、見守り支援をお願いしたい。（現在夫は老人施設にお世話になっております）相談窓口包括支援センターまで行く前に、精神的にだめな時がありました。現在私が一番良いと思っているのは、福祉課の職員の方で、元気になります。この窓口が一番好きです。
- 現在私の同級生、クラスの友人を8人集めてヤングシルバー隊を作り、東海村、ひたちなか市、水戸市周辺でシルバー支援の事業を始めました。参加者は本村村松や舟石川、外宿のヤングシルバーが参加してくれています。
- 舟2の住宅街はどんどん高齢化が進んでいる。動けなくなった人（本当のサポートが必要な人）は、プロにまかすとして、元気な人が動けなくなり、施設に入る前までサポートをしてあげたいと考えている。→この様なチームがあればよい。

- ほとんどの人はいずれ要介護になる。大切なのは①過食や有害食品を避け、軽作業（登下校の見守りや学校の農業実習など）を続けることで心身の健康を維持し、社会参加や伝承に携わること。②介護施設や施策を抜本的に改善すること、例えば空き家や個人住宅を改造して数人の共同生活場所にし、移動図書館、生鮮館販売車なども利用でき、可能な社会参加もできるようにする。③隣近所で子供会や道路清掃などができ、年寄りも参加できる社会づくりだと思います。
- 骨折（腰）して12月～2月まで入院しております。まだ杖ついて歩く状態です。「役場」と「絆」の方々のおかげで何とか生活しております。本当に東海村の取り組みには感謝しております。息子も協力的で、楽しい日々を迎えらえる日々を目指して頑張っております。どうもありがとうございました。
- 健常者は「高齢福祉課」の活動内容、方針を良く理解していない。よってきめ細かい広報活動を若年層（50～60歳）代より一層実施していく必要がある。
- 4年前に主人に先立たれ、息子は東京で結婚しております。私は健康体なので1人で自由に生活できて幸いです。しかし病はいつ訪れるか予想できません。それゆえ何の対策もしておりません。不安はありますが、何をどう準備するか考えていません。
- 地域の高齢者の実態の把握がどの程度個人のことを情報としてとらえられているか心配である。民生委員さんが各担当地域のお年寄りの実態を包括支援センターと太いパイプでつないで訪問なり指導を更に深くされて、お年寄りの不安や心配事に耳を傾け相談にのったり、解決の糸口をさぐる努力をお願いできたらと思います。
- 自治会に入らない方が多くなっていると思います。それでも家族の人数、若い人の引きこもり等、サービスに従事している方々に把握してほしいと思います。
- 安心して生涯を迎えられること。
- 自己責任が一番ではないでしょうか！
- 一番大切なことは、介護保険制度や高齢者福祉サービスを利用する事ではなく予防する事ではないかと思います。高齢者になると社会との繋がりが薄れて認知症や病気の発生原因となる。たとえば、東海村にはたくさんの遊休農地があります。多くの高齢者が遊休農地を利用して東海村独自の農産物の生産をし、「にじのなか」に納入する。体を動かし活動する事により社会との繋がりができ、予防に繋がると思います。福祉課単独ではなく他の課との連携も大切だと思います。
- 誰にでも来る高齢の何かの病気になるととても心細いです。家族に負担をかけない様、心掛けています。
- 少しずつ変化していく自分を、家族や地域の皆さんに見守って頂けるか、それに甘えられるか。余り変わらず、楽しい空間に身をおければいいかなと思います。
- 介護については実感が無い。福祉サービスでは、孤独、孤立させない様な地域でのサポートが重要に思う。
- 人は老いていずれ死ぬということの教育、老いてからあわてないようにね！！
- ゴミ出しステーションを家の近くにつくってほしい。

○団地内にいるので高齢とともに食料の買い物に行けなくなる。高齢者福祉だけに力を入れるのではなく、一般生活ができる環境を整えてこそ高齢者福祉といえるので、家で生活できる支援（商店への買い物等、なおデマンドタクシーは不要）と在宅医療が必要と考えます。（所謂、パッケージでの福祉が必要）

（４）「交通・移動支援」に関すること

○歩けなくては何事も出来ない。

○今現在運転をしています、近い将来運転ができなくなることは目に見えています。そして病院通いになることは当然、その時のデマンドタクシーは村で対応できるのか心配。そしてそれは村内に限られているのも不安。今一番気になっていることです。東海病院の充実が欲しいです。（特に眼科、耳鼻科）他市に依存しなくても済むように病院を考えてもらいたい。歴史と未来館など知らない。高齢化は進み始めているのだから。

○年末のゴミ出しは大変助かっており、ありがとうございます。時々デマンドタクシーの午前中利用ができない場合があります。高齢者が増えるこれからの対策をお願いします。

○高齢者福祉サービスで、村外への乗り物のサービスがあると良いと思います。病院やお見舞いなどに行く時が大変なので、何曜日でも利用できると良いと思います。（車に乗れないので）

○現実には高齢者から免許返納で車を取られたらお手上げです。人に迷惑をかけず対処しようとするには、当然デマンドタクシー利用が多くなると思います。デマンドは往復600円、頻度の多い利用となると出費が大きすぎる。そこで年金暮らしの負担軽減を考慮し、デマンドタクシー利用回数多い人（平均週2回以上）には、1か月3000円で乗車できる。定期券方式を検討してはどうでしょう。（通院、買い物、カルチャー）

○①認知症にはなっていないくて、入れる介護保険の施設が村内にもう少しあってほしい。（今のところ1カ所）②デマンドタクシーは村内に限りですが、近隣にある病院までは行っていないものではないのでしょうか。（駅からはバスは出ておりますが）80歳過ぎの夫婦にとっては、タクシー代片道3700～3800円は負担が大きすぎです。私に限らず、自家用車を運転する子どもがいない家も多くいらっしゃるのでは。

○不便な所に住んでいるので、具合悪くなったときのタクシー代が大変です。村内だけでなく、那珂市や隣接の日立市の病院などの、タクシー代の補助が必要と思っています。年金のうちの医療費の出費が困る。

○1時間に1本くらいの村を廻る循環バス（小型）。料金1人100円（1回）くらい。（駅⇄スーパー⇄役場⇄なごみ⇄絆）等。

○ひきこもり老人を防ぐために交通機関の充実を求めます。東海駅、公共施設に気楽にいつでも行けるようにバスの本数を増やして欲しいと思います。デマンドタクシーは元気な高齢者には乗りづらいのです。自分の足を使って出かけるのは健康には必要なのでは？

○歩いて行ける距離にスーパーや病院がなく、車の運転が不可となった時のことを考えると不安である。

- あいのりくんの車を増して欲しいと思います。迎えはすぐに来てくれますが帰りには長く待たなければなりません。時には1時間～1時間半待つ事もあります。大変でしょうが少し考えてみてください。よろしくお願い申し上げます。
- デマントタクシーを増車していただきたいです。
- デマントタクシーの電話がなかなか通じない。バス乗り場までが遠く利用出来ず通院に苦労しています（歩けない）。デイサービス以外、話をする人がいません。ケアマネジャーさんはお忙しい方なので2、3か月に一度しか見えません。せめて1か月に一度、時間をとって「愚痴」を聞いて戴ければと思います。
- 現在、高齢者達の為の食事会等が社協等で行われていますが、自分の足で参加出来る人しか参加できない。自転車も乗れない人、足腰の弱い人、私は送り迎えしてあげたくても万一事故を起こしたら保証出来ない等。他に送迎ないものか。
- これから車の免許を返納する人が多くなると思います。各地域にデマントタクシーを増やして欲しいと思います。今現在なかなか電話が通じず困っているお友達がいます。
- デマントタクシーを1度利用したのですが、運転手さんの感じが悪くて、少しの距離でしたがどんよりした気持ちで降りました。人間も色々な方がいるのはわかりますが、人のふりみて我がふり直せ、ですネ。特別な事は望みませんが、最低限のあいさつぐらいはと思います。
- 村内や近隣まで移動できる公共交通が身近に走っていればありがたいと感じている。（マイクロバス等）
- 運転免許の返納を考えなくてはならない時期に来ている。その後の交通手段について不安。
- 免許返納者が多くなりデマントタクシーでは循環が大変だと思います。よりよい交通方法は無いでしょうか。
- 今のあいのりくんのやり方ではなくもっと自分が自由に動ける様なシステムにして欲しいです。それと、時間にしっかり間に合う様であればもっと幸せです。
- ①高齢になって車の免許返納になると生活の質（買物、病院など）が落ちてくるので、移送サービス、デマントタクシー、小型のバスの充実などを早くしてほしい。②ゴミ出し当番（特に資源ごみ分別の時）の早朝当番は高齢の方には負担になっているとききます。村が地区毎に（自治会ごと、班ごとに）ゴミ集積所を作してほしい。立ち合い当番は徐々になくしてほしいと思う。
- 介護予防に対する指導や支援を多く取り組んでほしい。今後、在宅介護の人が多くなります。それらに対する支援する医療機関の充実を図ってほしい。運転免許を返上する高齢者が増加しますので、交通手段に対する、支援サービスを実施してほしい（今、以上に取り組んでほしい）。

(5) 「医療・通院」に関すること

- 現在検診等は、保健センターで行っていますが、胸部CT、腹部超音波などは、地域の集会所などで行って頂けたら受診者も楽かも。デマンドタクシーの予約がなかなか取れない（現場までの足がない）。県民交通災害共済加入も、初期にはコミセンで加入出来た。近くの集会所での開催を希望します。
- 高齢者が年々多くなり、高齢者が車の運転をして、水戸・日立と遠くの病院そのほか出かけるときの事故など考えますと、出かけるのに不安を感じます。病院にしても東海病院は総合病院ではないので、すべての診療科があるわけではありませんので、病気によっては水戸・日立・ひたちなかななどの専門病院で診てもらいたい時もあるかと思います。家族で住んでいる家庭もあると思います。それは別としても一人暮らしの高齢者も多くなっていると思います。息子たちも遠く離れて生活している家庭も多いと思います。タクシーも水戸・日立・村外は料金も高くなり、毎回利用することはできません。タクシーを高齢者の場合、半額負担位に利用できるよう、ご検討をお願いします。
- 在宅で介護している家に、診察に来る病院の方をお願いします。老人は具合が悪いとすぐ薬を出されますが、たくさん薬を飲ませられて、かえって具合が悪くなってしまう事がありました。入院して、先生にこんなに薬を飲んだら、かえって悪くなってしまうと言われた。

(6) 「介護保険サービス（居宅介護・施設）」に関すること

- 先月（1／17）終末期の介護に関する講演会（於なごみ）があり、大変有意義であった。また聞いてみたい。デイサービスやホームなどの見学をしたい。（個人では行きにくいので、ある程度的人数を集めて連れて行ってほしい）（特別養護老人ホームの現場を見学したい）
- 97歳の姑様をデイケアのあと施設入所で2年間お世話になりました。9年前には主人（胃がんと脳梗塞）の在宅でお世話になりました。今の時代だから、この様な手厚い介護を受けて助けて頂けると感謝です。そして他人事ではなく、私も介護を受ける側にいつ襲われるか恐怖です。一つ屋根の下で、忙しく生活している子どもたちに負担をかけてはいけないと思い、「施設に入るよ」と言っておりますが、在宅看取りが随分取り上げられていますが、これは大変な事です。自宅で末期の病人を見るのは、毎日が地獄の思い。今でも娘が「あの時お母さんの方が先に逝くと思った」と言います。とても一人二人でできることではありません。週に2～3回8時間労働でグループホームにて働いていますが、人手不足でいつまで続けるのか？入所すればすべてが管理され、それなりに日々を過ごすのだなーと思ったりします。
- 長い間、主人の親を介護しましたが、看る人看られる人のギャップを強く感じました。悪くなった後は長男の嫁の立場にむなしさを感じました。たくさんの子どもの中では、常に自分だけに強い責任感だけがあったように思えました！介護のサービスを受けるたびに辛い思いをしました。もう少し介護する長男の嫁に、楽になるようなサービスを期待しています。
- 現在東海村にあるケアハウス入居中。ある程度生活には満足。病気等の心配りも満足。自由に散歩することもでき、これ以上の生活は望まない。

- 現在介護施設に週5日行っています。
- 介護を受ける人と共に、介護する人への支援の充実を図ってほしい。
- 年々高齢者が増大し、特別養護老人ホームへの希望者も多くなると思う。したがって入居者の負担が少ない特別養護老人ホームなどの施設確保を要望する。高齢者が話し合う施設、健康維持する身近な居場所（スポーツ施設、脳の活性化施設、サッカー場の使用等）の確保、講話などを要望する。（現状施設のPR）高齢者が今後、これらの施設確保により利用することで、健康長寿村になり医療費の負担も減少すると思う。
- 老後希望すれば待たずに老人ホームにはいれるように施設を拡充してほしい。
- 現在親が介護4でサービス付住居型有料老人ホームに入っているが、会社（運営）によって対応が（考え方が）違う事に驚いています。行政でホーム等の対応（サービス）内容のチェックをして頂き、入居者のより良い環境になる事を望みます。
- 将来一人暮らしになったら、子供の住む地域に引っ越し、介護が必要になったら自立を尊重するような安価で住める老人住宅に住み、お手伝いを受けながらも安心して生活ができる様な日々を送りたいです。（見守りホームという様な老人向け住宅があったら嬉しいです。）
- 高齢者福祉介護保険事業等について、今後、年々高齢者が増加し、村でも一層の努力をお願いします。特に認知症高齢者支援、介護保険の施設サービス。（特別老人ホーム施設）
- 高額な保険料を支払っているが利用する立場になった時にスムーズに認定が受けられるかが気になる。
- 99才の親の介護中。大変です。
- 年々高齢者の急増に伴い、公的特別老人ホームの増設を是非お願いしたいと思います。また、独居高齢者の異変が起きた時の緊急情報システム装置などの導入（貸付）を考えてほしい。
- これから介護保険施設利用者が増えた場合、自分は空き待ちで長期間待たされ、利用（入居）が難しくなるのではと不安になる。
- 何分、老老介護なものですから、よろしくお願いいたします。
- 子供達は、東京在勤のため、最期は公的サービスを使って、自宅（東海村）で迎えたい。介護士、ヘルパーさんの待遇を良くするべきです。
- 在宅介護の充実が一番と思います。
- 要介護者になったとき、本人の希望は勿論の事、家族の方も施設に入居を希望したときに、短期間でしかも手続が簡単にでき、東海村村民が優先的に、そして心身共に安心して入居できる充実した施設が、確保される事を希望します。
- お金がなくても入所できる施設を要望します。
- 現在77才で、夫がまあ元気で私もまあまあシルバー人材センターで仕事をしているので、今すぐどうのと言うことではないが、夫が余り介護の話しや福祉サービス等に介入すると嫌がるので、勉強したり出来ない。私は女なので色々気にはなっている。

○介護保険施設サービスの設置（特別養護老人ホーム）。今後、核家族となり、高齢者が多くなると思われますので、どなたでも入所が出来ますように希望します。

○高齢者福祉サービスの充実

○後期高齢者ですから、早かれ遅かれ皆様のお世話になる日もあるかと思います。が、現在のデイサービスにお世話になるとしたら、さぞかし我慢もいることかと思ひます。もちろんお世話をされる介助の方々の働きは十二分に感謝しますが、画一的に同じ大部屋で同じ歌を歌いゲームをするような現代のやり方に工夫が必要だと思ひます。私が望むのは二つのグループに分けていただき、一つのグループは現在のやりかたで、もう一つのグループはクラシックの音楽が静かに流れていて、本を読むこともOK、静かに団らん等などもOKの部屋があれば、そのようなデイサービスなら喜んで参加すると思ひます。各自、趣味も異なるように、歩んできた歩み方も異なります。せめて2部屋に分けて下さり、自分に合う部屋を選ぶようにしていただきたいものです。

○まだ現実味がありませんが、病院とか施設は団塊集団で入所オーバーになり無理。なんとか自宅で快適に過ごせたらと思ひています。良質のサービスと支援を自宅で受けられるような行政サービスが必要です。

○高齢者同士が共助し合いながら生活できるシェアハウスの支援

（7）「介護保険制度」に関すること

○現在は介護・介助の必要ない生活を送っていますが、必ずサービス等利用しなければならない時が来ます。その時は頼りになるのは地域包括支援センターです。今後も充実した機関であってほしいと強く望みます。

○受けたことがないから分からない。その時はどうかよろしく願ひします。ありがとうございます。

○①介護保険を利用した介護サービスの自己負担額が、年々増加することは確実である。年金生活者には、この上なく大きな負担になる。村政として介護サービス補助制度を金銭的に拡充してほしい。②高齢者の非常時に、支援者が即自宅訪問して対応してもらえる具体策と制度を紹介してほしい。

○同じ介護を受け、僕が2割、家内が1割と夫婦で違う。以前は同じであった。厚生年金が少しずつ少なくなっているのになぜか。

○老老介護の方への見守り、相談等々、金額（経済）の事、不幸な結果にならないよう考慮してほしい。老老介護をする理由としては、施設入所への金銭問題が一番かと思うのです。難しい問題ですが、入所ができるようなシステムが何とか考えられないでしょうか。一週間でも二週間でも、少しでも介護者の軽減ができるよう検討してほしいです。

○現在は自己管理をし、自立した生活ができていますが、いずれ終末を迎える時が来る。はたして自宅で最期を迎えられるかが一番不安です。医療従事者、家族、地域との連携を具体的にどうすれば良いかが、高齢者にとっては関心事ではないでしょうか。よろしく願ひします。

○介護事業者へのサービスの充実と支援

- 未だ実感していないため良く分かりません。そのためアンケートも場違いみたいなものがあり、大変恐縮です。これから少しずつ介護保険制度や高齢者福祉サービスについても、自分にはまだ遠いものと無関心ではなく、勉強（真剣に）していきたいと思いますのでよろしくお願い致します。
- 2025年以降の老人増加に対し、老老介護とならないよう介護保険施設の増強を望みます。
- 認知症になる前に自分はどのような最期を迎えたいか、家族で良く話し合っておく。救急車を呼んでも助かる見込みがない時は、家族が救命拒否できる。または本人がその旨を事前に記載できるようにしてほしい。（助かるとは介護を必要としない後遺症（重度）がないこと）自分の最後の人生は自分で決めたいと強く思う！
- 3月15日（土）村長とのトークに参加しました。今回のアンケート調査とタイミングが良くあった意見を（在宅介護支援）申し上げてまいりました。在宅介護支援は医療が伴わないと、結果的には病院送りになる。希望としてはいばらき診療所の介護サービスが参考になると思う。
- ケアマネジャーを頼りにしている。
- 福祉サービスと言っても出来る事を取り上げることではない。出来ることはやる。これが根底にないと不公平感が広がる。近隣との助け合いが少ないと言いながら自治体が先回りして何でも代行しているケースが多くないですか。疑問に感じるケースが散見されます。（この用紙、封筒に入れにくい。高齢者に配慮している？）
- 介護のクラス分けでケアマネジャーの認定のあまい例を多く見ている。介護保険制度を維持するためにも厳格な認定をお願いしたい。
- 介護保険のサービスについて、本人の申し出がないと具体化できないと思っています。認知症になれば希望を申し出る事が出来ないのととても不安です。家族なり介護者が代わりに行政で受け止めてもらいたいです。
- 細部にわたるアンケートの回答をして、自分自身の不勉強さが身にしみました。P12（2）の村が行っている認知症に関する取り組みには、ほとんどと言ってよい程知り得ませんでした。自分が認知症になることを思うと、ガンを患うより大変だという認識でいます。介護保険制度については、あくまでも保険のひとつと考える一方で、なるべく自分が使わない方向でいるのがいいと思いますが、年々保険料が高くなる傾向にあります。保険料を使わなかった人への保険料の還付制度があってもいいのではないかと、そうすれば、皆、保険を使わないための努力は、ある程度積極的に考えるのではないのでしょうか。いつまでも健康で幸せな高齢者が理想ですが、そのためにできる好条件の人ばかりではありません。村の取り組みももっと若いうちから、全体が知る工夫が必要だと思います。
- 介護保険制度でお金を払っているが、誰でも保険の恩恵を受けることが出来るのか、一部人間だけが良い思いをするのではなく。
- 介護保険を健康な高齢者にも使えるように考えていただきたい。
- 日々の健康の為に一人一人が希望するサービスに支援と協力をお願いしたいです。
- 介護保険料が高い。

- 介護保険の件について。だれもが払っています。だが介護されている人に使用しているのか？自分で払っている保険は、どうなっているのか、又、元気な老人は払っていても元気な人は使用出来ない。どんな内容なのか。いろいろとあると思う、そのようなパンフレットがほしいです。
- 長い間給料から又は、年金から介護保険料等を天引きされて来たので、それに見合った介護サービスを受けたい。
- 介護保険料払っていますが、実際必要になったときにスムーズに利用させてもらえるのか疑問になっています。いまのところ仕事をしているのであまり興味がありません。動ける間は働いていきたいと思っています。
- 収入が少ない高齢者には介護保険料が負担になっているのではないのでしょうか。

(8) 「経済的な問題」に関すること

- 高齢者も人として尊ばれ豊かな老後を送れるような社会の確立を望みます。これ以上の経済的負担は無理です。世代間で対立することは絶対にしたくないことです。誰もが老人になるので…。
- 介護保険制度は両親が十分に利用させていただいたので、意義は良く理解しているつもりです。その時は現役だったので、保険料の負担感はあまり感じなかったのですが。収入が年金のみになった現在、その負担感は相当なものとしひしひし実感しています。将来の自分たちへの投資と簡単に割り切れない現実の生活。年金額から算定されている介護保険料だと思いますが、生活の質を下げるのは難しく負担増になったら！明るい老後は絵に描いた餅になること必至。本当に消費税は福祉税？
- 一人暮らしの方への支援。家での生活のため、家の改築、資金不足で修理ができない！どうすれば良いのか不安です。
- 東海に夫婦二人で45年、子どもはいません。岩手と川崎の出身です。日頃二人で上記の問題があること、承知しました。福祉予算があれば充実した支援ができると思いますが、私も努力していきます。
- 昨年3月（3月14日）に転んで入院し、入院中に带状疱疹にかかり、右上肢麻痺となり、4月30日に介護施設へ入所となり介護保険制度を知りました。リハビリ目的でしたが、移動は車椅子で杖をついて歩かせてもらえません。入浴も入院シャワーのみでした。費用も1か月約14万（1割負担で）、39年間人工透析をして生きてきた人が透析、介護施設入所で、高額な費用を使って生きていくのかと思うと、すごく不安になりました。
- 今一番憂慮している事は介護保険料が値上がりしている事です。そのため家計に占める負担が増えて家計を圧迫しています。
- 成年後見制度について全くの無知でした。初めて目にした言葉だったので、これから勉強です。
- 自助、共助、公助のうち公助がやはり頼りになります。
- 高齢者への国保を含む、税金が高い

○自立が困難になった時、介護保険制度を利用して施設でお世話になる様になると思いますが、どの位費用がかかるのか全く判らず、正確な情報が欲しいのですが、どこで教えて頂けるのでしょうか、経済的なことも心配になりますので…。

(9) 「情報提供・相談窓口」に関すること

○役場・地域包括支援センター・社会福祉協議会等、種々の福祉分野で取り組みが実施されていることは承知しているが、その取り組みの周知なり広報の方法をたずねると、「ホームページ」「広報とうかい」でと答えが返ってくる。村内のパソコンの普及率は数年前まで30%と言われた。スマートフォンはもう少し高いと考えるが、高齢者にとってはさらに低下していると思われる。これでは情報なり制度が高齢者に伝わりはしない。情報・制度の内容を、必要な高齢者に伝わり、必要な時に利用できる制度を作って頂きたい。基本は弱者・高齢者に対しては、顔を合わせて周知・指導が必要である。そのためには関係組織の制度強化と質的向上を求めたい。

○今回のアンケート調査ありがとうございました。自分も高齢になり、その対策をどうすれば良いかと思っていた所です。地域包括支援センター（なごみ）及び村役場に、高齢福祉課のあることが分かり助かりました。早速伺ってみたいと思います。

○知識不足のため目からうろこ状態です。介護の実態、福祉サービスについて勉強していくつもりです。充実した人生を送るための準備を考えます。

○アンケートは自宅介護、自宅看取りありきですが、長男夫婦は県南在住で共働きです。長男は東京都公務員で朝6時前の出社ですが、その前に洗濯物を干して出社です。妻は茨城の小学校教師で、朝7時過ぎに出勤です。しかし小学生以下（保育園児2人）3人の孫がおり、誰が病気しても手伝いが必要です。長男の介護は無理で、私の妻も同年齢で老老介護は難しく、つくば近郊の介護施設に入ることを考えています。（将来）そのためには守谷、つくば近郊の介護施設情報が希望です。

○制度サービスについての広報、周知が不十分である。あらゆる手段を通じ知識・認識を深めさせることが必要である。

○日々何事なく生活しておりますが、将来サービスを受ける際、気がねなく相談できて早い対応お願い致します。

○制度、サービス等は申請が基本だと思うが、その様な制度に対する知識がなく生活している人もいないのか。街中を歩いていても汚れた衣服を着てスタスタ歩いている方がいるのをみかける。食事をしているのか、どこに住んでいるのか、民生委員等の方は把握しているのか。声をかけても良いのかと迷うことが度々あるのですが、どの様にしていけば良いのでしょうか。

○高齢者福祉サービス相談受付電話番号や利用可能なサービスの一覧等のパンフレットなど、自宅固定電話の近くに貼る様な物、全て一つになっているポスター的な物が必要であり、又、有料サービス等（シルバー人材センター利用表のような物）の案内掲示物等の配布を希望する。同居人代筆。

○制度やサービスについて良く知らない。講習会や説明会を時々やってもらいたい。

- 高齢者にわかりやすい言葉でハンドブックがあると良い。（私を含め色々な方々の要望有り。）専門語などではあまりわからない事もある。
- 高齢者の一部はパソコン（P C）等の機器をもっていない人もいる。その者に対し、どう情報を流すか検討して下さい。（役場等はかならずP Cを見ることを原則としていないか？）
- 聴覚障害がある人は、地域での活動、他など制限されている。自分の努力も必要ですが、保健福祉施策として、私達障害者にとっての良いアドバイスなどありましたらと思います。（中途聴覚）
- 介護保険制度や高齢者福祉サービス等について役場（行政）では、きめ細やかに情報を発信していると思う。しかし受けとめる側の私達が受けとめきれてない事が多い。その機会を逸してしまう事が多い。自分の事としてこれらを捉えていないのかな？掲載・配布・掲示では周知出来ない⇒小グループで話題にして唱読会などでは？
- 保険サービスの使われている実態（実例）を紹介して欲しい。（サービスの内容と実際・実例。）
- 広報とうかい等で、なごみで行っている事業内容をシリーズ化してP R（分かりやすく）を重点的に行う。（住民は内容を知らない人がほとんどですよ。）
- 何を基準で選ばれたのか？医療費が高額になっている為なのか？この質問は一人生活者や、経済的に不自由な方だったら判断が難しいと思います。皆に理解してもらうには出前講座とかで広めないとダメ、広報の紙では年寄りには良く理解できないと思います。

(10) 「まちづくり・村への要望等」に関すること

- 高次元の高齢者福祉サービスとして独居者、あるいは片方が寝たきり又は認知症の老老家族が行政への希望、要望あるいは助けを求める手段として、電話に代わる顔が見える双方向システムを構築、導入して欲しい。例えば、カメラ付パソコンを配備し、呼び出しキィ、S O Sキィを押すことで、村の専用デスク、担当につながり、内容を話し合うことができる。一方、村からパソコンを起動でき、定期的に様子や希望も手近かに伺えるシステムをつくって頂きたい。遠方の子供へも肩代わり連絡できるような内容のシステム。
- 行政にはまず「高齢者すなわちお金（税）がかかる人」という認識ではなく、「長年地域社会を支えてこられた方々の、安心できる老後の充実を支援すべき人」と、高齢者が多いことを肯定的にとらえてほしいです。人間としての尊厳を最後まで持ち続けられる支援をお願いします。高齢者の所得に関わらず、平等な支援が重要と思います。
- 住民に意見を求めれば行政サービスの充実を求めるのが当然。しかし現在は宅配サービスなど民間サービスがとても便利で使いやすい。行政は費用対効果を考慮し、国民的課題の社会的保障の負担を抑えることに努力すべきと考える。
- 今後益々必要となるサービスかと思います。現在どのようなことが課題になっているのかを十分に調査の上、政策に活かして行ってほしい。
- このデータの活かし方をどのように福祉活動へ徹底されていくのですか？

- ありがとうございます。このアンケートで何が変わるのですか？今日が私のバースデーです。77才になりました。今を生きております。自分はとっても幸せです。皆様もどうかお仕事をがんばって下さいねー。東海村はとても良い所です。ごくろう様です。
- 行政（村）が行っている項目を記述するというより、人や高齢者が何を望み、何を必要としているだろうかということが基本であると思う。それにもとづいて村でできることを行って欲しい。
- 制度、サービスとはちょっとちがいますが、村内の道路脇で座っているお年寄りをよく見かけます。外出する機会を増やすためにもベンチの設置、街灯増設をお願いしたい。お年寄りが徒歩、シルバーカー等で気軽に外出出来ればいつまでも元気でいられると思う。外出するための身支度、おしゃれが認知症予防にもいいときいています。
- 今回の調査目的からすれば的はずれかと存じます。高齢者が今後健康で生きがいをもって生活でき、寿命の延伸がはかられるため、地域はもちろんですが、地域を統合した支え合う体制づくり、住民参加と共存型の農業、福祉、産、学官など連携したモデル事業の創出ができればよいと考えますが、どうでしょうか。村の住環境の変化に対応した今後の中長期的な村の将来像はありますでしょうか？
- これからの保健、福祉施策に村に力を入れてほしい。
- 東海村村営の老人ホームを作ってください。
- 少子化の影響でお墓の維持管理がむずかしくなっています。集合墓地の建設を検討していただけるとありがたいです。（村の事業にはなじまないかもしれませんが。）
- 今回のアンケート集計まとめ分析結果及び、高齢福祉・介護保険事業計画の改善策等、レポートの公表願います。
- 1. 記名式アンケートに多少のためらいを覚えました、それだけに一つひとつの質問に対し、真剣に向き合って記入することができました。また、現在の自分を見つめ直し、将来の自分を推し測ってみる良い機会にもなりました。情報保護をよろしくお願いします。2. 東海村が長い歴史の中で築いてこられた村民として誇れる医療や福祉の充実を今後も前進させて下さい。「2013年版村政ガイドブック」を、とても便利に使わせていただきました。改定版はありますか。3. 「H30年発行の暮らしの便利帳」と比較しても、サイズ・色使い・広告の有無などからみてもガイドブックの方が、持ちやすく、見やすく思えるのですが…。シンプルなので、知りたい事がすぐに見つかってとても便利です。
- 調査の対象が高齢者にとっては負担になった方もおありだったと思う。民生委員等の予備調査等で埋められるところもあったと思う。資料の収集、策定と大変でしょうが、ダイジェスト的なもので結構ですが、住民に結果を（出来映えを）おしらせいただけたらと願います。（何年か前の策定時に会議室の入口に積み上げておかれて、「お持帰り下さい」と張り紙がしてありました。策定書を見て、当時の委員は「疲れたナァ」との一言でした。）
- 村外の人から聞いたのですが東海村の福祉は行き届いて良いと羨ましがられました。子育ての方にも。よろしくお願い致します。
- このアンケートを元に、少しずつ施策に反映して下さい。

- 1. このアンケートは結果を住民（高齢者）にも知らせて実施して欲しい。 2. 計画の第定や実現のためには身近な民生委員の協力（関与）も極めて大切なのではないかな。民協活動も活性化すると思う。 3. アンケートは記名でない方が本音は出ると思います。
- アンケート調査票を送っていただきありがとうございました。普段の勉強不足やもの忘れも進み、記入するのが不安でしたが、何とか記入致しました。高齢者に必要なわかりやすい地図、電話帳等があれば良いなと思います。
- 経済的に困る方を調査して御支援をお願いします。行政が頼りです、感謝しております。

(11) その他

- 年齢的に比較的若く（73歳）、幸い健康にも恵まれており、介護や福祉サービスについて実感がわからない。ただしこれから年を経るにつれて、少しずつ制度、サービスについて知識を深めていく所存です。
- まだ実感としてとらえていないので教育的な講座等で自身に当てはめる勉強が必要な段階を認識している所です。
- 質問項目に「サロン」ってありましたが「サロン」って何？
- 高齢者になると介護が必要になって、お世話になる機会が多くなり、福祉の方、介護の方は大変な御苦労だと思います。一人ひとりの健康状態も違う中、一生懸命携わって下さって感謝いたします。私はまだ自分の事は自分でできますので、これから学んでいきたいと思います。よろしくお願い致します。
- 一応読みました。ありがとうございました。
- この様なアンケートが匿名でないことがおかしい。なんで名前が必要なのが分からない。質問者が一人よがりになっている。貴方はどの程度の人に質問しているか分かっていますか？
- 当アンケートの目的、方針は何ですか？ただ知見を得るためだけなら大ベラボーです。もっと目線を下げて友達感覚の雰囲気で作れなかったのでしょうか？統計結果を断然知りたいです。公表して下さい。
- 私は実際にサービスを受けたことがないので分かりません。
- 今までの生活が充実しています。これ以上の事は望みません。
- まだ実感がありません。
- 超高齢化の時代に入り、業務が幅広くなり大変忙しいと思います。今後のご活躍に期待しております。
- 氏名を明記したアンケート調査を実施して、これを今後どのように活用していかれるのかが知りたい。
- ある程度、自分の事として理解する必要があるのだとは思いますが、正直まだなんとなく我が身として考えられません。今回の質問事項の中にも、完全に理解してないものもありました。

- このアンケートを含めもっと簡潔なものを望む。じっくり考えて回答する間を設定してほしい。
- 今回このアンケートを頂くまであまり真剣に考えたことがありませんでした。これから折にふれ皆様に健康管理、介護等々御指導をお願いしたく思っているところです。
- 当初消費税の増税分は福祉に使うと約束されていたが、その約束は守られず他の経費に回されている。軍事費の削減により福祉の充実に回してほしい。[へのこ] 移転のための軟弱地盤のためにかかる費用でどのくらいの福祉ができるのかと思うとなさけない。
- あれよあれよと云う間にこの歳になりました。個人としては、日々の生活に気をつけて、その日迄元気と行きたいものですが、現状はそうは行きませんね。お仕事大変でしょうが、宜しくお願い致します。
- いまのところない。
- その時にならないと。
- サービスについては、特に有りません。 ※アンケートであるならば、氏名等の記入欄は無記名とした方がよいと思います。
- 1、質問が多すぎ（だからアンケートにならない） 2、この内容の質問は50～60才前後にするべきと思うが… 3、個人情報の取扱いについてふれていない。
- 自分はまだ実感がわきませんが、いずれその時がくるところに又、質問をしていただければ実際の色々な回答ができると思います。
- 今現在就労中なので、日々に追われ、意見、要望等を考える余裕がありません。もう少し年数を過ごした後、じっくり考えたいと思います。
- 現在も仕事をしているので、あまり考えたことがない。

2 在宅介護実態調査

【要支援・要介護の認定を受け、在宅で生活している方】

(1) 「家族介護の支援」に関すること

- まだ自分には必要ではないが、介護保険で何をするのが出来るのかがハッキリ分らないというのが現実でした。使う立場になり調べたり人に聞いたりして初めて知るというのでは手遅れだと思う。介護が手助けになることを知ってもらえる方法がもっと何かあると良いと思う。
- 高齢者同士が介護し合うのを防ぎたい。認知症者への注意する所を理解できていない家族も多いと思う。パンフレット等で民生員の方などを通してもっと認識する努力。
- 主人が入院8年寝たきりで死亡。今は1人生活―買物・用事のある時、娘たちに病院も毎週行ってもらった。本当に助かった。家のまわり、少々だけ植木の剪定、借りた畑仕事楽しみ。子供、孫、友達にもあげています。今の所なんとかやっていますので宜しくね。
- ショートステイにお世話になり、家での介護と生活をしています。ずっと家での介護では、本音は疲れてしまう事を感じる年齢になってしまいました。ショートステイの皆様が良く面倒みて下さっているので助かっています。これから自分もお世話になる時がくると思います。気持ちよくお世話になり、常に感謝ができる自分を作り上げていきたいと思っています。
- 要介護認定者家族介護用品のカタログの内容の見直しを要望します。（・消毒液アルコールタイプ（排泄等介護の為）手袋はするが不安なので。・ポータブルの消臭液 ・マスク）
- 本人（私）要介護1だが、家族は妻、長男が（精神障害2級）同居。自分の事で精一杯だが、二人の事を考えると不安になる毎日が大変です。
- 現在老老介護ですが、一方に重篤な事が起きた場合が一番不安ですが、いろいろ学習して、自立できたら最高と思います。子ども達が幸い近隣に居てくれるので連絡を取りながら生活出来るように努めます。常につながりを持ち、十分な理解を相互で取れるよう子ども達とよく会話しておくことが大切であるかと思っています。
- 私は主人の介護をしておりますが、体力がなくなった時、介護施設にすみやかに入所できるようにしてほしいです。
- 介護保険を一度も利用しないで死んで行くのが自分の夢だそうです。（長男）
- 現在食事、オムツ交換等は何とか出来ているが介護者の体を動かす力が出ない。腰痛が心配でならない。買物は特別に軽自動車で来てくれる業者が出来たのでそれを利用して。泌尿科はひたちなか市なので、なるべく子供に（別居）依頼している。私が病気にかかったら誰が看るかが一番心配です。自分の車で前は少し元気な頃は行っていたが免許返納したのでデマンドタクシー、ハートロードなどを利用して何とか用をたしている。又子供に色々と用事を頼んで今はやっている状態です。

- ケアマネさんが色々教えてくれるので心強いです。自分のためにも出来ることはやって行きたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。
- 要介護4の母親との二人暮らしの為、自分の老後には成年後見制度が必要と考え、調べ始めたところです。今後具体的に相談に乗って頂きたいと考えています。2月18日より2か月程度入院するため、退院しましたら御相談をお願いします。
- 役場には関係ないでしょうが、病院の待ち時間が2時間、またはそれ以上というのがざらにあるので90才以上、または80才以上の人の待ち時間を短くしてもらいたいものだと常々思っている。
- 問いとは違ってしまいましたが、介護者が私一人なので今後への不安が大きいです。デイサービスの日（週2度）しか仕事（アルバイト）が出来なくて収入への不安と、デイサービス以外の日全介助の為、殆ど自分の時間がなく、息詰まりへの懸念が常につきまっています。しかしながら、在宅でずっと世話してあげたい想いも強く複雑です。職員の皆様、お疲れ様です。お世話になります。
- 身体的に各所多少落ちて来ていますが、今の処特に日常生活に支障はありません。もう暫くお見守の程、御願い致します。
- 令和元年10月19日に入院。12月2日転院し現在に至る。従ってアンケート項目については介護者の希望も入っている。（10月18日までデイサービス、ショートステイ利用）
- 社会福祉協議会の介護支援所よりケアマネジャーが毎月1回サービス計画を立てていただき、現在安心しております。ありがとうございます。
- ①本人は目が悪く、夜はかすかにしか見えない。②腰痛としびれ感（足）が強いのが、非常につらく、ひどい時は床に横に長い時間就いている。夜は精神安定剤を一錠使用するので夜間はさほどつらくない現状です。
- 老老介護は介護する立場の者への負担が大きく精神的・肉体的にも介護を受ける者と同じかそれ以上に大苦勞です。自助努力せねばと思いますが公的機関の（介護福祉施設）拡充をお願いしたいと思っています。（この様に多種にわたっての設問作成大変なことだったと思います。お疲れ様です。）

（2）「地域支え合い・見守り・生活支援」に関すること

- 介護サービスなどを御願する時、一番に行くのが高齢福祉課の窓口ですが、全職員の皆様がとてもやさしくお話を聞いて下さいます。これからもよろしく御願い致します。
- 突発性難聴の苦しさから片方の耳に一度入る音に村の色々なサービスで相手の話しについて行けないので淋しい。膝の二度目の手術も駄目でこの先とても不安です。三度目の手術も考えていますけど、80才近い今、我慢我慢で生きる事がいいのか今は自分の事は自分で頑張っていますけど終活をしたいと思っていますけど膝がまがり、腰痛があるためにできず悩んでいます。元気な人で安い所があればお願いしたいと思っています。
- 私は、本村の農業協同組合（名称は推定）が運営している老人施設に週1回ほど、ハーモニカ吹奏等をしています。そのための交通は当該組合が面倒を見て下さっております。この現状は、私共夫婦が元気であることで成立しております。

- 読み、書く、理解ができなくなりました。耳も遠く話す事を遠慮する様になりました。
- 今、緊急システムとファックスの件、お願いしております。私、足が悪く、妹が手続きしておりますが、手続きが大変で、これはなごみ、これはきずな、これは役場ということ
で1ヶ所では済まないと言句タラタラ。妹も仕事しているし、ファックスもいらなし、
緊急システムもいらなしからと妹に言ったけど、私しゃべれないので通じませんでした。
長男夫婦と一緒に住んでくれれば何の問題もないのですが。

(3) 「介護保険サービス」に関すること

- 出かける時はデマンドタクシーを利用させていただき大変有り難く思っています。できれば隣接する市内まで利用できるようなれば助かります。
- 問9の利用状況はなぜ1月なのか。この地域は12月、1月は、干しいもの生産で施設はいっぱい、利用したくても出来ない。介護する人は退職せざるを得ない。収入が無い。在宅介護は現実的でない。ショートステイの利用始めたら今の状況では預かるのは無理といわれ、出ざるを得なかった。ケアマネジャーにも今の状況では預かってくれる所はどこにもないと言われた。介護者の私はこれからどうしたら良いのか。そもそも介護4の状態の人を在宅介護は無理。
- 養護老人ホームの増設
- デイサービスでお世話になっておりますが、皆明るく楽しく過ごしております。
- あいのりデマンドタクシーがあるが利用しにくい。TELが通じにくい。予約のあり方、利用したくてもできない、意味がないのでは。タクシー券とかの発行の方がいいのでは…。いくら安くしていても、利用できなければサービスとは思えない。検討していただきたい。
- 掃除、洗濯、食事作りなどをもっと簡単に頼める様になると良いと思います。
- 介護者は働きながら2人の介護をしている為、夜間2時間おきにトイレ介助やオムツ交換をして疲れている。自力でトイレができない高齢者が宿泊できるショートステイを充実してほしい。
- 普段から介護に関するそうぜつなやりとりが、年に1回などの認定のテストなどではとうてい説明ができて本人もはりきり良い事しかいわないので担当者にとだけたいへんかがわかってもらえなかったり、伝えにくかったり難しい問題がある。ケアマネジャーや主治医の先生の他、もっと利用できるサービスやケアの内容を改善して欲しい。お金が支払いできないと利用できないサービスが多すぎる。
- 介護タクシーの電話がなかなかつながらない。月1回のコミセンでの食事会の回数を増やしてほしい。
- 今回「なごみ」の方に大変良くして頂き、感謝しております。自分達が年を重ね、老いて行く先の事は見えません。高齢者と言ってもひとくくりには出来ないことも多々ありますが、相談員の方達の努力を知ってこれからも長い目で老人達をみて下さる様にお願いします。
- 病院に通院する時、自由にならない時がある。

- 寝たきり、閉じこもりの介護高齢者を支援するための交通網の充実（出来れば無料に近い）を希望する。
- 施設に入居させてもらっているので、子供が私だけの為、とてもありがたいです。入居がきまるまで一人で悩み大変でしたが、ケアマネジャーさんが相談にのってくれてとてもたすかりました。
- C票、問8にも書いたが、自分自身自動車の免許も返納したので“足”がなくなってしまった。近くにスーパー等がないので、日常生活が出来ない。一つの案として、どこかのスーパーと契約し生活物質を車に積んだ移動式スーパーを実現してもらいたい。今後歩行困難者、車の運転困難者が益々増えると思われるので、時間と場所を決めた移動式ミニスーパーを考えてもらいたい。（是非とも）100～200mくらいならゆっくり歩ける人は結構いる。（杖をついても）その様な人々から喜ばれること間違いなし。
- 病院に通院する時デマンドタクシーがなかなかとれないので回数をもっと多くしていただきたい。
- 私は人工膀胱（排尿ストーマ常用者）です。介護を受けることができる利用可能な、1. ショートステイ 2. デイサービス 3. 常駐介護施設 東海村近郊にあれば情報をお知らせ願います。
- 支援（オムツ等）額の増額を望みたい。
- 施設によっては、利用者に暴言を吐く所があります。
- 介護老人保健施設、通所リハビリテーション、デイケアなど福祉サービスの充実。通所リハビリ、デイケア施設が少なすぎる。御指導よろしく。
- 本村における福祉行政の執行体制に既に確立されており、他自治体と比べても遜色はない。特に、福祉施設などはそれぞれ厳密に連携を図りながら必要な情報を共有し、適切に運営されており、福祉サービスが更に向上している現状にあると思う。
- 家内が要介護1を認定頂いて通所施設でデイサービスを受けています。貴重な介護保険を利用させて頂いておりまして、健康で毎月高い介護保険料を納めておられる方々に感謝感謝です。施設のスタッフ、並びに担当ケアマネの方々、実に気配り良く面倒頂いて感謝しています。施設での一日の生活メニューも健康維持を考慮し変化のある毎日です。ありがとうございます。※国の動きで、介護費1割負担が2割負担にならないよう念じています。
- 介護認定を受けているが、ケアマネさんからの提案だけでは、不十分ではないかと思う。また、介護サービスを受けている施設からの、物品（オムツやパットなど）助成金を受けられる制度があるにも関わらず、説明がないのもいかなものか。「くらしの便利帳」を見て、このような制度があることを知りました。
- お世話になっております。昨年4～5月心不全で入院しました。退院したとたん今までと違い介護保険でして頂く事が変わってしまい以前は食事作り週2回（1回1時間半）掃除（週2回1時間）でした。現在、食事作り週3回（1回1時間）掃除は実費です。様云われ、その様にしています。出来れば掃除週1回保険でして頂ければ助かると思っています。（主人も糖尿病で月1回通院しています）

○東海村の特養施設は3事業所のみであり、入所条件に合致（要介護3以上）していても、入所は非常に困難で、要介護度の高い順の待ち状態と聞いております。※誤った認識であれば、ご指摘ください。母は、特に最近、認知症の進行が早く、今まで自身で出来ていた動作が出来なくなっているものが増えています。家族も介護のための時間が徐々に増えています。（家族に持病があり、また勤務先の都合で限界があります）介護保険の各種在宅サービスを限度まで利用しても、手に負えなくなる状況は目に見えています。つまり「いざ、入所が必要」という時に「すぐに入所できない」という不安が大きくなっています。

○高齢者虐待への対応の強化。

（４）「介護保険制度」に関すること

○デマンドタクシー料金のことでお伺いします。現在支援2です。肩関節（人工関節）で買物（重いもの無理）何回も…。料金が減額になるのは要介護1以上ときいていますが、支援2ではどうしてダメなのでしょう？

○介護施設の従業員の給与の向上。（介護サービスの充実といっても、介護内容を実践するのは施設の現場従業員）

○要介護と認定されるまで時間がかかる。もっと速やかに出来ることを期待したい。主な介護者は時間帯によって変わるので、今回のアンケートでは書きづらかった。同居家族全員で介護していることを承知して欲しい。

○特別養護老人ホームに入所中であっても、本人あるいは家族からの希望があればリハビリを受ける事ができるような制度に変えて行って欲しい。

○現在の生活において介護保険サービスをお願いしたいと思っているが制度や料金の関係で利用したくても使えない。

○デイサービスや訪問診療、訪問看護を利用してみて、限度額を超えた分は後から「もどる」のはありがたいですが、一度に払わなくてはならず、それが金銭的に苦しいです。よってどんどん利用を削り、訪問診療をやめ、訪問看護は月に1回にし、デイサービスも月に1回入浴に行く為のものとなりました。いろいろ諦めているのが現状です。

（５）「経済的な問題」に関すること

○年金が低いので今後の生活が心配です。施設に入りたくても入れません。

○介護保険負担割合の均等化、後期高齢者医療費一部負担の割合均等化、進めていただきたい。

○現在は夫婦ですが、85才以降が心配しています。2人での年金で生活苦。する事は努力しますが相方の健康状況でどうなるやら想像ができません命の続く限り人生を歩きます。薬に頼らず！

（６）「情報提供・相談窓口」に関すること

- できれば高齢者にわかりやすく説明してもらいたい。（パンフレット、訪問説明で）
- 同上の様な制度のある事、今回初めて知りました。勉強不足です。介護を受ける立場である私がこれから先、色々とお世話様に成るところですネ。どうぞよろしくお願い致します。ありがとう御座居ました。
- 私みたいに聴覚障害がある人は、（村）地域での活動など他たくさん制限されている。自分の努力も必要ですが、保健福祉施策としてアイディアなどありましたら、ぜひ教えて頂ければと思います。（中途聴覚）

（７）「まちづくり・村への要望等」に関すること

- 無収入の人の生活保護が心配です。施設。
- 専門用語がなじめず、このアンケートも独力では記入できなかった。これは行政側の住民に寄り添う姿勢の欠如と思われる。この姿勢を改めて、親身の行政を望む。

（８）その他

- サービスについてではないですが… このアンケート、本人が書くのはかなり難しいです。質問の意味が解らないし、字も読めないと思う。（出来るだけ本人にと書いてありますが）介護している側の気持ち等を書く方が良いのでは？
- 84才になります。誰にも迷惑をかけないで生活してゆきたいと思っていますが…。今は主人に先立たれて私の気力がなくなり何も根気がなくなったら生きています。それではいけないと心を入れかえてがんばりたいと思っています。
- 特になし。追、本封筒とじる所にノリが必要。なくて封できるよう改善願いたし。
- 90才近くになると、読んだり書いたりがとてもオククーになってくるのでゴメンナサイ。このアンケートはとてもやさしくて、答いいものでした。ありがとうございました。
- 回答が遅れて申し訳ございませんでした。昨年の4月から脳梗塞をわずらい、入退院のくり返しをしております。

V 資料編

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票



東海村 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票

（高齢者福祉・介護保険事業計画策定のためのアンケート調査）

＜ご記入にあたってのお願い＞

- ◆ご回答は、できる限り、お送りした封筒のあて名のご本人にお願いいたします。
- ◆ご回答は、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
- ◆回答数は設問によって異なるため、（ ）内のことわり書きに従ってください。
- ◆「その他」と回答した場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ◆ご記入いただいた調査票は、**2月28日（金）**までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
- ◆この調査に関するお問い合わせは、下記まで、お願いいたします。

＜問い合わせ先＞

東海村 高齢福祉課

電話：029-282-1711（内線：1161）

なお、このアンケートは、基本的な属性（居住している日常生活圏域、性別、年齢等）の記入を省略するため、記名式（上部の宛名シール）となっておりますことをご了承くださいますようお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、村による高齢者施策及び高齢者福祉・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、村内で適切に管理いたします。
- ただし、高齢者福祉・介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。
- なお、本調査は、介護予防事業対象者の把握も兼ねておりますので、回答内容に応じて、介護予防が必要と思われる方には東海村地域包括支援センター（なごみ）より、介護予防教室のご案内等についてお声をかけさせていただきます。

調査票の記入者や、対象者の方ご本人の情報について

●記 入 日	令和2年 月 日
●調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. 対象者の方ご本人が記入	
2. ご家族が記入 → （対象者の方ご本人からみた続柄 ）	
3. その他（ ）	

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他（ ） | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 介護・介助は必要ない |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

(2)-① 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(〇はいくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	2. 心臓病	3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	5. 関節の病気 (リウマチ等)	6. 認知症 (アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病	8. 糖尿病	9. 腎疾患 (透析)
10. 視覚・聴覚障害	11. 骨折・転倒	12. 脊椎損傷
13. 高齢による衰弱	14. その他 ()	
15. 不明		

(2)-② 【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

1. 配偶者 (夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他 ()	

(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

(4)お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)

1. 持家 (一戸建て)	2. 持家 (集合住宅)	3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)	5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)	6. 借家
7. その他 ()		

問2 からだを動かすことについて

(1)～(3) 日常の歩行状況などについてお答えください。(それぞれ1つに〇)

	1. できるし、 している	2. できるけど していない	3. できない
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	2	3
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	2	3
(3) 15分位続けて歩いていますか	1	2	3

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

→ (8)-① 【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| 1. 病気 | 2. 障がい(脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配(失禁など) |
| 5. 耳の障がい(聞こえの問題など) | 6. 目の障がい |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他() |

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------------------|------------------|----------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車(自分で運転) | 5. 自動車(人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす(カート) | 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他() | | |

問3 食べることについて

(1) あて名のご本人の身長・体重をお答えください。(それぞれ数字を記入)

身長				cm	体重				kg
----	----------------------	----------------------	----------------------	----	----	----------------------	----------------------	----------------------	----

(2)～(5) 食べることや、口や歯の状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

	はい	いいえ
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	2
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	1	2
(4) 口の渇きが気になりますか	1	2
(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか	1	2

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)。(○は1つ)

1. 自分の歯は <u>20</u> 本以上、かつ <u>入れ歯</u> を利用	2. 自分の歯は <u>20</u> 本以上、 <u>入れ歯</u> の利用なし
3. 自分の歯は <u>19</u> 本以下、かつ <u>入れ歯</u> を利用	4. 自分の歯は <u>19</u> 本以下、 <u>入れ歯</u> の利用なし

(6)-①【すべての方】

①噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(6)-②【入れ歯を利用している方のみ】

※(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方

②毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(8) どなたかと食事をとにする機会がありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問4 毎日の生活について

毎日の生活の状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

■物忘れについて

	はい	いいえ
(1) 物忘れが多いと感じますか	1	2
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	2
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか	1	2

■外出・買物・食事・金銭管理について

	1. できるし、 している	2. できるけど していない	3. できない
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1	2	3
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1	2	3
(6) 自分で食事の用意をしていますか	1	2	3
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	1	2	3
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1	2	3

■書類の作成、新聞・雑誌の購読状況について

	はい	いいえ
(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1	2
(10) 新聞を読んでいますか	1	2
(11) 本や雑誌を読んでいますか	1	2

■健康への関心と他者との関わりについて

	はい	いいえ
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	1	2
(13) 友人の家を訪ねていますか	1	2
(14) 家族や友人の相談にのっていますか	1	2
(15) 病人を見舞うことができますか	1	2
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	1	2

(17) 趣味はありますか。(○は1つ)

1. 趣味あり (→具体的に	)	2. 思いつかない
----------------	---	-----------

(18) 生きがいがありますか。(○は1つ)

1. 生きがいあり (→具体的に	)	2. 思いつかない
------------------	---	-----------

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①～⑦それぞれについて、1つつ○)

	週4回 以上	週 2～3回	週1回	月 1～3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係の グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場 (シルバーリハビリ体操)	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 たすけあいについて

～あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。～

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター・役場 | 6. その他 () |
| 7. そのような人はいない | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(〇は1つ)

同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

- | | | |
|-------------|----------|---------|
| 1. 0人 (いない) | 2. 1～2人 | 3. 3～5人 |
| 4. 6～9人 | 5. 10人以上 | |

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|---------------|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ | 3. 学生時代の友人 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他 () | 8. いない | |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(〇は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に〇をつけてください)

とても不幸 ←————→ とても幸せ
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

(5) お酒は飲みますか。(〇は1つ)

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか。(〇は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|---|---|---|
| 1. ない | 2. 高血圧
<small>こうけつあつ</small> | 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
<small>のうそっちゅう のうしゅっけつ・のうこうそく</small> |
| 4. 心臓病
<small>しんぞうびょう</small> | 5. 糖尿病
<small>とうにょうびょう</small> | 6. 高脂血症(脂質異常)
<small>こうしけっしょう しつじょう</small> |
| 7. 呼吸器の病気
<small>こきゅうき びょうき</small>
(肺炎や気管支炎等)
<small>はいえん きかんしえん</small> | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
<small>いちょう かんぞう たん びょうき</small> | 9. 腎臓・前立腺の病気
<small>じんぞう ぜんりつせん びょうき</small> |
| 10. 筋骨格の病気
<small>きんこつかく びょうき</small>
(骨粗しょう症、関節症等)
<small>こつそ しょう かんせつしやう</small> | 11. 外傷(転倒・骨折等)
<small>がいしやう てんとう こっせつ</small> | 12. がん(悪性新生物)
<small>あくせいしんせいぶつ</small> |
| 13. 血液・免疫の病気
<small>けつえき めんえき びょうき</small> | 14. うつ病
<small>うつ びょう</small> | 15. 認知症(アルツハイマー病等)
<small>にんちしやう びょう</small> |
| 16. パーキンソン病
<small>びょう</small> | 17. 目の病気
<small>びょうき</small> | 18. 耳の病気
<small>びょうき</small> |
| 19. その他 () | | |

(3) あなたは「介護予防」について、どのようなイメージがありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 元気な人が、将来介護にならないために行うこと | |
| 2. 介護の心配が少し出てきた時に行うこと | |
| 3. 介護が必要になった時に、これ以上悪化しないよう行うこと | |
| 4. その他 (|) |

(4) 高齢者が介護予防事業に参加する上での妨げや障害になることは何だと思いませんか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 事業のことを知らない | 2. 事業名のイメージが悪い(ネーミングが悪い) |
| 3. 開催場所が遠い | 4. 交通手段がない |
| 5. 興味がない | 6. 自分には必要ない・関係ないと考えている |
| 7. 一緒に参加する人(仲間)がいない | 8. 参加するのに気が引ける・恥ずかしい |
| 9. その他 (|) |

(5) あなたは「地域包括支援センター(なごみ)」を知っていますか。(〇は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. どこにあるか知っており、実際に相談したこともある |
| 2. どこにあるか知っているが、相談したことはない |
| 3. 聞いたことはあるが、具体的なことまでは分からない |
| 4. 知らない |

※地域包括支援センター

地域包括支援センターは、現在、村内に1か所設置しています。高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康などさまざまな面から総合的に支援する機関です。

(6) 地域包括支援センター(なごみ)で、以下のような業務をしていることをご存じでしたか。(それぞれ1つに〇)

① 高齢者の総合相談	1. 知っている	2. 知らない
② 健康づくり・介護予防	1. 知っている	2. 知らない
③ 高齢者虐待の対応	1. 知っている	2. 知らない
④ 成年後見制度の案内・相談	1. 知っている	2. 知らない
⑤ 認知症に関する相談	1. 知っている	2. 知らない

問 10 あなた自身の認知症予防について

(1) あなたは認知症予防のために、具体的な取り組みを実践していますか。(○は1つ)

- 1. 実践している
- 2. 時々気を付けているが、継続的ではない
- 3. 現在はしていないが、近いうちにしようと思う
- 4. 現在していないし、しようとも思わない

→①【(1)において「1. 実践している」「2. 時々気を付けているが、継続的ではない」の方のみ】
どのようなことを実践していますか。(○はいくつでも)

- 1. ウォーキングや体操を定期的の実施している
- 2. こまめに体を動かすようにしている
- 3. バランスの良い食事を心掛けている
- 4. 緑黄色野菜や青背の魚を積極的にとるようにしている
- 5. 趣味やレクリエーションなどの活動を積極的に実施している
- 6. 人とのコミュニケーションの機会を多く持つようにしている
- 7. 日記をつける、献立を書くなど出来事を思い出すようにしている
- 8. その他 ()

(2) 現在、村が行っている認知症に関する以下の取り組みをご存知ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 認知症に関する相談 | 2. 認知症予防教室「ソテリア東海」 |
| 3. 認知症予防の出前講座 | 4. 認知症スクリーニング検査・もの忘れ検診 |
| 5. 認知症サポーター養成講座 | 6. 認知症ガイドブック（ケアパス）配布 |
| 7. あんしん・おかえりネットワーク | 8. 認知症カフェ「village Bird」 |
| 9. おかえりマーク | 10. 認知症高齢者声かけ訓練 |
| 11. 認知症初期集中支援チーム | 12. 成年後見制度利用支援事業 |
| 13. 何も知らない | 14. その他 () |

(3) あなたはこれまでに、(2)のような取り組みに参加若しくは利用したことがありますか。(○は1つ)

- 1. ある
- 2. ない

問 11 成年後見制度について

(1) あなたは成年後見制度※についてご存じですか。(1 つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 言葉は聞いたことはあった | 4. 全く知らなかった |

※成年後見制度

認知症などで判断能力が不十分になった方に対し、家庭裁判所で選任した成年後見人が、本人の代理人として財産の管理や契約の手続きなどを行う制度です。窓口は、地域包括支援センターとなっています。

(2) 成年後見制度において後見人ができることとして、以下のような内容をご存じでしたか。
(それぞれ1つに○)

① 銀行や郵便局などの金融機関との取引	1. 知っている	2. 知らない
② 不動産の売買、賃借、修繕契約等	1. 知っている	2. 知らない
③ 入院や入所の手続き、費用の支払い	1. 知っている	2. 知らない
④ 通帳、印鑑、各証書の管理など	1. 知っている	2. 知らない
⑥ 日常生活に必要な介護サービス等の手配	1. 知っている	2. 知らない

(3) 成年後見制度をより多くの方に知っていただくための周知方法として効果的なものはどれですか。
(○はいくつでも)

1. 広報紙	2. ホームページ
3. フェイスブック等のSNS配信	4. 施設へのチラシの配架
5. 説明会やシンポジウムの実施	6. 出前講座
7. わからない	8. その他 ()

(4) あなたは認知症などによって判断能力が不十分になった時に成年後見制度を利用したいと思いますか。

1. 利用したい
2. 利用したくない(理由:)

問 12 今後の暮らしや将来の介護について

(1) 日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありますか。また、それはどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 体調がすぐれない、病気がち | 2. 認知症にならないか心配 |
| 3. 頼れる人がおらず一人きりであること | 4. 生活のための収入が足りない |
| 5. 食事づくりや買い物が大変 | 6. 歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配 |
| 7. 掃除・洗濯などの家事が大変 | 8. 地震や火災などの災害の起きたときが心配 |
| 9. 外出時の転倒や事故が不安 | 10. 判断能力が衰えたときの契約や財産の管理が心配 |
| 11. 子どもや孫のことが心配 (→具体的に _____) |) |
| 12. その他 (_____) |) |
| 13. 特にない | |

(2) あなたがお住まいの地域には、近隣のつながりがあると感じますか。(○は 1 つ)

1. とても感じる 2. まあまあ感じる 3. あまり感じない 4. 感じない

(3) 住み慣れた地域において、在宅で自立した生活を続けていくために、必要になると思う支援やサービスは何ですか。(在宅での生活を継続していく上で、必要になると思う支援やサービスは何ですか。)(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 食事の宅配サービス | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物 (宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行 (通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 (_____) |
| 11. 特にない | 12. わからない |

(4) あなたが、今後、近隣の方に次のような手助けをしてあげたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 2. ちょっとした買い物 |
| 3. ゴミ出し | 4. 家事の手伝い |
| 5. 通院の送迎や外出の手助け | 6. 話し相手や相談相手 |
| 7. 災害時の避難の手助け | 8. 具合が悪いときの病院等への連絡 |
| 9. 緊急時の家族への連絡 | |
| 10. その他 (_____) |) |
| 11. 手助けしてあげたいとは思わない | |

(5) 将来、介護が必要となったとき、不安なことはなんですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 家族に負担をかけること | 2. 経済的なこと |
| 3. 認知機能の低下 | 4. 身体機能の低下 |
| 5. 介護サービスの知識がないこと | 6. 介護してくれる家族がいないこと |
| 7. 相談できる相手がいないこと | 8. その他 () |

(6) 将来、介護が必要となったとき、どこで生活したいと考えていますか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 自宅で生活したい |
| 2. 子ども親族の家で生活したい |
| 3. 介護保険施設（特別養護老人ホーム等）で生活したい |
| 4. 介護保険施設以外の高齢者住宅や有料老人ホーム等で生活したい |
| 5. その他 () |

(7) 介護や医療が必要になっても、在宅で暮らし続けるために、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。(あてはまるもの 3 つまでに○)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1. 介護してくれる家族等 | 2. 安心して住み続けられる住まい |
| 3. 往診してくれる医療機関 | 4. 気軽に立ち寄って話や相談ができる場所 |
| 5. 体の状態を維持改善できるサービス | 6. いつでも訪問して身の回りの世話をしてくれるサービス |
| 7. 見守りや手助けしてくれる人 | 8. 必要な時に宿泊できる施設 |
| 9. 食事や日用品などの宅配サービス | 10. 安否状態を誰かに知らせてくれる仕組み |
| 11. 介護者の負担を軽くする仕組み | 12. その他 () |
| 13. 特になし | |

(8) あなたは在宅医療※についてご存じですか。(1 つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 言葉は聞いたことはあった | 4. 全く知らなかった |

※在宅医療

医師や看護師などの訪問を受けながら居住の場（自宅・有料老人ホームなど）で治療・療養する医療のことです。

(9) あなたは、在宅で医療と介護を受けながら生活し続けるためには、医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャー、ヘルパーなどの多職種の連携が重要であることを知っていましたか。(○は 1 つ)

- | | | |
|----------|-----------|--------------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった | 3. どちらともいえない |
|----------|-----------|--------------|

(10) あなたは、在宅での医療、終活（人生の最期を迎えるにあたっての様々な準備）、自宅での看取りのことなどに関心がありますか。(○は 1 つ)

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. 大に関心がある | 2. 少し関心がある | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり関心はない | 5. 全く関心はない | |

(11) あなたは、人生の最期をどこで過ごしたいと思いますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|------------|------------|-------|-------|
| 1. 自宅 | 2. 子など親族の家 | 3. 病院 | 4. 施設 |
| 5. その他 () | | | |

(12) これからの高齢者の保健福祉施策として、村に力を入れてほしいと思うものはどれですか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 生きがいづくり支援 | 2. 就労支援 |
| 3. 健康管理 | 4. 疾病予防 |
| 5. 介護予防 | 6. 高齢者の身近な居場所の確保 |
| 7. 子どもたちと交流する機会の確保 | 8. 住みやすい住宅への支援 |
| 9. 所得の低い方への経済的支援 | 10. 地域の相談窓口である地域包括支援センターの充実 |
| 11. 認知症高齢者に対する支援の充実 | 12. 一人暮らし高齢者に対する見守り支援 |
| 13. 寝たきりの高齢者に対する支援 | 14. 介護保険の施設サービス（特別養護老人ホーム等） |
| 15. 介護保険の在宅サービスの充実 | 16. 介護保険以外の在宅サービスの充実 |
| 17. 介護事業者の指導・監督 | 18. 介護事業者のサービスの質の確保のための支援 |
| 19. 高齢者虐待への対応の強化 | 20. 判断能力が低下した際の契約や財産管理等の支援 |
| 21. 在宅で介護している方への支援 | 22. 親の介護と育児の負担が重なる家庭への支援 |
| 23. その他 () | |
| 24. 特になし | |

介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

.....
 ご記入いただいたアンケート用紙は2月28日（金）までに同封の返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストに投函して下さい。切手は不要です。

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

2 在宅介護実態調査 調査票



東海村 在宅介護実態調査 調査票

(高齢者福祉・介護保険事業計画策定のためのアンケート調査)

<ご記入にあたってのお願い>

- ◆ご回答は、できる限り、お送りした封筒のあて名のご本人にお願いいたします。
- ◆ご回答は、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
- ◆回答数は設問によって異なるため、() 内のことわり書きに従ってください。
- ◆「その他」と回答した場合には、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- ◆ご記入いただいた調査票は、**2月28日(金)**までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
- ◆この調査に関するお問い合わせは、下記まで、お願いいたします。

<問い合わせ先>

東海村 高齢福祉課

電話：029-282-1711（内線：1161）

なお、このアンケートは、基本的な属性（居住している日常生活圏域、性別、年齢等）の記入を省略するため、記名式（上部の宛名シール）となっておりますことをご了承くださいますようお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、村による高齢者施策及び高齢者福祉・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、村内で適切に管理いたします。
- ただし、高齢者福祉・介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

【要介護認定データの活用について】

- 認定調査に係る、要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）は、本市町における高齢者等支援施策の検討の際の基礎資料とすることを目的に使用させていただきます。
- なお、ご本人の許可なく、この目的以外の使用はいたしません。

調査票の記入者や、対象者の方ご本人の情報について

●記入日	令和2年 月 日
●調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. 対象者の方ご本人が記入 2. ご家族が記入 → (対象者の方ご本人からみた続柄 _____) 3. その他 (_____)	

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(○はいくつでも)

1. 調査対象者本人	2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族	4. その他 (_____)

問2 世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 単身世帯	2. 夫婦のみ世帯	3. その他 (_____)
---------	-----------	------------------

問3 ご本人の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 65歳未満	2. 65～69歳	3. 70～74歳
4. 75～79歳	5. 80～84歳	6. 85～89歳
7. 90歳以上		

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 要支援1	2. 要支援2	
3. 要介護1	4. 要介護2	5. 要介護3
6. 要介護4	7. 要介護5	8. わからない

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 入所・入居は検討していない	2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている	

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問7 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(○はいくつでも)

1. 脳血管疾患(脳卒中) のうけっかんしっかん のうそっちゅう	2. 心疾患(心臓病) しんしっかん しんぞうびょう
3. 悪性新生物(がん) あくせいしんせいぶつ	4. 呼吸器疾患 こきゅうきしっかん
5. 腎疾患(透析) じんしっかん とうせき	
6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) きんこつかくけいしっかん こつそ しょう せきちゅうかんきょうさくしょう	
7. 膠原病(関節リウマチ含む) こうげんびょう かんせつ	8. 変形性関節疾患 へんけいせいかんせつしっかん
9. 認知症 にんちしょう	10. パーキンソン病 びょう
11. 難病(パーキンソン病を除く) なんびょう びょう	12. 糖尿病 とうようびょう
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障がいを伴うもの) がんか じびかしっかん しかく ちょうかくしょう	
14. その他()	
15. なし	16. わからない

問8 令和元年1月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

1. 利用した ⇒問9へ	2. 利用していない ⇒問10へ
--------------	------------------

問9 問8で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。

以下の介護保険サービスについて、令和元年1月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。(それぞれ1つに○)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
(※回答例) ●●●サービス	9	1	②	3	4	5
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	9	1	2	3	4	5
B. 訪問入浴介護	9	1	2	3	4	5
C. 訪問看護	9	1	2	3	4	5
D. 訪問リハビリテーション	9	1	2	3	4	5
E. 通所介護 (デイサービス)	9	1	2	3	4	5
F. 通所リハビリテーション (デイケア)	9	1	2	3	4	5
G. 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答)	9	1	2	3	4	5

	利用の有無（1つに○）	
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J. 看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

	1か月あたりの利用日数（1つに○）				
	利用して いない	月 1～7 日 程度	月 8～14 日 程度	月 15～21 日 程度	月 22 日 以上
K. ショートステイ	9	1	2	3	4

	1か月あたりの利用回数（1つに○）				
	利用して いない	月 1 回 程度	月 2 回 程度	月 3 回 程度	月 4 回 程度
L. 居宅療養管理指導	9	1	2	3	4

問10 問8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他（

）

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。
(○はいくつでも)

1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）	5. ゴミ出し	6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	8. 見守り、声かけ	9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他（ ）	11. 利用していない	

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(○はいくつでも)

1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）	5. ゴミ出し	6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	8. 見守り、声かけ	9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他（ ）	11. 特になし	

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問13 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問14 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(○は1つ)

1. ない	}	C票の間1へ進んでください
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない		
3. 週に1～2日ある	}	B票の間1へ進んでください
4. 週に3～4日ある		
5. ほぼ毎日ある		

●A票の間14で「2.」～「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。

●「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

B票 主な介護者の方について、お伺いします

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(○はいくつでも)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問2 主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他() |

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| 15. その他（ ） | 16. わからない |
|---------------------------------|-----------|

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 15. その他（ ） | 16. 不安に感じていることは、特にな |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問8～問10へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | C票の問1へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問8 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(○はいくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問9 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他（)
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問10 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

C票 今後の暮らしや将来の介護についてお伺いします

問1 日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありますか。また、それはどのようなことですか。(○はい/×でも)

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| 1. 体調がすぐれない、病気がち | 2. 認知症にならないか心配 |
| 3. 頼れる人がおらず一人きりであること | 4. 生活のための収入が足りない |
| 5. 食事づくりや買い物が大変 | 6. 歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配 |
| 7. 掃除・洗濯などの家事が大変 | 8. 地震や火災などの災害の起きたときが心配 |
| 9. 外出時の転倒や事故が不安 | 10. 判断能力が衰えたときの契約や財産の管理が心配 |
| 11. 子どもや孫のことが心配 (→具体的に _____) | |
| 12. その他 (_____) | |
| 13. 特にない | |

問2 あなたは「地域包括支援センター(なごみ)」を知っていますか。(○は1つ)※前回設問

- | |
|-----------------------------|
| 1. どこにあるか知っており、実際に相談したこともある |
| 2. どこにあるか知っているが、相談したことはない |
| 3. 聞いたことはあるが、具体的なことまでは分からない |
| 4. 知らない |

※地域包括支援センター

地域包括支援センターは、現在、村内に1か所設置しています。高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康などさまざまな面から総合的に支援する機関です。

問3 地域包括支援センター(なごみ)で、以下のような業務をしていることをご存じでしたか。(それぞれ1つに○)

① 高齢者の総合相談	1. 知っている	2. 知らない
② 健康づくり・介護予防	1. 知っている	2. 知らない
③ 高齢者虐待の対応	1. 知っている	2. 知らない
④ 成年後見制度の案内・相談	1. 知っている	2. 知らない
⑤ 認知症に関する相談	1. 知っている	2. 知らない

問4 あなたは成年後見制度※についてご存じですか。(1つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 言葉は聞いたことはあった | 4. 全く知らなかった |

※成年後見制度

認知症などで判断能力が不十分になった方に対し、家庭裁判所で選任した成年後見人が、本人の代理人として財産の管理や契約の手続きなどを行う制度です。窓口は、地域包括支援センターとなっています。

問5 成年後見制度において後見人ができることとして、以下のような内容をご存じでしたか。(それぞれ1つに○)

① 銀行や郵便局などの金融機関との取引	1. 知っている	2. 知らない
② 不動産の売買、賃借、修繕契約等	1. 知っている	2. 知らない
③ 入院や入所の手続き、費用の支払い	1. 知っている	2. 知らない
④ 通帳、印鑑、各証書の管理など	1. 知っている	2. 知らない
⑥ 日常生活に必要な介護サービス等の手配	1. 知っている	2. 知らない

問6 成年後見制度をより多くの方に知っていただくための周知方法として効果的なものはどれですか。(○はいくつでも)

1. 広報紙	2. ホームページ
3. フェイスブック等のSNS配信	4. 施設へのチラシの配架
5. 説明会やシンポジウムの実施	6. 出前講座
7. わからない	8. その他 ()

問7 あなたは認知症などによって判断能力が不十分になった時に成年後見制度を利用したいと思いますか。

1. 利用したい
2. 利用したくない(理由:)

問8 将来、特別養護老人ホーム(介護福祉施設)に入所したいですか。(○は1つ)

1. 入所したい	2. 入所したいとは思わない	3. わからない
----------	----------------	----------

→問8①【入所したくない方のみ】

その理由は次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 家族に介護をしてもらいたいため	2. 住み慣れた家で暮らしたいため
3. 現在の在宅サービスで満足しているため	4. 経済的な理由のため
5. その他 ()	

→問8②【入所したい方のみ】

その理由は次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 介護者がいないため
2. 介護者がいるが高齢または障害や疾病の状況にあり介護が困難なため
3. 介護者がいるが育児または就業しているため十分な介護が困難なため
4. 家族や親族に負担をかけたくないため
5. 経済的な理由のため
6. その他 ()

問9 これからの高齢者の保健福祉施策として、村に力を入れてほしいと思うものはどれですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 生きがいづくり支援 | 2. 就労支援 |
| 3. 健康管理 | 4. 疾病予防 |
| 5. 介護予防 | 6. 高齢者の身近な居場所の確保 |
| 7. 子どもたちと交流する機会の確保 | 8. 住みやすい住宅への支援 |
| 9. 所得の低い方への経済的支援 | 10. 地域の相談窓口である地域包括支援センターの充実 |
| 11. 認知症高齢者に対する支援の充実 | 12. 一人暮らし高齢者に対する見守り支援 |
| 13. 寝たきりの高齢者に対する支援 | 14. 介護保険の施設サービス（特別養護老人ホーム等） |
| 15. 介護保険の在宅サービスの充実 | 16. 介護保険以外の在宅サービスの充実 |
| 17. 介護事業者の指導・監督 | 18. 介護事業者のサービスの質の確保のための支援 |
| 19. 高齢者虐待への対応の強化 | 20. 判断能力が低下した際の契約や財産管理等の支援 |
| 21. 在宅で介護している方への支援 | 22. その他（ ） |
| 23. 特になし | |

問10 介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

ご記入いただいたアンケート用紙は**2月28日(金)**までに同封の返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストに投函して下さい。切手は不要です。

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

第8期東海村高齢者福祉計画・
介護保険事業計画に係るアンケート調査
調査結果報告書

発 行 : 令和2年3月
編 集 : 東海村福祉部 高齢福祉課
